

岡埜谷家古文書目録

その5 (近世F1 お茶の販売)

平成30年1月 整理

島田市博物館

(島田市史編さん委員会)

緩 込 み 資 料

岡埜谷家古文書目録 その5 (近世)

- 1 岡埜谷家文書から見た笹間村 (その5) -近世を中心として- (前1)
- 2 年 表 (前4)
- 3 近世文書分類表 (文書目録の目次に替えて) (前5)
- 4 岡埜谷家古文書目録の利用に当たって (前6)
- 5 古文書目録 (分類「F-1」) (No.151)

岡壁谷家文書から見た笹間村（その5）

—近世を中心として—

1、はじめに

本目録は「その4」に引き続き分類F（商業）を扱っています。商業はF-1（一般）とF-2（金融）に分けられますが、F-1が更に次の目録（その5）、（その6）と続き、（その6）の中にF-2（金融）が含まれています。目録（その1）ですで紹介したように、岡壁谷家の近世文書はFのみで近世文書全体の51%も占めているので冊数も当然多くなるのは当然です。そしてF-1の商業一般は大部分がお茶の商取引に関するものです。このお茶の商取引以外のものはすでに「その4」で紹介済みです。そこで本目録（その5）ではお茶の商取引に限り紹介することにします（目録「その4」「その6」も含む）。

（注）目録（その4）のことで一つお断りしておきます。「その4」は通し番号1435から始まり1975で終わっています。ここでも同じ「F-1」で「商業一般」なのですが、その途中 通し番号1913から小見出しに「お茶の販売」とあります。それでは1912以前のもはお茶の取引についての記載はないのかと言いますと、そうではありません。分類「F-1」のところには全てお茶の取引に関わることが含まれています。だからわざわざ「お茶の販売」などと断る必要はないのですが、川根町がまだ地方自治体時代、「川根町史」（史料集）を編さんしたことがあり、その時に調査文書目録に記録されていた史料を、「お茶の販売」として区別したまでのことです。しかしこれ以外の箇所にもお茶の取引に関して注目すべき文書が数多く含まれているので、分類F-1は全体から「お茶の販売」を眺めなければならないことになります。

2、年貢とお茶

お茶が当地方の代表的な特産物であることには間違いのないところです。綿も当地方の特産物で、戦国時代から、また江戸時代になって小物成という雑税で納入されていました（17世紀は現物納、18世紀以降は代銭納）。このことはすでに目録「その1」で紹介済みです。ところが同じ特産物でもお茶の場合はすこし事情が異なるようです。

一般的に江戸時代の年貢は、田は勿論のこと畑や屋敷でも土地の生産高はすべて米に換算し、その生産量で表す石高制で、これもすでに目録「その1」でも紹介しました。幕府とか藩とかその領地の支配者から各村宛てに年貢納入明細書が送られてきますが、これを「年貢可納割付状」（年貢免状とか御成箇免状など名称は色々）と言います。この割付状から年貢は大きく3種類に分けられます。それは第一に「村高」と称される部分、第二にその後に関与された「新田高」の部分、そして第三に「外」と記載される第一・第二を除くその外の部分です。第一と第二の村高と新田高は原則として米（一部は代金納の場合もある）で、そして第三の「外」の部分は米や銭貨や品物や色々あります。目録「その1」で紹介した綿はこの「外」の中の小物成

（雑税）として納入することになっていました。ところがお茶に関してはこのいずれにもその名が出てこないのです。つまり年貢割付状の中に「お茶」なる名前はないのです。これは一体どう解釈すればよいのでしょうか。しかしお茶が年貢と関係があることには間違いありません。

目録「その6」に於いて、次のような内容を記した文書が目につくので2～3紹介しましょう。

その1：「享保11・12・13年以前から不作続きで、お茶は一切実らず年々年貢金を他から借用して賄っている。今回も年貢諸役を務めることが出来ず、私所有の長太夫屋敷を由右衛門さんに渡し、金1両2分を工面して年貢納入を果たした（元文3年3月、通し番号2834）」

その2：「年貢賄地の茶枯れで困り、質入れの茶畑1枚を金2分で永代相手に渡し、年貢金の工面をした（寛保3年12月、通し番号2851）」

その3：「年々金子借用して年貢を皆済しているが、今回はお茶が下値で年貢金を納入出来ない。やむなく山地6枚を松兵衛さんに永代質物として渡すこととして、年貢金を賄うことにする（延享2年12月、通し番号2862）」

以上に見られるように、お茶を売った代金が年貢金となっていることは確かです。お茶が年貢納入のための主要産物であったことが窺えます。それでは何故年貢割付状にお茶の名前が出てこないのでしょうか。

目録「その1」：5、「この地域に於ける年貢納入」の（2）「18世紀初頭以後の年貢納入」の項で「5石代の村」について紹介しました。すなわち田畑・屋敷の生産高を米（初）に換算して石高表示とし、これを総計して得られるのが村の総石高（これが一般的に全国各村で表示される村高）です。当地方はこの石高を一旦「永」という擬制貨幣に換算して「永高」で表し、更にそれを「永1貫文＝粃米5石」で算出し直して得られる石高を表示して、これを領主に提出する公的な村高とします。あくまで石高制にこだわっているのです。笹間村の場合、村高は670石3斗5合＝永134貫61文でこれは幕末まで変わっていません。670石余りの石高なのに文化6年（1812）年に至ってもその納入年貢米はたったの2石2斗9升でした。実際の米高が670石余りならば年貢納入米が2石2斗余という少量で済むわけがありません。つまり670石余りという高は「永高」による代銭納を前提とする石高表示なのです。その貨幣は主としてお茶で賄うというのが当地方のあり方だったといえるでしょう。このように考えれば「5石代表示」も納得できます。「5石代表示」は米作りの期待できない山間地でみられる換算法なのです。

3、お茶の商取引

（1）お茶取引の文書

お茶の商取引に関する文書は、目録その4、その5、その6の3冊を含み全部で1335点と

なります。更にこの1335点は、年号の明確な文書：188点、十二支のみ：145点、そして月日のみ記載の文書：1002点と分類できます。すなわち多数のお茶文書が存する中で、正確に歴史の組立てに利用できる文書は全体の14%に過ぎません。しかし「十二支のみ」の文書や、また全体の75%を占める「月日のみ」記載の文書の中にも若干その内容により年代を特定できるものもあります。それらも年代の分かる文書と見なして扱い、それ以外は残念ながらこのままでは利用できません。この月日のみ文書というのは「覚」とか書簡が多いのです。これらの文書は、当家以外の文書や他地域の文書と比較検討しつつその年代を特定する必要がありますが、これらは今後の課題といえるでしょう。そこでここでは年代の分かる文書を軸にお茶の商取引について紹介することにします。

(2) お茶取引の販路

江戸時代 お茶の商取引がいつ頃から始まったのか、それは当家文書だけでは明らかにし得ないけれど、18世紀（江戸中期）には取引の存在したことは凡そ見当がつきます。当家文書からすると文化8（1811）年～文久3（1863）年までが年号のはっきりするところです。

お茶の販路は藤枝・駿府・江戸などが挙げられますが、とりわけ江戸に於ける販売が中心といえます。そこで お茶が地元生産者からどのようにして江戸にもたらされ、販売されたのか、本稿ではこの点について紹介することにします。

お茶の生産者といっても零細農家が自分の手で勝手に江戸に運んで販売することは不可能です。地域の豪農が近隣の農家のお茶も一手に引受け、まとめて江戸に送り出すという方法が取られていたのです。いわば仲買人の存在です。岡野谷松兵衛（江戸時代は岡莖谷ではなく岡野谷）もその一人でした。そしてそのルートは目録「その4」で紹介した推茸と同様、伊久美―（檜峠）―藤枝―焼津湊ととり、そしてそこから船で江戸に向かいます。藤枝宿には書状等を扱う飛脚問屋のような業者が、そして焼津湊には船問屋が存在しました。当家文書では、藤枝の飛脚問屋業者として数ある中で下伝馬の健屋又助や上伝馬の三度屋十兵衛が頻出します。彼らは焼津湊の船問屋から岡野谷松兵衛に報せる茶荷物出帆に関わる書状を扱っていました。そのみでなく江戸の茶商人からの松兵衛宛の書状や仕切金なども扱いました。

焼津湊の船問屋としては、鷺野武右衛門・渡仲増右衛門・松村惣五郎・徳田屋甚五郎・巻田久左衛門・斎藤清右衛門等の名前を挙げることができます。その内 松兵衛宛の通知に関しては鷺野武右衛門が圧倒的多数を占めています。

次に江戸商人との関係ですが、元々お茶の生産地域から江戸に赴いて取引相手を見つけ販売していたようです。笹間村下組では岡野谷家一族の者、また身成村や伊久美村に於いてもその存在が明らかになっています。しかしこうして販路を開拓した後には自ら赴くことはせず、在地でお茶を集め、江戸商人と通信で連絡し合いながら取引するいわゆる仲買人的形に自然に落ち着いたようです。その江戸の取引相手とはどんな人か、松兵衛宛の書簡から彼らの名を拾ってみると次のようになります。

富田利兵衛（大伝馬町2丁目）・中村三郎右衛門（同1丁目）・若荷屋善五郎（1丁目）・板屋興兵衛（同2丁目）・小津次郎左衛門（通旅籠町）・大橋太郎次郎（本町4丁目）・大和屋三郎右衛門（本石町4丁目）・長井利兵衛（本町4丁目）・中条瀬兵衛<長崎屋>（伊勢町）・小津六兵衛（堀江町1丁目）・住吉屋庄七（南新堀1丁目）・山本嘉兵衛（日本橋通2丁目）・榎原藤助（元四日市）

以上13名となりますが、この外に、西村喜三郎（本町4丁目）・中野善助（通旅籠町）・中屋善助（北新堀町）・大塚宗右衛門（呉服町1丁目）・白子屋仁兵衛（本船町）・湊屋源三郎（堀留町1丁目）・亀屋久右衛門（飯田町）、以上7名の者は現存する松兵衛書簡にはその名前を見出せないけれど取引がなかったとは断定できません。

実はこの計20組の者、その後文化8（1811）年閏2月 茶問屋仲間を結成し、翌々年の文化10年に江戸「茶株仲間」として幕府から公認され、以後文政年間より駿河・遠江国地方とのお茶の取引が大きく変化することになるのですが、これは後述するとして、ここでは変化する以前の取引の有り様から先ず紹介することにします。

(3) 江戸商人との取引—文化年間まで—

藤枝の健屋又助や三度屋十兵衛を通して上記江戸商人から次のような書状が松兵衛に届いています。

○お茶の季節となりました。新茶をなるべく早く送って下さい。

○金子（買付金）は例年通り送るのでお茶の出荷のこと至急お願いします。

○古茶もなるべく高値で売れるように努力します、新茶は出来るだけはやく積み出しを当店にお願いします。

○新茶を送って下さい、なお仕切金はお茶の着き次第すぐ送ります。

○新茶大走りを沢山送って下さい。値段もなるべく高く売れるよう努力します。あと荷もよろしく当店宛にお願いします。

このような書状が前記江戸18人の茶商人一人ひとりから引きも切らず上河内の松兵衛の下にもたらされています。それからお茶が届いたらその礼状、以後も当店に送付よろしくと付け加えることも忘れません。また新年にはそれぞれが競うように松兵衛に賀状を送り以後のお茶の取引を願っています。

これらの書状を読むと松兵衛の機嫌を損なわないような江戸商人の配慮が伝わってきます。仕切金の送付も前金で一度に15両、20両、30両などと半端ではありませんでした。大井川筋の茶産地は江戸の茶商人から大モテであった様子が窺えます。

ところが文政年間に入り事態は一変します。次にその変化に話を移しましょう。

(4) 文政の茶一件

前項(2)「お茶取引の販路」で紹介した通り、江戸の取引商人20名の者が文化8年閏2月 茶問屋仲間を結成し、同10年それは茶株仲間として幕府より公認されました。株仲間と

いう組織は幕府の保護のもとに商品の品質管理・価格統制などを自由に行い、その代わりに幕府に冥加金（献金の性格をもった雑税で、税率を伴わない点で同じ雑税の「運上」とは異なる）を上納することになっていました。幕府としてもこの冥加金への期待が大きかったのです。この茶株仲間結成以後 彼らの生産地域に対するお茶取引の態度が徐々に変わってきたのです。

通し番号 1361 子年（文化 13 年と推定）願上書付書によると、江戸表の茶問屋が茶値段を下値に仕切り、仲買金主方（松兵衛等）が多分に損耗し、小前（在地茶生産者）への金銀貸し引きもままならず、小前の者は年買賄金の工面ができない。このように困った様子が記されています。更に通し番号 1746（年号不明・8月4日）の書状には、江戸 20 軒茶問屋が公儀への冥加金を 1 ヶ年に金 100 両の献金とするというが、こんなことが可能なのは仕切り値段を下値に抑え、売値を高値にしてその差額を利用しているからに違いない、と記しています。こうした江戸茶問屋のやり方に対して駿河・遠江の茶生産者らはずいに訴訟を起こしたのです。これが文政 6（1823）年の茶一件と呼ばれる事件です。通し番号 1921 の「御用留」に駿州・遠州に於ける茶生産地 106 カ村を代表して江戸茶問屋を訴える、として次のような内容の記事があります。

各村は山間谷間に存する村で、茶の生産によって年買諸役を勤めて来た。ところが近年江戸の茶値段が下落、これは 10 年前より江戸茶問屋が茶取引を 20 軒のみとする、と勝手に決めて、生産地から送る茶荷物を受け取らない、そして直接生産者から送られる茶の値段を下げるなどするので百姓は困窮、かたや公儀には多額の冥加金を納めている始末、以前のように生産地の者が自由に売買できるようにして欲しい。

こうして事件は更に広がりを見せ、一時は江戸茶問屋のみでなく、在地や駿府の仲買人のいわゆる茶仲間もグルだとみなされ被告の対象とされたこともありました。しかしこれは間もなく疑いが晴れたようです（通し番号 928）。

この裁判は長引き 5 年後の文政 11 年になってやっと落着きました。

訴訟人はこの 5 年間 裁判のため度々出頭命令を受け、その都度入れ替わり立ち代わり江戸に赴きました。その旅費・滞在費は村人の予想をはるかに超えるものであったようです。江戸滞在者からは費用を至急遅れとの矢のような催促、村入用から捻出するにも各戸から高割や軒割などで対応する臨時徴収となります。村々はこれに耐えられなくなりました。加えて身成・伊久美村では出水・虫害の災害も重なって村方難儀となります。結局訴訟の取り下げを願い出る羽目となり事件は落着、つまり在地村側の敗訴で終わりました。考えて見ると、幕府が株仲間を公認したのは冥加金の献納を期待してのことで、訴訟人の主張は初めから期待できるものではなかったのです。

となる場合が多く、そのことが地元生産者や仲買人を苦しめました。お茶の値段が変動するというのが江戸茶仲間側の理由のようですが、結局は茶仲間が、現地からの買値を下値に抑さえ、江戸での売値を高値にしたいという思いがあったからでしょう。茶株仲間結成以前から悪意にして来た江戸商人ですら、仲間結成以後送られる茶仕切状には、「御地の茶値段が高いので、商売が引き合わない」とか、「生産地の茶が高値につき、売りさばきに苦勞している」などとする、冷たい声が目立ちます。江戸からはこうした茶仲間個人だけではなく、株仲間の組織 茶問屋行事から直接生産地の茶荷主へ次のような要望書（廻文）が送られるようになりました。

「お茶が霜当たりで相場が案ぜられるが高値はだめ、安値で仕入れるように」、

「古茶がまだ片付かなくて迷惑している。相場は不景気、新茶が入津してもその捌きが難しい、新茶は急がない、それより恰好の値段で買入れてほしい」、

「江戸は不景気、諸地方から茶荷物が一度に入津するので、相場が崩れて迷惑、精一杯売り捌いてはいるがはかばかしくない。損失が出て気の毒に思うが悪しからず」、などと、相場が不景気なのは生産地側のせいだと言わんばかりの言いようです。

以上にみられるように、茶一件以前と以後とでは江戸商人の態度は一変します。その原因は茶株仲間の結成によるお茶の独占販売にあったといえます。

一般的に株仲間の公認は 18 世紀前半の 8 代将軍吉宗の享保改革にさかのぼり、10 代家治将軍の代 田沼政治下で積極的公認をみました。その影響が駿河・遠江の地方にも及んだのです。しかし 12 代将軍家慶代には、水野忠邦の天保改革で株仲間解散令が發布されました（1841 年）。江戸茶株仲間も勿論解散とはなったのですが、10 年後には再興令が出るなどで混乱状態が続きます。以後お茶の売買はどのように変化したのでしょうか。

時代は幕末期、国内経済は大きく動きます。安政 5（1858）年 6 月日米通商条約をはじめ、日露・日蘭・日英・日仏条約が成って神奈川（後に横浜）が開港、外国との貿易が公式に始まることになったのです。幕末日本の輸出品として、お茶は生糸に次ぐ第 2 番目の地位にありました。

駿河・遠江のお茶はこの神奈川（横浜）における貿易にどのように対応して行ったのでしょうか。神奈川・横浜と結ぶ大井川流域の茶生産、販売の有り様は残念ながら当家文書からはうかがうことはできません。今後の課題といえるでしょう。

委しくは当家文書を精読しなければなりません、ここでは本目録から読みとれることを軸に紹介しました。

（5）茶一件後の取引

生産地に於いて地元仲買人が茶を買い集めるに、それなりの資金が必要となる。江戸に茶株仲間が結成される以前は前金で江戸商人から送られて来ていたが、仲間結成以後は後払い

年表 応仁元年(1467)~平成9年(1997)まで

改元年の月と閏月をのせる。但し閏月は○入り

Table with columns for year, month, and zodiac sign, listing dates from 1467 to 1997. Includes leap months marked with a circled 'O'.

近世文書分類表 (明治5年まで)

前5

A 支配

- 1 領知 ①領主関係 ②領地関係 ③家臣関係 ④役所関係 ⑤建白書 ⑥王政復古
- 2 法令 ①法度 ②条目 ③定書 ④高札 ⑤掟 ⑥触書 ⑦達 ⑧五人組前書
- 3 治安 ①犯罪 ②取締 ③刑罰 ④喧嘩 ⑤騷擾・一揆 ⑥各種詫状 ⑦博奕 ⑧心中 ⑨防犯 ⑩検約 ⑪奢侈取締 ⑫風俗取締 ⑬鉄砲改

B 土地

- 1 検地 ①検地条目 ②検地 (a 検地帳 b 水帳 c 清野帳 d 地押改帳 e 高反別改帳 f 田畑高名寄帳 g 田畑高帳 等) ③新田検地 (a 新田検地帳 b 切開帳 c 切添帳 d 起返帳 等)
- 2 免租地 ①朱印地 ②除地 ③引地
- 3 新田開発 ①山林原野 ②隠田畑 ③河原 ④鷹場
- 4 所有地 ①所有者 ②登記 ③境界紛争

C 貢租

- 1 年貢 ①物成 ②本途 ③取箇 ④成箇 ⑤地子 ⑥年貢割付状 ⑦免状 ⑧年貢皆済目録 ⑨口米 ⑩込米 ⑪欠米 ⑫小物成 ⑬先納 ⑭廻米 ⑮未進 ⑯延納
- 2 課役 ①国役 ②高掛物 ③村役 ④人足役 ⑤浮役 (a 運上 b 冥加)
- 3 地租 ①税金 ②改正関係

D 村制・戸口

- 1 村概況 ①村差出明細帳 ②村鑑 ③他村高帳等
- 2 村政 ①村役人 (a 勤役 b 給与 c 交替) ②規約 (a 村法・村定 b 誓詞) ③村方帳簿 (a 御用留 b 御用触書 c 覚書 d 願書 e 役向日記 f 諸書上帳 等)
- 3 村入用 ①村入用帳 ②村賄帳 ③巡見使諸入用帳 ④郷借証文
- 4 戸口 ①戸口改 ②宗門改 (a 人別改帳 b 宗門改帳 c 五人組改帳 d 人数増減改帳) ③宗門一札 ④宗門送状 ⑤宗門諸状 ⑥欠落 ⑦戸籍

E 諸産業

- 1 農業 ①耕作 ②農作物 ③農具 ④肥料 ⑤技術 ⑥農産物 ⑦養蚕 ⑧出作 ⑨入作 ⑩農業帳簿 (a 農業耕作覚書 b 大福帳 c 田畑小作人元帳 等)
- 2 小作 ①小作人 ②小作慣行 ③小作料 ④小作紛争
- 3 入会 ①入会地 ②入会慣行 ③入会形態 ④入会紛争
- 4 林業 ①造林 ②伐木 ③造材 ④運材 ⑤材種 ⑥木炭・椎茸等 ⑦御林守 ⑧その他特産物
- 5 水産業 ①漁業 ②漁船 ③入会 ④水産物 ⑤水産加工品 ⑥製塩 ⑦漁撈組織 (a 網元 b 網子)
- 6 畜産 ①牧畜 ②家畜 ③牛馬 ④牛馬役 (牛馬改帳) ⑤飼料
- 7 鉱業
- 8 工業 ①紙漉 ②織布・機械 ③製糖 ④大工 (a 家大工 b 船大工 c 細工物 等) ⑤その他

F 商業

- 1 一般 ①市場 ②商店 ③商品 ④商人 ⑤問屋 ⑥卸 ⑦小売 ⑧仲買 ⑨行商 ⑩組合 ⑪株仲間 ⑫商取引 ⑬売買 ⑭譲渡 ⑮手数料 ⑯商業帳簿 (a 金銭出入帳 b 大福帳 c 仕入帳) ⑰広告

F 商業

- 2 金融 ①為替 ②両替 ③手形 ④無尽 ⑤講掛金 ⑥貨幣 ⑦借金証文 ⑧田地証文 ⑨質地証文 ⑩借入金明細書 ⑪貯蓄

G 交通・通信

- 1 宿駅 ①街道 ②宿帳・問屋 ③宿役人 ④問屋・問屋場 ⑤継立人馬 ⑥帳簿 ⑦押借金 ⑧本陣 ⑨旅籠 ⑩加宿・地方
- 2 助郷 ①定助郷 ②加助郷 ③代助郷 ④帳簿類 ⑤助郷訴訟
- 3 通行 ①陸上・海上・河川・湊 ②渡し ③驚籠 ④馬背 ⑤賃銭 ⑥關所 ⑦通行手形 ⑧交通機関 (a 荷車 b 人力車 c 馬車 d 船 等)
- 4 通信 ①飛脚 ②宿継 ③廻状 ④業者

H 水利・土木

- 1 水利 ①治水 ②河川・湖・池・溜池 ③灌漑 ④排水 ⑤樋 ⑥堰 ⑦組合 ⑧紛争
- 2 土木 ①普請 (a 道路 b 堤防 c 橋梁) ②家作 ③資材 ④労力 ⑤費用
- 3 河川 ①海兵 ②流木 ③難破船

i 災害・救恤

- 1 災害 ①凶荒 ②飢饉 ③地震 ④火災 ⑤風水害 ⑥流行病
- 2 救恤 ①救米金 ②負担軽減 ③復旧助成 ④備荒貯蓄

J 教育・文化

- 1 教育 ①学校・寺子屋 ②私塾 ③教師 ④生徒 ⑤教科書
- 2 学芸 ①諸学問 (a 儒 b 国 c 洋 d 心 e 医 f 兵 g 易 h 天文) ②俳諧・和歌 ③曆学 ④本草学
- 3 文化 ①隨筆 ②見聞録 ③旅行記 ④絵画・書 ⑤工芸 ⑥地方書 ⑦農書 ⑧音楽

K 宗教・習俗・身分

- 1 宗教 ①仏教 ②寺院 ③神道 ④神社 ⑤切支丹 ⑥教会 ⑦僧侶 ⑧神官 ⑨宣教師 ⑩山伏 ⑪檀家 ⑫氏子 ⑬祭礼 ⑭祈祷 ⑮勧進 ⑯寺社造営修復 ⑰由来
- 2 習俗 ①年中行事 ②冠婚葬祭 ③贈答 ④娯楽 ⑤言語 (a 方言 b 俗言 c 流言 d 落首) ⑥風俗 ⑦口碑 ⑧伝説 ⑨民謡 ⑩迷信 ⑪講 ⑫宮座 ⑬若者組 ⑭遊山 ⑮参詣 ⑯巡礼
- 3 身分 ①士農工商 ②郷士 ③浪人 ④無籍者 ⑤非人 ⑥一本証文 ⑦一般雇用人 ⑧年季奉公人 (a 証文 b 請人 c 給与)

L 軍事

- ①海防 ②農兵 ③戦争

M 地図

- ①村絵図 ②寺社絵図 ③河川・沼・港絵図 ④山絵図

X 家

- ①家憲・遺訓 ②家譜 ③由緒 ④過去帳 ⑤家格 ⑥苗字帯刀御免 ⑦本家 ⑧分家 ⑨相続 ⑩養子縁組 ⑪家業 ⑫家産 ⑬日記 ⑭書簡 (私信) ⑮姓 ⑯結婚 ⑰生死 ⑱衣食住

Y 典籍

- ①和 ②漢 ③外

Z 雑

- ①断簡 ②その他

岡埜谷家古文書目録の利用に当たって

I 文書目録の見方について

1 文書の分類

本古文書の内容はほぼ江戸時代から明治・大正・昭和の時代にわたっています。江戸時代の文書（中世文書も含む）は「近世文書分類表」（明治5年迄）により、また明治・大正・昭和時代の文書は「近現代文書分類表」によって分類しています。例えば江戸時代の文書（含、中世）ならば、「近世文書分類表」のA項目から「A-1」・「A-2」・「A-3」、次のB項目は「B-1」・「B-2」……、また明治・大正・昭和時代のものは「I-1」・「I-2」……「II-1」・「II-2」……というふうに各項目ごと、年月日の早い物から順に配列する方式をとっています。年代の特定出来ない文書はそれぞれの分類項目の最後尾にまとめて配列しました。

特に分類F-1については、商業一般のものとお茶の販売のもので目録の掲載を分けました。一般の部分を先に、その後にお茶の販売の部分を載せました。

2 「通し番号」と「整理番号」について

- (1) 「通し番号」とは本文書目録の最左端上部から順に付した一連の番号数字で、分類別かつ年代順に古い事項から一連番号を付したものです。
- (2) 「整理番号」とは、「通し番号」の下に付した番号数字のことで、これは調査の際に文書挿入の封筒に付した番号です。この番号については、『川根町近世史料所在目録』（第6集）の「岡埜谷家文書」に掲載されてある分類符号にそのまま番号数字を記して『川根町近世史料所在目録』からでも原文書を特定できるようにしました。それから今回は未調査の文書があり、それも調査を行ない、追加分としました。追加分の文書は外1、外2・・・と「外」の字を付して一連番号としました。いずれにせよあとで説明してありますが、この「整理番号」が原文書を取り出す時の鍵数字となります。

3 「年号」欄、「標題」欄、「差出人・受取人」欄について

- (1) 時折り、「欠」とか「記載なし」とかの表示がありますが、「欠」とは、もと原文書に記入してあった筈の文字が、虫喰いとか破損等で欠落していることを意味しています。また「記載なし」とは、原文書にもともと記入しなかったことを表しています。
- (2) 年号欄・標題欄等で、語句を（ ）で表記しているところがあります。これは原文書には何も記していない箇所ですが、内容から推測してその意味がくみ取れ

るよう仮の言葉で調査の際に新たに記載したものです。但し、西暦は常に（ ）内に示し例外です。

4 「摘要」欄・「備考」欄について

- (1) 摘要欄には原文書内容の要旨や特徴を記載し、いちいち原本に当たらなくてもおよその文章内容が把握出来るようになっています。この「摘要」欄を「年号」・「差出・受取人」欄とを併合して見ることで「分野別年表」として活用できるようにしました。
- (2) 備考欄には本文内容以外の補足事項を必要に応じて記入しました。

5 「形態」欄と「数量」欄について

- (1) 形態欄に「状」・「縦」・「横」・「綴り」等の表示がありますが、「状」とは「一紙文書」のこと、「縦」とは縦帳面のこと、「横」とは横帳面のこと、「綴り」とは複数の文書又は帳面を一括して一綴りにしているものを意味します。
- (2) 数量欄の数字は、一つの封筒の中に入れた文書の枚数のこと、帳面ならば冊数になります。

6 「撮影」欄と「箱番号」欄について

- (1) 撮影欄には、岡埜谷家古文書調査の際にコピーして、そのコピー文書を当市史編さん室（博物館）が所持していることを意味しています。
- (2) 箱番号とは、当市史編さん室（博物館）にある「コピー文書」の保管箱の番号のことです。

II 古文書原本の取り出し方

- 1 古文書収納箱の中には、封筒に入った古文書が分類「A-1」・「A-2」…「B-1」…「D-1」…「E-1」…の項目ごとにそれぞれ分割されて大きな袋（「同一分類による文書群の挿入袋」）に入っています。この分類袋と文書目録の「整理番号」から該当文書を取り出すことができます。
- 2 古文書の取り出し方について、一例をあげると次の通りです。例えば文書目録の「通し番号」9の文書を取り出すとします。この通し番号9の文書の「整理番号」は「A24」で、分類は「A-1」です。そこで、まず分類（A-1）の挿入袋（同一分類による文書群の挿入袋）を出します。そしてこの大きな封筒の中から整理番号「A24」の封筒を選び出せば該当

文書が得られます。以下、取り出す要領はすべて同じです。

- 3 分類 F - 1 は商業一般と、お茶の販売で保管する箱が分かれています。お茶の販売の文書が入っている封筒の整理番号の頭に L の符号がついており、保管箱の表紙には「分類 F - 1 ㊤付き」と表示されています。分類 F - 1 の文書を取り出す際には商業一般に関するものか、お茶の販売に関するものか気をつけて取り出してください。

また、『川根町近世史料所在目録』掲載分と追加分で保管する箱を変えてあります。追加分には保管箱に「第2次調査分」と記載してありますので、こちらも文書を取り出す際には気をつけてください。

Ⅲ 文書の取扱いに付いてお願い

- 1 文書を取り出したならば、しまう時には必ず元の挿入箱に納めてください。
これを取り違えると、次会引き出すとき行方不明となり、場合によってはすべての古文書に当たらなければなりません。
- 2 古文書がいつまでも傷まないように、時々乾燥剤や防虫剤を収納袋の中に入れ替えてください。
- 3 当古文書は戦国・江戸時代の上河内地区の動向を知る上で貴重な資料となるものです。それは岡莖谷家の宝物であると同時に当地域の貴重な財産でもあります。いつまでも大切に保存してください。

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
1976 L598	F 1	天保11年9月 (1840年)・子	茶仕切の事	○長崎泉兵衛(印文:堀留壺 長崎屋 中条) (江戸茶問屋20軒の内) ●岡野谷松兵衛	「上 茶12本の代金15兩3分3匁5分3厘、これより諸経費金11兩1 2匁7分7厘を差引き、金4兩2分2匁2分6厘の仕切。	(旧目録P241)	原 本	状	1	○	94
1977 L766	F 1	天保11年9月 (1840年)・子	茶仕切之事 小判五拾八匁割	○(伊勢町):中条瀬兵衛(20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 小口訳 24本の代金30兩3分4匁4分9厘、これより諸経費金22 兩1分8匁9分を差引き、金8兩1分10匁9分の仕切。	(旧目録P242)	原 本	状	1		
1978 L339	F 1	天保11年12月吉日 (1840年)・子	「上 茶仕切小判六十 目割	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶銘柄「文一」手銘柄9本の代金9兩8匁、これより諸経費金11兩1分 12匁2分8厘を差引く。	虫損あり (旧目録P233)	原 本	綴 り	1		
1979 L769	F 1	天保12年3月吉日 (1841年)・丑	「上 茶仕切小判六十 匁割	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶銘柄「頭の一」1本の代金1兩1分9匁2分、これより諸経費を差引 き、金16兩2匁4分6厘のかし。	虫損あり (旧目録P233)	原 本	状	1		
1980 L341	F 1	天保12年9月2日 (1841年)・丑	茶仕切之事 小判五拾八割	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	仕切添状、茶30本代金41兩3匁1分1厘より諸経費金53兩6匁を差 引き、12兩2匁8分9厘の貸し。包紙(藤枝三度屋重兵衛に依頼)	(旧目録P242)	原 本	綴 り	2		
1981 L164	F 1	天保12年9月 (1841年)・丑	茶仕切小判五拾八匁割	○若荷屋善五郎(印文:大傳馬壹町目 若荷 屋) ●岡野谷松兵衛	「上 茶19本の代金21兩3分6匁6分5厘、これより諸経費金28兩1 2匁2厘を差引き、金6兩1分4匁3分7厘の貸し。	(旧目録P245)	原 本	綴 り	1	○	94
1982 L340	F 1	天保12年9月吉日 (1841年)・丑	「上茶仕切小判六十匁 割	○堀留町式丁目:板屋与兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 茶10本の代金12兩3分14匁7分8厘、これより諸経費等を差引 き、金3兩3分14匁の貸し。	丁敷2枚 (旧目録P233)	原 本	綴 り	1		
1983 L342	F 1	天保12年9月 (1841年)・辛丑	茶仕切小判五十八匁割	○(大伝馬一丁目):中村三郎左衛門(茶問屋20 軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶9本の代金12兩6匁7分5厘、これより諸経費等を差引き、残り 金1兩11匁2分9厘の仕切。	(旧目録P244)	原 本	綴 り	1		
1984 L343	F 1	天保12年秋 (1841年)・丑	「上茶仕切之事小判五 十匁割	○(堀留):長崎屋瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 茶12本の代金17兩2分8匁1分1厘、これより諸経費を差引き、 金6兩1分6匁2分5厘の仕切。	(旧目録P241)	原 本	綴 り	1		
1985 L345	F 1	天保12年9月吉日 (1841年)・丑	「上茶仕切小判六十割	○長井利兵衛(江戸屋問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶10本の代金15兩5匁7分8厘、これより諸経費を差引き、金15 兩3分14匁1厘の貸しの仕切。	(旧目録P239)	原 本	状	1		
1986 L768	F 1	天保12年12月9日 (1841年)・丑	茶仕切之事	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	包紙に仕切案内と新茶積入依頼。「上 茶15本の代金19兩2分12匁 8分7厘、これより諸経費金13兩2分2匁9厘を差引き、金6兩9匁7分 8厘、金2朱ト300文の仕切。	(旧目録P243)	原 本	綴 り	2		
1987 L32	F 1	天保12年12月吉日 (1841年)・丑	「上茶仕切小判六拾目 割	○板屋与兵衛(印文:堀留町 式丁目 板屋) ●岡野谷松兵衛	「上 茶2本の代金1兩3分10匁8分1厘、これより諸経費金4兩8匁6 分6厘を差引き、金2兩12匁8分5厘の貸しの仕切。	(旧目録P233)	原 本	状	1	○	94
1988 L344	F 1	天保12年12月吉日 (1841年)・丑	「上茶仕切六拾問目割	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶12本の代金18兩3分4匁9厘、これより諸経費金37兩1分を 差引き、金18兩1分9匁9分6厘の貸しの仕切。	(旧目録P239)	原 本	綴 り	1		
1989 L165	F 1	天保13年正月 (1842年)・寅	仕切	○恵市屋宗治郎(印文:伊勢町恵市屋 茶問 屋) ●岡野谷松兵衛	「上印 茶1本の代金1兩2分2匁4分、これより諸経費金2兩3分1匁 2分5厘を差引き、金1兩8匁3分5厘貸しの仕切。	(旧目録P236)	原 本	状	1	○	94
1990 L346	F 1	天保13年9月 (1842年)・寅	茶仕切	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶9本の代金12兩8匁2分1厘、これより諸経費等金10兩3分3 匁7分3厘を差引き、金1兩1分2匁4分8厘の仕切。	(旧目録P246)	原 本	綴 り	1		
1991 L347	F 1	天保14年8月 (1843年)・卯	仕切	○恵市や宗次郎 ●岡野谷松兵衛	「上 茶13本の代金16兩1分11匁1分1厘、これより諸経費金21兩 8匁8分1厘を差引き、金4兩2分2匁7分4厘貸しの仕切。	(旧目録P236)	原 本	状	1		
1992 L348	F 1	天保14年9月吉日 (1843年)・卯	「上茶仕切小判六十目 割	○長井利兵衛(江戸屋問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶30本の代金33兩1分14匁1分と寅12月仕切り預り1匁7分、 これより諸経費等を差引き、金3兩3分6匁5分6厘の貸しの仕切。	虫損あり (旧目録P239)	原 本	綴 り	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
1993 L349	F 1	天保14年9月 (1843年)・卯	茶仕切小判六十割	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶23本の代金22両3分7匁5分2厘と上納預り金6匁4分1厘、これより諸経費金21両1分と73文目7分を差引き、金1両13匁2分3厘の仕切。	(旧目録P245)	原 本	綴 り	1		
1994 L350	F 1	天保14年9月 (1843年)・癸卯	茶仕切小判六拾目割	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶12本の代金12両12匁3分で船荷物仕切目録を送付したので、引き合わせ願いたい。諸経費は、金3両3分6匁5分。	(旧目録P247)	原 本	状	1		
1995 L351	F 1	天保14年9月 (1843年)・卯	茶仕切之事 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上 茶32本の代金37両2分1分7厘、これより諸経費金22両2分11匁5分2厘を差引き、金14両3分3匁6分5厘の仕切。	(旧目録P243)	原 本	状	1		
1996 L770	F 1	天保14年9月吉日 (1843年)・卯	「上茶仕切小判六十目 割	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶13本の代金15両1分13匁2分1厘と寅の秋仕切り預り1朱6分3厘、これより諸経費金21両7匁4分4厘を差引き、金5両2分7匁3分の貸しの仕切。	(旧目録P233)	原 本	状	1		
1997 L352	F 1	天保14年12月吉日 (1843年)・卯	「上茶仕切小判六十匁 之割	○板屋與兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋) ●岡の谷松兵衛	「上 茶1本の代金1両9匁4分7厘、これより諸経費金5両2分12匁2分1厘を差引き、金4両2分2匁7分4厘の貸しの仕切。	(旧目録P233)	原 本	状	1	○	94
1998 L408	F 1	天保14年12月 (1843年)・卯	「上茶仕切之事 小判六十匁割	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	仕切計算書 金9両2分2匁13匁7分8厘とある。	(旧目録P241)	原 本	状	1		
1999 L7	F 1	天保14年(中損)月吉 日(1843年)・癸卯	新茶仕入帳	○上河内村:岡野谷松兵衛(裏表紙) ●記載なし	茶の生産者・生産地の記載あり。茶39本の代金33両1分4朱、その他日々の仕入等の記述あり。	丁数100枚、中損・シミあり (旧目録P285)	原 本	横 帳	1		
2000 L353	F 1	天保14年 (1843年)・卯	「上茶仕切之事 小判六拾匁之割	○長崎瀬兵衛(印文:堀留壺長崎屋 中条)(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上 茶20本の代金25両2分5匁5分1厘、これより諸経費金36両3分2匁7分5厘を差引き、金11両12匁2分4厘の貸しの仕切。	(旧目録P243)	原 本	綴 り	1	○	94
2001 L354	F 1	天保14年 (1843年)・癸卯	茶仕切小判六十匁割	○大伝馬一丁目:中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶14本の代金18両3分2匁4分2厘、これより諸経費等を差し引き、金2両1分11匁7分7厘の貸しの仕切。	(旧目録P244)	原 本	綴 り	1		
2002 L355	F 1	天保15年1月吉日 (1844年)・辰	「上印茶仕切り小判六拾 匁割	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶3本の代金2両3分7匁8分1厘、これより諸経費等24両8匁1分2厘を差引き、金21両1分2分3厘の貸しの仕切。	(旧目録P239)	原 本	状	1		
2003 L356	F 1	天保15年2月9日 (1844年)・甲辰	茶仕切小判六十目割	○日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶3本の代金1両2分2匁8分4厘、これより諸経費等4両1匁9分4厘を差引き、金2両1分14匁1分の貸しの仕切。	(旧目録P247)	原 本	状	1		
2004 L357	F 1	天保15年9月 (1844年)・辰	茶仕切り小判六拾匁割	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶21本の代金20両1分8匁6分9厘、これより諸経費等金21両2分6匁2分3厘を差引き、金1両2匁2分3厘の貸しの仕切。	(旧目録P245)	原 本	綴 り	1		
2005 L358	F 1	天保15年9月 (1844年)・辰	茶仕切り之事 小判六十目之割	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶21本の代金29両6匁7分9厘、これより諸経費金21両3分14匁1分6厘を差引き、金7両7匁8分3厘、金2朱13文の仕切。	(旧目録P243)	原 本	綴 り	1		
2006 L359	F 1	天保15年9月吉日 (1844年)・辰	茶仕切り之事 (「上茶仕切小判六拾匁 之割)	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶22本の代金23両8匁4分2厘、これより諸経費金21両1分3匁7厘を差引き、金1両3分5匁3分4厘、金1両3分を差引、差引き4匁3分5厘を預かる。	(旧目録P233)	原 本	綴 り	1		
2007 L771	F 1	天保15年12月 (1844年)・辰	「上茶仕切り之事 小判六十匁割	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	差引き金1分と6匁3分1厘、680文。	(旧目録P241)	原 本	状	1		
2008 L407	F 1	弘化2年1月 (1845年)・巳	茶仕切小判六十目割	○茗荷屋善五郎 ●岡野谷松兵衛	「上 茶1本の代金より諸経費を差引き、金1分7匁8分4厘の貸しの仕切。	(旧目録P245)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2009 L406	F 1	弘化2年3月12日 (1845年)・巳	茶仕切り目録小判六十 匁割	○長崎屋善右衛門 ●岡の谷松兵衛	茶1本、差引1両1分9匁5分1厘。	(旧目録P242)	原 本	状	1		
2010 L610	F 1	弘化3年閏5月 (1846年)・丙午	「上巳年惣仕切 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(印文:本町四丁目 北側東角 大橋) ●岡の谷松兵衛	茶11本の品名と代金ヲ記載。代金9兩2分7分3厘と先の仕切等を差 引き、金4兩2分と分6厘の貸しの仕切。	(旧目録P287)	原 本	状	1		
2011 L34	F 1	弘化3年9月12日 (1846年)・午	茶仕切小判六拾匁割 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(印文:大伝馬一丁目 茗荷 屋) ●岡野谷松兵衛	茶銘柄別に1本づつ発送。この代金20兩2分9匁5分3厘から諸経費 金21兩2分5匁8分9厘を差引き、2分貸し。1通、別の書簡あり。荷物 を送付した。	虫損甚大 (旧目録P245)	原 本	状	1		
2012 L33	F 1	弘化3年9月吉日 (1846年)・午	「上茶仕切り小判六十匁 之割	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶13本の代金14兩3分10匁5分8厘、これより諸経費を差引き、 金6兩4匁1分4厘の貸しの仕切。	丁敷2枚 (旧目録P239)	原 本	綴 り	1		
2013 L8	F 1	弘化3年9月 (1846年)・午	茶仕切之事 小判六十匁割	○長崎瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶27品口の代金32兩11匁6分1厘。これより諸経費を差引き、金32 兩1分5匁8分7厘となる。	虫損甚大 シミ 紙劣化 (旧目録P241)	原 本	横 帳	1		
2014 L167	F 1	弘化3年9月 (1846年)・午	茶仕切之事 小判六十目之割	○中条瀬兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	茶37本の代金44兩11匁9分1厘、これより諸経費金33兩1分1匁2 分1厘を差引き、金10兩3分をそうきん。10匁7分を預かる。	虫損あり 丁敷3枚 (旧目録P243)	原 本	横 帳	1		
2015 L168	F 1	弘化3年9月吉日 (1846年)・午	「上茶仕切小判六十目 割	○板屋与兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋) ●岡の谷松兵衛	茶7本の代金7兩2分14匁6分7厘、これより諸経費を差引き、金2兩2 分12匁7分を入金。	虫損あり 丁敷3枚 (旧目録P233)	原 本	横 帳	1		
2016 L9	F 1	弘化3年11月 (1846年)・丙午	茶仕切之事 小判六十目割	○伊勢町道浄庵:中条順之助(横浜茶商組合) ●岡野谷松兵衛	茶11口の代金20兩3分2匁5分2厘、これより諸経費を差引き、金19 兩1分9匁8厘、金2朱168文の仕切。	虫損甚代 (旧目録P243)	原 本	横 帳	1		
2017 L146	F 1	弘化3年12月吉日 (1846年)・午	茶仕切小判六拾匁之割	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶4口の代金から諸経費を差引き、4兩3分10匁7分7厘の仕切。	(旧目録P240)	原 本	状	1		
2018 L10	F 1	弘化4年3月 (1847年)・丁未	新茶仕送帳	○記載なし ●記載なし	和1本などの茶銘柄に、3月28日、戸中勘助乗等が記載され、江戸本 所の大橋太郎次郎方に送ることを岡野谷に報せる内容。	丁敷3枚 (旧目録P285)	原 本	横 帳	1		
2019 L461	F 1	弘化4年8月 (1847年)・未	「上茶仕切小判六拾目 割(包紙入り)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝:三度屋十内衛 上河内:岡野谷松 兵衛	茶4本の代金4兩3分4匁5分8厘、これより諸経費金12兩3分5分5 厘を差引き、金7兩3分10匁9分7厘の貸しの仕切。外に、9月付の山 本松兵衛書状あり。	(旧目録P234)	原 本	状	2		
2020 L11	F 1	弘化4年9月 (1847年)・未	「上仕切	○幸崎や五郎右衛門(印文:深川油堀 幸崎 屋) ●岡野谷松兵衛	茶14本の代金17兩1分3匁4分5厘、これより諸経費金11兩1分3分 5厘を差引き、金3兩3分14匁6分の仕切。勘定の相違あらば、6ヶ月 以内に申し越願いたい。	丁敷2枚 中損甚 代 (旧目録P236)	原 本	横 帳	1	○ 94	
2021 L772	F 1	嘉永1年4月 (1848年)・申	茶仕切之事 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋21軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶の差引金3分6匁3分4厘。外に「新茶多分に支配下され度く」 とある。	(旧目録P243)	原 本	状	2		
2022 L361	F 1	嘉永1年9月 (1848年)・申	「上茶仕切り之事	○長崎屋瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶銘柄別仕切書の外、全て津出しした事に対する礼状あり。	(旧目録P241)	原 本	横 帳・ 横 帳	2		
2023 L362	F 1	嘉永1年12月 (1848年)・申	茶仕切之事 (仕切2通)	○長崎瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶銘柄別出荷仕切書。外に書簡1通あり。	虫損甚代 (旧目録P241)	原 本	横 帳・ 横 帳	3		
2024 L363	F 1	嘉永2年3月19日 (1849年)・西	茶仕切小判六拾目割 戊申年式番	○山本嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶5口の代金より諸経費を差引きいた仕切目録。	包紙に封入 (旧目録P247)	原 本	横 帳	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2025 L773	F 1	嘉永2年4月吉日 (1849年)・酉	「上茶仕切小判六拾匁 之割(包紙あり)」	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶8本の代金3両1分、これより諸経費を差引、金3両1分5匁4分 2厘の仕切。添状あり。	(旧目録P240)	原本	綴り	2		
2026 L305	F 1	嘉永2年9月 (1849年)・酉	茶仕切小判六拾匁割	○茗荷屋善五郎、金藏、安兵衛(江戸茶問屋20 軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶11本の代金14両4分2分4厘、これより諸経費を差引き、金13 両2匁9分4厘の仕切。この他に仕切あり。別に取り相場一覽を納め る。書状では、利益について伺い、景気の立直りによる荷物の積送りに 出精を依頼する内容からなる。	(旧目録P246)	原本	綴り ・ 状	3	○	94
2027 L364	F 1	嘉永2年9月 (1849年)・酉	「上茶仕切之事	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶の代金42両1分より諸経費を差引き、金9両1分の仕切。	(旧目録P241)	原本	綴り	1		
2028 L366	F 1	嘉永2年12月6日 (1849年)・酉	「上茶仕切小判六十匁 之割	○大傳馬町:長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲 間) ●岡ノ谷松兵衛	茶5本の代金2両2匁9分2厘、これより諸経費1両3分10匁1分1厘 を差引き、金1両3分2匁賃引き、差引き8匁1分1厘の預り。	(旧目録P240)	原本	状	1		
2029 L368	F 1	嘉永3年4月 (1850年)・戌	茶仕切之事小判六拾匁 之割(書状あり)	○中条瀬兵衛(印文:伊勢町道浄橋 中条) ●岡野谷松兵衛	「茶3本の代金4両14匁6分1厘、これより諸経費金1分と3匁1厘を差 引き、金3両3分11匁6分の預りの仕切。この他、新茶・古茶に関する内 容の書状あり。	(旧目録P243)	原本	状	1	○	94
2030 L369	F 1	嘉永3年9月 (1850年)・戌	「上茶仕切之事 (包紙あり)」	○長井利兵衛、長崎瀬兵衛、茗荷屋善五郎 (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶代金より諸経費を差引き、長井・長崎・茗荷屋3名から夫々送付した の仕切書。	(旧目録P241)	原本	状	1		
2031 L370	F 1	嘉永3年9月 (1850年)・戌	(茶仕切り書) (書状、包紙あり)	○中条瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶代金104両1分12匁2分、これより諸経費103両2分4匁9分を差 引き、金3分7匁3分の仕切。書状1通、添付。	(旧目録P243)	原本	横 帳	2		
2032 L371	F 1	嘉永3年12月 (1850年)・戌	茶仕切之事 小判六拾匁割 (書状あり)	○中条瀬兵衛(印文:伊勢町道浄橋 中条) ●岡野谷松兵衛	中条瀬兵衛・長崎瀬兵衛2名の茶仕切書2。この他、中条瀬兵衛・長崎 瀬兵衛の書状2あり。	(旧目録P243)	原本	状	5	○	94
2033 L372	F 1	嘉永4年5月 (1851年)・亥	奉仕切り小判六十目割 (封袋あり)	○江戸日本橋通式町目:茶問屋山元嘉兵衛(江 戸茶問屋20軒仲間) ●ふじ枝右衛門屋又助(封袋)、川根河内村岡野や 松兵衛	「上 茶代金1分12匁3分7厘、これより諸経費金1両1分13匁7分6 厘を差引いた仕切。(封袋に、6月9日、仕切目録書入とあり。	(旧目録P277)	原本	状	1		
2034 L373	F 1	嘉永4年8月 (1861年)・亥	「上茶仕切目録 (包紙あり)」	○大橋太郎治郎 ●岡野谷松兵衛	茶の代金81両3分2匁1分5厘、これより諸経費を差引き、23両2分と 14匁1分5厘の仕切目録。添状1通あり。	(旧目録P234)	原本	横 ・ 状	2		
2035 L374	F 1	嘉永4年9月16日 (1861年)・亥	「上茶仕切之事 (包紙あり)」	○堀留町:長崎瀬兵衛 ●駿州府時枝:三度屋十兵衛、岡野谷松兵衛	茶31本の代金36両9匁、これより諸経費金30両を差引く。添状1通あ り。包紙に3両2匁の書付。	(旧目録P241)	原本	横 ・ 状	2		
2036 L375	F 1	嘉永4年9月 (1861年)・亥	茶仕切り之事 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶の出荷仕切書。添状2通あり。	(旧目録P243)	原本	横 ・ 状	3		
2037 L376	F 1	嘉永4年9月 (1851年)・亥	茶仕切小判六十目割 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎 ●岡野谷松兵衛	茶代金11両2分2匁2分より諸経費1両2分6分2厘を差引き、10両1 5匁2厘の仕切。添状あり。	(旧目録P246)	原本	横 ・ 状	2		
2038 L377	F 1	嘉永4年9月 (1851年)・辛亥	茶仕切小判六拾目割 亥年壹番仕切	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶6口の代金8両10匁5厘、これより諸経費ヲ差引き、金3両3分11 匁6分4厘の茶荷物仕切り目録。	(旧目録P247)	原本	状	1		
2039 L378	F 1	嘉永4年10月 (1851年)・亥	茶仕切小判六十目割	○いせや傳兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 茶13本の代金15両2分2匁3匁8分6厘、これより諸経費金1両3分 6匁2厘を差引、金14両1分3匁2分4厘の仕切。	(旧目録P232)	原本	綴り	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 厚区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2040 L379	F 1	嘉永4年12月 (1851年)・亥	茶仕切之事 小判六十目割	○伊勢町:中条瀬兵衛(印文:伊勢町道浄橋 中条) ●岡野谷松兵衛	「上 茶13本の代金16両1分3匁1分5厘、これより諸経費金5両3分3 7匁6分を差引、金10両1分10匁5分5厘、金2朱314文の仕切。	丁数2枚 (旧目録P243)	原 本	綴 り	1	○	94
2041 L380	F 1	嘉永5年2月 (1852年)・子	「上茶仕切目録 (包紙あり)	○大橋太郎治郎 ●岡野谷松兵衛	荷物全て売り捌いたので、仕切目録を送付する。確認願いたい。	(旧目録P234)	原 本	横 ・ 状	5		
2042 L381	F 1	嘉永5年9月12日 (1852年)・子	茶仕切(包紙あり)	○(いせ町):中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	藤枝の三度屋重兵衛を通して茶の仕切書と売買結果の金2両2分1匁 1分を送付。次年度の茶の江戸送りを依頼。	(旧目録P243)	原 本	綴 り ・ 状	2		
2043 L383	F 1	嘉永5年9月26日 (1852年)・壬子	茶仕切小判六十目割	○茗荷屋吉五郎(印文:大傳馬老丁目 茗荷 屋)(江戸茶問屋20軒仲間)、長井利兵衛(印 文:大傳馬老丁目)(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茗荷屋・長井共に、茶の仕切書と金額、次年度の茶の積送りを依頼。	(旧目録P248)	原 本	横 ・ 状	4		
2044 L382	F 1	嘉永5年9月 (1852年)・子	嘉永五壬子年茶荷物 秋仕切小判六拾匁割	○(江戸日本橋):山本嘉兵衛(江戸茶問屋20 軒仲間) ●駿河上河内村:岡野谷松兵衛	茶13本の代金12両4匁1分3厘、これより諸経費金16両7匁1分3厘を 差引き、預り金4両3匁の仕切。	(旧目録P247)	原 本	綴 り	1		
2045 L384	F 1	嘉永5年9月 (1852年)・子	茶仕切小判六十匁割	○大傳馬町式丁目:富田利兵衛(江戸茶問屋 20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶15口の代金35両1朱13匁1分1厘、これより金29両2分12匁3 分5厘を差引き、金5両3朱7分6厘の仕切。	丁数2枚 (旧目録P238)	原 本	綴 り	1		
2046 L170	F 1	嘉永5年12月 (1852年)・子	茶仕切之事 小判六十匁割	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶仕入明細と支払を別記し、皆済。	(旧目録P243)	原 本	状	1		
2047 L385	F 1	嘉永5年12月 (1852年)・子	茶仕切小判六十目割	○長谷川利兵衛(印文:大橋太郎次郎) ●岡野谷松兵衛	長谷川・大橋・山本からの茶代金の仕切書と添状、岡野谷の覚等あり。 嘉永5年の他、同6年2月、3月の記載あり。	(旧目録P248)	原 本	横 ・ 状	11		
2048 L360	F 1	嘉永6年8月 (1853年)・癸丑	「茶仕切目録	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	売り捌明細、金179両3分、内、150両1分、支払済み。山口屋庄五郎 経由で岡野谷への送金状・挨拶状を添える。	(旧目録P234)	原 本	横 ・ 状	4		
2049 L389	F 1	嘉永6年9月12日 (1853年)・癸丑	茶仕切之事 小判六拾目割	○中条瀬兵衛(印文:伊勢町道浄橋 中条) ●岡野谷松兵衛	茶の代金12両3分14匁6分4厘の預りの仕切。添状に、次年度の積送 の依頼あり。	(旧目録P248)	原 本	横 ・ 状	3		
2050 L388	F 1	嘉永6年9月19日 (1853年)・癸丑	「上茶仕切 嘉永癸丑茶荷物一番仕 切小判六拾目割	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	藤柄の健屋又助取次店を通して、仕切書と金3両1分10匁5分1厘を送 付。添状あり。	(旧目録P247)	原 本	横 ・ 状	2		
2051 L386	F 1	嘉永6年9月 (1853年)・丑	茶仕切小判六十目割	○大傳馬一丁目:茗荷屋善五郎 ●岡野谷松兵衛	「上 茶45本の代金24両5匁6分5厘、これより諸経費金3両12匁5分6 厘を差引き、金20両3分8匁9厘の仕切。煎製4本金5両3分3匁7分6 厘の仕切。他に目録覚金6両3分9匁3分の仕切。	(旧目録P246)	原 本	綴 り	1		
2052 L387	F 1	嘉永6年9月吉日 (1853年)・丑	「上茶仕切小判六十之 割	○長井利兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶の代金4両1分159文の仕切。他に仕切2件あり。	(旧目録P240)	原 本	状	3		
2053 L390	F 1	嘉永6年9月 (1853年)・癸丑	「上茶仕切之事 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛(印文:堀留堂 長崎屋 中 条) ●岡野谷松兵衛	茶27本の代金37両4匁1分3厘、これより諸経費と前金渡分を差引き、 金4両1分3匁2分9厘、他に347文を送付。藤枝三度屋重兵衛の取 次。	(旧目録P241)	原 本	横 ・ 状	1		
2054 L391	F 1	嘉永7年1月 (1854年)・寅	茶仕切之事	○大橋太郎次郎、中条瀬兵衛、長崎屋瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	大橋・中条・長崎屋の茶代金の仕切と各添状。添状は、1・12月の日付。 次年度の積入の依頼。	(旧目録P234)	原 本	横 ・ 状	6		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2055 L393	F 1	嘉永7年9月10日 (1854年)・甲寅	茶仕切小判六拾目割	○いせ屋傳兵衛(印文:大傳馬老丁目 伊勢傳) ●岡野谷松兵衛	新しい茶間屋との取引。茶荷物代金32兩3分2匁8分4厘、これより諸経費を差引き、金1兩14匁2分の貸し。他に12兩1分9分7厘に仕切。金の融通と次年度の積送を依頼。	(旧目録P232)	原 本	横 ・ 状	3		
2056 L171	F 1	嘉永7年9月 (1854年)・寅	茶仕切小判六十目割	○茗荷屋前後郎(印文:大傳馬老丁目 長井) ●岡野谷松兵衛	茶38本の代金25兩1分2匁、これより諸経費23兩2分3匁7分を差引き、金1兩3分7分6厘の仕切。	(旧目録P246)	原 本	横 帳	1	○	94
2057 L172	F 1	嘉永7年9月 (1854年)・寅	「上茶仕切之事 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	包紙に「駿州藤枝宿三度屋十兵衛様まで、金二兩2分3朱ト28文、江戸より」とある。	(旧目録P241)	原 本	横 帳	2		
2058 L392	F 1	嘉永7年9月吉日 (1854年)・寅	「上茶仕切小判六拾目割 (包紙あり)	○板屋與兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋) ●岡ノ屋松兵衛	「上 茶7本の代金9兩3分14匁9分6厘、これより諸経費1金10兩3分3匁6分を差引き、金3分2匁6分4厘の貸しの仕切。他に、書状あり。	(旧目録P233)	原 本	状	2	○	94
2059 L394	F 1	嘉永7年9月 (1854年)・甲寅	嘉永七寅年一番仕切 小判六十目割	○山本嘉兵衛(印文:大傳馬老丁目 長井) ●岡野屋松兵衛	茶3本の代金の仕切。他に添状あり。	(旧目録P247)	原 本	状	2		
2060 L774	F 1	嘉永7年9月吉日 (1854年)・甲寅	茶仕切小判六拾間目割 (包紙あり)	○長井利兵衛(印文:大傳馬町老丁目 長井) (江戸茶間屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶5本の代金から諸経費を差引き、金3兩2分3朱ト168文の仕切。書状に、入津案内、困荷物積送りを依頼。包紙に、1分銀、3兩2分3朱ト銭68文添えとあり。	(旧目録P240)	原 本	状	2		
2061 L395	F 1	安政元年12月 (1854年)・寅	「上茶仕切小判六十目割	○板谷(屋)與兵衛(印文:大傳馬老丁目 長井) ●岡野谷松兵衛	茶3軒の代金1兩1分6匁6分、これより諸経費を差引き、5匁預りの仕切。他に、仕切茶荷物の売捌帳面の調べについての添状あり。	(旧目録P234)	原 本	状	2		
2062 L36	F 1	安政2年2月29日 (1855年)・卯	書状	○板谷與兵衛 ●岡野谷松兵衛	昨年中に送っていただいた茶荷物売捌いたので、仕切表を送付する。大地震で心配したが、多少の利益あり、喜ばしいことである。新茶も今からお願ひし、例年の通り、賑やかに発船を迎える。茶1本の代金について、仕切。	(旧目録P234)	原 本	状	2	○	94
2063 L471	F 1	(安政2年カ)3月16日 (1855年)	書状	○板屋與兵衛 ●岡野屋松兵衛	茶は古茶でも売れ、新茶は一段と上値で売捌けるので、出来次第、積入れ送付願ひたい。異国船が渡来しているが、当国船の通船に支障ない。新茶入津次第、送金する。	(旧目録P250)	原 本	状	1	○	94
2064 L15	F 1	安政2年7月 (1855年)・卯	茶荷物差引勘定之事	○中山下田宗吉(印文:駿河国 下惣) ●上河内村:岡の谷松兵衛	茶24箱、椎茸2箱等、代金3兩2分請取、寅年差引1貫615文の貸し。その後、差引1貫509匁貸し。寅卯の差引6貫477匁貸し。間違ひがあれば、早速申出てほしい。	(旧目録P285)	原 本	横 帳	1		
2065 L396	F 1	安政2年8月 (1855年)・乙卯	安政二乙卯八月 「上茶仕切目録	○大橋太郎治郎(本町四丁目北側東角 大橋) ●岡の谷松兵衛	茶49本の代金59兩2匁5厘、これより諸経費4兩3分8匁5分を差引き、金54兩8匁5分5厘の仕切。仕切書・添状共に送付するので、次年度も茶荷物を沢山送付してほしい。	(旧目録P234)	原 本	横 ・ 状	2		
2066 L402	F 1	安政2年8月 (1855年)・乙卯	茶仕切 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶46本の代金55兩3分5匁4分9厘、諸経費を差引き、54兩2分5匁9分6厘、前途金と差引いて金1兩14匁5分3厘、金3朱ト360文の仕切。添状に、御地の茶値段が高いので、引き合わず、御了解願ひたい。	(旧目録P244)	原 本	横 ・ 状	2		
2027 L405	F 1	安政2年9月12日 (1855年)・卯	安政二年一番仕切 小判六十目割 (包紙あり)	○山本嘉兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶の仕切明細書。添状あり、茶荷物の積入を願う。包紙に、金1兩2分2朱ト247文添えとある。	(旧目録P247)	原 本	状	2		
2068 L403	F 1	安政2年9月16日 (1855年)・乙卯	茶仕切之事 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛 ●岡の谷松兵衛	2つの仕切書。金30兩3分10匁3分3厘、諸経費を差引き、金20兩1分12匁1分2厘。金23兩2分11匁3分6厘、諸経費を差引き、金3分12匁9分4厘、金3朱ト185文の仕切。	(旧目録P241)	原 本	横 帳	2		
2069 L399	F 1	安政2年9月26日 (1855年)・乙卯	「上茶仕切 小判六拾目之割	○長井利兵衛・彦兵衛・芳兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 茶の仕切、金3兩8匁8分5厘貸しとある。思うように茶が売れなく、3兩余の借金。添状に、生元高値に付き、売り捌きに苦勞の談。海上輸送の内容を記載。	(旧目録P240)	原 本	横 ・ 状	3	○	94
2070 L173	F 1	安政2年9月26日 (1855年)・乙卯	茶仕切小判六拾間目割	○(茗荷屋)善五郎(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶櫃4の代金15兩2分と7厘、これより諸経費を差引き、13兩1分13匁1分4厘の仕切。他に茶4本の仕切書あり。	(旧目録P246)	原 本	横 ・ 帳	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2071 L174	F 1	安政2年9月 (1855年)・卯	「上茶仕切小判六拾目割	○板屋奥兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋) ●岡野谷松兵衛	茶2櫃の代金7両1分4匁4分5厘、これより諸経費を差引き、金6両1分3匁6分1厘の仕切。	(旧目録P234)	原本	状	1	○	94
2072 L277	F 1	安政2年9月 (1855年)・卯	「上茶仕切小判六拾目割(包紙あり)	○板屋奥兵衛(印文:堀留町式丁目 板屋)、 若荷屋吉五郎・太助・傳七 ●岡野谷松兵衛	「上 茶4本の代金より諸経費を差引き、金1両3分12匁2分3厘の貸しの仕切。若荷屋の書状では、利益の事を心配し、景気回復による茶の売り捌きとなるので、茶荷物を沢山振り向けてほしい、と伝えている。	(旧目録P246)	原本	状	2	○	94
2073 L404	F 1	安政2年9月 (1855年)・卯	茶仕切小判六十目之割	○伊勢屋傳兵衛(印文:江戸大傳馬堂丁目 伊勢傳) ●岡野谷松兵衛	「上 茶22本の代金より24両3分10匁7分2厘、これより諸経費を差引き、金16両2分3匁5分4厘の貸しの仕切。この他、荷数3櫃の代金より諸経費を差引き、金12両と7匁6分6厘の仕切あり。添状では、若荷屋の書状では、利益の事を心配し、景気回復による茶の売り捌きとなるので、茶荷物を沢山振り向けてほしい、と伝えている。	(旧目録P232)	原本	横・状	3	○	94
2074 L460	F 1	(安政2年)12月22日 (1855年)・卯	し切	○小田原屋兆兵衛・宗兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 春子推茸の代金296匁5分、これより諸経費を差引き、金1分9分9厘の仕切。添状では先の大地震で春子の相場がたたず、秋子もその影響で不景気のため、売り捌けないので、とりあえず内金として4両2分を差上げる。	(旧目録P104)	原本	状	2	○	94
2075 L400	F 1	安政3年4月 (1856年)・辰	茶仕切之事	○中条瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上 茶2本の代金1両37匁の仕切。	(旧目録P244)	原本	状	1		
2076 L775	F 1	安政3年5月 (1856年)・辰	「上茶仕切小判六十目割	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶5櫃の代金1貫613匁7分、これより諸経費205匁7分7厘を差引き、1貫407匁9分3厘の仕切。	(旧目録P240)	原本	綴り	1		
2077 L401	F 1	安政3年9月12日 (1856年)・丙辰	茶仕切之事	○伊勢町:中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶代金1両1分14匁5分1厘の貸し、茶30本の代金9両2分徒匁3分9厘の貸し2件の仕切。添状では、不景気で茶が売り捌けないとある。	(旧目録P244)	原本	横・状	3		
2078 L398	F 1	安政3年9月 (1856年)・辰	「上茶仕切小判六十目割(包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・重兵衛・久兵衛 ●岡の谷松兵衛	「上 茶の代金6両5分7厘の預り。他に、荷物売り捌き目録の引合等、お願いの添状あり。	(旧目録P240)	原本	横・状	2	○	94
2079 L175	F 1	安政3年10月 (1856年)・辰	茶仕切小判六拾匁之割(包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛(印文:江戸大傳馬堂丁目 伊勢傳) ●岡野谷松兵衛	「上 茶荷数2本の代金2両3分3匁2分4厘これより諸経費2両2分5匁3分4厘、卯秋仕切貸し分を差引き、金13両3分13匁2分の貸しの仕切。添状では、新茶無事入津の分の仕切、後の荷物荷について述べる。	(旧目録P232)	原本	状	2	○	94
2080 L397	F 1	安政3年12月 (1856年)・辰	茶仕切之事 小判六拾三匁割(包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	入津した茶の仕切。添状に、相場は、不景気のため、相当下落して最早引き立てる検討もなく、仕方なく見切り売り捌きをしなければならぬ。新茶は何か売り上げたので、送付を願いたい、とある。	(旧目録P244)	原本	状	1		
2081 L176	F 1	安政3年 (1856年)・丙辰	安政二丙辰年一番仕切 小判六拾目割	○山本嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶5櫃5本、代金2両19匁2分7厘、これより諸経費を差引き、4両1分5匁1分6厘の仕切。	(旧目録P247)	原本	横帳	1		
2082 L177	F 1	安政4年4月吉日 (1857年)・巳	新茶仕陽日記	○記載なし ●記載なし	覚として、晦日最初4月28日とあり、後日付がない。仕上げ茶、仕向け先が列挙され、連日の如く入出荷されている記録。糞茶振りがうかがえる。	丁数19枚 (旧目録P282)	原本	横帳	1		
2083 L178	F 1	安政4年4月吉日 (1857年)・巳	已生茶買入帳	○記載なし ●記載なし	4月22日より5月17日迄に、庄兵衛・権四郎・「上から買い入れた生葉の控。	丁数4枚 (旧目録P285)	原本	横帳	1		
2084 L179	F 1	安政4年4月吉日 (1857年)・巳	新茶荷作帳	○記載なし ●記載なし	新茶仕陽日記に連動する資料。最初に4月28日とあり、後は日付なし。終わり2枚目に6月9日とある。江戸の取扱先(大橋・山本・中条・長崎・若荷屋・長利・板屋)への仕向け記録。	丁数18枚 (旧目録P285)	原本	横帳	1		
2085 L484	F 1	(安政2年)閏5月22日 (1855年)	書状(包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝鐵屋赤助、上河内:岡の谷松兵衛	先便で再度お願いしている茶荷物、未だ入津していない。この時になっても、当店には1本も水揚げされていない。前金25両を既に渡しているので、伺いたい。なるべく早く積出してほしい。	(旧目録P263)	原本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2086 L37	F 1	安政4年8月 (1857年)・巳	差入申頼書一札之事	○荷主 ●記載なし	沖船頭・水主による茶荷物押領や黄目切符封印痛あり。江戸表問屋中の格別の世話により、以来黄目切り等なくなり、浜手・江戸表への掛合の節にも荷主惣代として願う。それに掛かる請入用は、連印の者から出金する。	(旧目録P221)	原 本	状	1	○	94
2087 L409	F 1	安政4年9月 (1857年)・巳	「上茶仕切り之事	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	煎茶仕入の代金3両1分9匁1分9厘の明細。	(旧目録P241)	原 本	綴 り	1		
2088 L410	F 1	安政4年9月 (1857年)・巳	茶仕切之事	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶9匁の代金56両5匁6分5厘、これより諸経費を差引き、35両1分14匁4分8厘、金3朱ト358文の仕切。	(旧目録P242)	原 本	綴 り	1		
2089 L411	F 1	安政4年9月 (1857年)・丁巳	「上茶仕切り小判六拾目割	○堀留町:板屋與兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶代金5両2分6匁、これより諸経費を差引き、4両3分6匁2分の仕切。茶代金10両2分3匁5分8厘、これより諸経費を差引き、3両6匁2分7厘、5分預りの仕切。添状に、仕入値が高く、油断なく売ったが、引合がなかった。	(旧目録P240)	原 本	横 ・ 状	3		
2090 L413	F 1	安政4年9月 (1857年)・巳	仕切小判六拾目割	○江戸日本橋:山本嘉兵衛@ (印文:江戸日本橋式町目 諸国茶問屋山本充場、江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶9匁の代金より諸経費を差引き、32両2朱ト3匁7分2厘の仕切。添状に、仕切の引合と茶荷物積立を依頼。	虫損 汚れ (旧目録P247)	原 本	綴 ・ 状	2	○	94
2091 L865	F 1	安政5年4月2日 (1858年)・午	覚(茶荷物前金送付)	○山本嘉兵衛@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶荷物の前金として25両を送付。着次第、確認の上、記帳願う。	破損 (旧目録P277)	原 本	状	1	○	94
2092 L777	F 1	安政5年8月18日 (1858年)・午	(茶仕切り目録書 外) (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶仕切小判60目割の仕切り書と仕切の挨拶。	破損 (旧目録P244)	原 本	綴 ・ 状	3		
2093 L414	F 1	安政5年9月 (1858年)・午	「上仕切之事	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶銘柄麒麟山他、茶の代金32両3分10匁1分7厘の仕切。	(旧目録P242)	原 本	綴 り	1		
2094 L415	F 1	安政5年9月 (1858年)・午	「上茶仕切之事	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶銘柄川柳他、茶の代金26両3分1匁8分4厘。	(旧目録P242)	原 本	綴 り	1		
2095 L180	F 1	安政5年年4月吉日 (1858年)・午	新茶荷作帳	○岡野谷松兵衛 ●長崎屋、大橋他(江戸茶問屋20軒仲間)	安政5年と同6年の記載。麒麟・大福・上川柳等の茶銘柄、目方、荷受人等の記載あり。	丁数20枚 (旧目録P285)	原 本	横 帳	1	○	94
2096 L181	F 1	安政6年12月 (1859年)・未	茶仕切之事	○堀留町長崎屋瀬兵衛@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶の代金3両2分、弧より諸経費を差引記、11両1分6匁3分5厘の貸し。	虫損 破損 (旧目録P242)	原 本	状	1		
2097 L182	F 1	万延1年10月 (1860年)	覚(茶仕切)	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	江戸表への茶販売代金35両ト378文。内、35両は請取。376文は預り。	(旧目録P294)	原 本	状	1	○	94
2098 L183	F 1	文久1年4月 (1861年)・酉	新茶(後欠)	○記載なし ●記載なし	茶の出荷量の覚。他に、米・みその出荷量や使の名が見える。	破損甚大 (旧目録P285)	原 本	横 帳	1		
2099 L13	F 1	文久2年4月 (1862年)・壬戌	戌新茶仕送日記	○記載なし ●岡のや松兵衛	江戸の茶問屋長崎屋瀬兵衛と下田惣吉方へ送る茶の記録。	丁数12枚 (旧目録P285)	原 本	横 帳	1		
2100 L470	F 1	文久3年3月 (1863年)	当亥新茶手ま帳	○記載なし ●記載なし	新茶の手間、人工の覚。3月21日から4月下旬まで、「くめ」は、ノ44人工・内2人半引で代銭4貫48文、2口ノで1両2分ト390文とある。	丁数7枚 (旧目録P287)	原 本	横 帳	1		
2101 L464	F 1	1月 ・子	仕切 (茶仕切書)	○いばや(伊場屋)勘差衛門 ●岡野谷松兵衛	「上 茶の代金3両1分2匁2厘、これより諸経費6歩ト9匁1分を差引き、金二両3分ト8匁1分2厘の仕切。	(旧目録P248)	原 本	状	1		
2102 L184	F 1	2月4日 ・子	覚 (諸色代金)	○平差衛門 ●「上(岡の谷)	金1両2分7諸色代として、預かってほしい。	(旧目録P140)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2103 L488	F 1	2月15日 ・子	覚	○藤枝下伝馬町・鍵屋又助 ●岡野谷松兵衛	本町4丁目大橋太郎次郎宛宛状1通。金200文済とある。	変色 (旧目録P287)	原 本	状	1		
2104 L472	F 1	3月6日 ・子	覚 (茶仕切金)	○長崎瀬兵衛@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	金30両、内金として送付する。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2105 L776	F 1	3月 ・子	茶仕切小判五拾八匁	○富田利兵衛@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶5本の代金4両5匁5分、これより諸経費金1分8匁6分9厘を差引き、金3両2分11匁3分3厘の仕切。	(旧目録P238)	原 本	状	1		
2106 L599	F 1	4月14日 ・子	書状 (茶一件四ヶ村奉行所 江願申上)	○下泉:勝山四郎左衛門 ●笹間上河内村:岡野谷松兵衛	水川村・堀之内村へ立合い、話しましたが、4ヶ村は奉行所に除外を願ったので、参合立合いはないことになった。この事は、地名村にも連絡したので承知願いたい。	(旧目録P221)	原 本	状	1	○	94
2107 L754	F 1	5月6日 ・子	積附覚	○駿河国焼津湊:松村惣五郎@ ●岡ノ谷松兵衛・石神多吉	徳田屋忠四郎船に、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積入したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2108 L751	F 1	5月24日 ・子	積附	○駿河国焼津湊:渡中増右衛門@ (船問屋) ●岡野谷松兵衛・石神多吉	手水3年乗りの船に、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積入したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2109 L601	F 1	5月 ・子	積附 (荷物出帆二付)	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・下田宗吉	5月18日出帆松野市蔵乗りの船に、江戸茶問屋行き茶荷物3本を積入したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2110 L752	F 1	5月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	5月24日出帆渡中三平乗りの船に、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積入したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2111 L866	F 1	5月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷹野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	5月2日出帆手船武平乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積立たと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2112 L753	F 1	6月6日 ・子	積附覚	○駿河国焼津湊:徳田屋甚五郎角印 ●岡野谷松兵衛	手船忠四郎乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物8本を積入したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2113 L759	F 1	6月9日 ・子	積附	○駿河国焼津湊:わしの武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・口田惣吉	江戸茶問屋行き舟に、茶荷物10本を積立て出帆したとの報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1		
2114 L755	F 1	6月14日 ・子	積附	○駿河国焼津湊:渡中増右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	手船甚助乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物8本を積立て出帆したとの報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2115 L756	F 1	6月29日 ・子	積附	○駿河国焼津湊:渡中増右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	手船孫四郎乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物6本を積立て出帆したとの報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2116 L757	F 1	6月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・下田宗吉	6月14日出帆渡中甚助乗りの船に、江戸茶問屋行き茶荷物1本を積立て出帆したと報告。他の茶荷物8本も同様とした。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2117 L648	F 1	6月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	6月14日出帆渡中甚助乗りの船に、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積立て出帆したと報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2118 L760	F 1	6月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛取次・石神多吉	6月21日出帆手船武平乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積立て出帆したとの報告。	(旧目録P227)	原 本	状	1	○	94
2119 L867	F 1	6月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・口田宗吉	6月21日出帆手船武平乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物27本を積立て出帆したとの報告。	シミ 破損 (旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2120 L761	F 1	7月 ・子	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門@ ●岡野谷松兵衛(下田宗吉取次)	7月12日出帆徳田屋忠四郎乗りに、江戸茶問屋行き茶荷物11本を積立て出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1		
2121 L39	F 1	8月11日 ・子	覚	○二又@ (駿河伊久美西野) ●上川内「上」	3月9日より5月13日までの茶筵125枚の代金4貫543文、金2分2朱ト291文。内金2口、2分3朱受取り。つり129文渡し。	(旧目録P294)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分 類	年号 西暦()・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2122 L40	F 1		9月9日 ・子	仕切	○日本橋:山本嘉兵衛角印 ●駿州藤枝伝馬町:健屋又助迄、同上河内村: 岡野屋松兵衛行	包紙に、宛先等記載あるも、仕切書なし。	(旧目録P294)	原 本	状	1		
2123 L186	F 1		9月 ・子	「上仕切	○大橋多郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上 茶34本の代金42両3分3匁3分5厘、これより諸経費と先の仕切金を差し引き、金72両1分11匁9分5厘貸し。	(旧目録P234)	原 本	横 帳	3		
2124 L417	F 1		9月 ・子	積附	○わしの武右衛門◎ ●岡野谷松兵衛・(上欠)多吉	「上 茶3本の積立出帆の罷。	(旧目録P228)	原 本	状	1		
2125 L419	F 1		9月 ・子	仕切小判五十八目割	○南中堀一丁目:住吉屋利三郎◎(庄七、江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶35本の代金41両3分3匁1分1厘、これより諸経費・玄極月差引貸等を差し引き、金8両1分4匁8分2厘の内、10月2日に8両送付。残り預り。	(旧目録P236)	原 本	綴 り	1		
2126 L416	F 1		12月 ・子	仕切小判五拾八目割	○住吉屋利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶の代金1両6匁、これより諸経費を差し引き、秋仕切を加えて金1両1分4匁7分8厘の預り。	(旧目録P236)	原 本	状	1		
2127 L808	F 1		1月2日 ・丑	(年賀) (包紙)	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	商取引円滑化のため、年賀の祝辞。	(旧目録P277)	原 本	状	1		
2128 L187	F 1		2月4日 ・丑	積附覚	○鷺野清左衛門◎、他7名 ●岡野谷松兵衛・下田宗吉	船による椎茸・茶の積出の覚。4日より11日までの記載。	72枚 破損あり (旧目録P228)	原 本	横 帳	1		
2129 L418	F 1		2月 ・丑	「上仕切	○大橋太郎次郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	「上 茶の代金より諸経費・先仕切貸等を差し引き、金53両1分6匁5分2厘貸の仕切り。	(旧目録P234)	原 本	綴 り	1		
2130 L420	F 1		2月 ・丑	「上惣仕切	○本町四丁目:大橋太郎次郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	茶57本の代金60両1分14匁7分、これより諸経費・先の仕切分を差し引き、金2両13匁3分5厘の仕切。	(旧目録P234)	原 本	綴 り	1		
2131 L188	F 1		3月 ・丑	書状 (新茶荷物の件)	○江戸日本橋通二丁目:山本屋市兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶摘み取りの時期。できるだけ余分に摘み取ってほしい。高値で取引、仕切れるようしたいので、新茶荷物をよろしく願いたい。	(旧目録P278)	原 本	状	1	○	94
2132 L189	F 1		4月15日 ・丑	積附	○駿河国焼津湊:わしの武右衛門◎ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	「上茶1本、松村惣七乗りの船に積立て、出帆したとの報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2133 L422	F 1		8月 ・丑	「上仕切	○大橋太郎治郎◎ ●岡の谷松兵衛	「上 茶1本の代金2両1分13匁、外に48口、差引40両3分14匁1分5厘の仕切。	(旧目録P234)	原 本	横 帳	1		
2134 L762	F 1		8月 ・丑	積附	○駿河国焼津湊:鷺野武右衛門◎ ●岡野谷松兵衛、下田宗吉取次	8月15日出帆徳田屋仁左衛門乗り船に、江戸茶問屋行き茶荷物4本を積立てたとの報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2135 L192	F 1		9月14日 ・丑	覚 (茶仕切金)	○中村三郎右衛門 ●岡野屋松兵衛	金1両10匁2武9厘を送付するので、改めの上、受取ってほしい。	(旧目録P272)	原 本	状	1		
2136 L421	F 1		9月 ・丑	茶仕切小判五拾八匁割	○北新堀町:小川善四郎◎ ●岡野谷松兵衛	「上 茶9本の代金より諸経費を差し引き、金3両7匁3分4厘の仕切。	(旧目録P235)	原 本	状	1	○	94
2137 L423	F 1		9月 ・丑	茶仕切小判六拾匁割 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	「上 茶1櫃4本と12口の代金31両1分9匁4分6厘、これより諸経費を差引記、金2両1分5匁3分9厘の仕切。	(旧目録P238)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦()・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2138 L424	F 1		9月 ・丑	仕切小判五拾目割	○住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	茶24本の代金32両、これより諸経費を差引き、金30両1分と4匁6分の仕切。	丁数4枚 (旧目録P236)	原 本	横 帳	1		
2139 L425	F 1		9月 ・丑	仕切	○恵市屋鉢次郎(伊勢屋) ●岡野谷松兵衛	小判58目割にて、茶15本の代金18両3分3匁3分2厘、これより諸経費を差引き、金2両2分9匁3分7厘の仕切。	丁数2枚 (旧目録P236)	原 本	横 帳	1	○	94
2140 L473	F 1		10月6日 ・丑	書状 (荷物受取)	○中条(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上 茶1本、9月23日に仁右衛門船に積入したことの覚。	(旧目録P269)	原 本	状	1		
2141 L567	F 1		10月22日 ・丑	書状	○大橋太郎次郎@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	(前欠カ)。茶が天下落で引合覚東ない。この事御勘考いただき、例年の通り、金50両を飛脚で送る。	(旧目録P256)	原 本	状	1		
2142 L193	F 1		10月29日 ・丑	書状	○岡ノ谷松兵衛 ●茗荷屋善五郎市助(江戸茶問屋20軒仲間)	夏中に積送りの新茶は仕切っているが、他の店では秋仕入れして今も売り捌いている。この書状が着き次第、仕切目録を送付願いたい。	虫損あり (旧目録P274)	原 本	状	1		
2143 L426	F 1		12月 ・丑	仕切小判五拾貳目割	○住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	「上 茶4本の代金4両3分6匁2分、これより諸経費・秋仕切預り分を差引き、金1両2分9匁3分8厘、2口にて金6両途匁5分8厘の仕切。	丁数2枚 (旧目録P237)	原 本	綴 り	1		
2144 L200	F 1		4月 ・寅	手船市十乗積附	○駿河国焼津湊:徳田屋仁四郎@・岡部屋与左衛門@ ●岡野谷松兵衛	「上 の茶を市十乗りの船に積入れ、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。藤枝木町の板問屋岡部屋の名を記す。	丁数13枚 (旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2145 L869	F 1		8月10日 ・寅	覚	○「上 ●名主清左衛門	中茶3升の代金1両3分1朱、仕込8升の代金1両1分2朱24文。出来れば、出していただきたい。	(旧目録P286)	原 本	状	1		
2146 L196	F 1		8月 ・寅	茶仕切小判六十匁割	○富田利兵衛 ●岡野屋松兵衛	「上の茶30匁柄の代金36両2分12匁8厘、これより諸経費を差引く。	丁数4枚 (旧目録P238)	原 本	横 帳	1		
2147 L427	F 1		8月 ・寅	「上惣仕切 丑ノ年	○大橋太郎次郎@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶7口の代金2分11匁4分5厘、49口の代金41両2分2匁3分5厘の売捌仕切目録。他に同様の卯2月・卯4月の仕切目録2件あり。	(旧目録P235)	原 本	横 帳	1		
2148 L197	F 1		9月12日 ・寅	目録覚	○茗荷屋善五郎@ ●岡野谷松兵衛	茶代金1両3分7匁6分の内、1両3分を送付した。	(旧目録P246)	原 本	状	1		
2149 L198	F 1		9月16日 ・寅	茶仕切小判六拾匁之割	○小川善四郎 ●岡野谷松兵衛	茶4口の代金5両3分4匁3分3厘の他、品名・量目書上げ、金10両3分10匁4分1厘の仕切。	(旧目録P235)	原 本	綴 状	1		
2150 L602	F 1		9月22日 ・寅	積附	○駿河国焼津湊:巻田久左衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	「上 茶3本を手船平五郎乗りの船に積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したとの報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2151 L603	F 1		10月13日 ・寅	積附	○駿河国焼津湊:和し野(鷲野)武右衛門 ●岡野谷松兵衛・石神多吉	10月13日、「上 茶8本を手船善蔵乗りの船に積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1		
2152 L604	F 1		11月2日 ・寅	積附覚	○斉藤清右衛門 ●岡の谷松兵衛・石神多吉	「上 茶4本を手船佐右衛門乗りの船に積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2153 L605	F 1		11月2日 ・寅	積附	○駿河国焼津湊:巻田久左衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	「上 茶6本を手船伝四郎乗りの船に積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2154 L606	F 1		11月17日 ・寅	積附	○駿河国焼津湊:わしの武右衛門@ ●岡野谷松兵衛・石神多吉	「上 茶7本を手船庄助乗りに積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2155 L607	F 1		12月6日 ・寅	積附覚	○駿河国焼津湊:斉藤清右衛門@ ●岡谷松兵衛・石神多吉	「上 茶12本を手船吉三郎乗りの船に積立て、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P228)	原 本	状	1	○	94
2156 L870	F 1		12月 ・寅	仕切	○多吉 ●岡の谷松兵衛	上河内出の茶273本の代金より諸経費を差引き、3貫746文の仕切。	(旧目録P286)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2157 L428	F 1	2月26日 ・卯	仕切小判六拾目割	○(南申堀1丁目):住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	茶3本の代金1両3分7匁1分3厘、これより必要経費12匁2分9厘を差引き、金1両2分2匁8分4厘の仕切。	(旧目録P237)	原 本	状	1		
2158 L576	F 1	6月28日 ・卯	書状	○二又村:西の平蔵 ●上河内村:岡野屋松兵衛	木町の長兵衛買請茶代金の貴家への支払いが不足している。その500文は、私より差入れるので、荷物は同人に渡してほしい。	(旧目録P293)	原 本	状	1		
2159 L262	F 1	7月9日 ・卯	覚	○河原町:弥右衛門・川原町:佐野 ●岡野谷松兵衛	茶各種仕切書への目通しを依頼。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2160 L201	F 1	7月12日	書状	○□金 ●岡野屋	茶代金の延行に陳謝。今便で金25両を送付、残金は当月晦日に差上げるので、お聞き済み願いたい。金子添書を送付する。	(旧目録P287)	原 本	状	1		
2161 L871	F 1	8月3日 ・卯	書状	○斉藤清右衛門 ●岡野谷松兵衛	残暑を見舞い、以後、益々の茶荷物津出しを依頼する。	(旧目録P286)	原 本	状	1		
2162 L429	F 1	8月 ・卯	「上仕切	○(本町四丁目):大橋太郎次郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶57本で代金71兩1匁3分、これより諸経費を差引き、金66兩11匁6分の仕切。	丁数5枚 (旧目録P235)	原 本	横 帳	1		
2163 L44	F 1	9月21日 ・卯	積附	○焼津湊:岡部屋文左衛門◎ ●岡野谷松兵衛	「上 茶3本の江戸茶問屋への船積立出帆報告。	(旧目録P229)	原 本	状	1		
2164 L608	F 1	9月26日 ・卯	書状	○南新堀一丁目:住吉屋利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	追々積送りたい茶荷物を精出して売捌くので、後々の困荷物も沢山送ってほしい。	(旧目録P259)	原 本	状	1		
2165 L445	F 1	9月 ・卯	茶仕切之事	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	「上 茶17本の代金20兩10匁8分6厘、これより諸経費16兩1分11匁9分1厘を差引き、金3兩2分13匁9分5厘の仕切。	(旧目録P238)	原 本	状	1		
2166 L474	F 1	12月11日 ・卯	書状	○長井利兵衛・文蔵(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶荷物津送りへのお礼と今後の依頼。大切に売捌くので、御承知願いたい。内金20両を送付する。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2167 L475	F 1	12月25日 ・卯	覚	○駿州藤枝吹屋町:大吉や吉蔵◎ ●岡野谷松兵衛	金2分を茶駄賃・荷駄として受取った。調書との相違は、来春差上げる。一部欠損あり。	虫損あり (旧目録P280)	原 本	状	1		
2168 L430	F 1	12月 ・卯	茶仕切之事 小判六十目割	○中条瀬兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶3本の代金2兩2分1分7厘、これより必要経費23匁2分5厘を差引き、金2兩1分1匁9分2厘、207文の仕切。	(旧目録P244)	原 本	状	1		
2169 L872	F 1	12月 ・卯	「上御荷物受取覚	○金谷:吉川五右衛門 ●岡野谷松兵衛	6月27日から7月20火にかけ、「上 茶72本を横岡・牛尾で船から上げ、受取っている。	(旧目録P286)	原 本	状	1		
2170 L91	F 1	4日 ・卯	書状	○記載なし ●記載なし	茶荷物が出来たら、お送り願いたい。筏も、何時でも差支えなく約束している。筈30枚の請取。	(旧目録P280)	原 本	状	1		
2171 L433	F 1	2月26日 ・辰	仕切	○神田連尺町:小田原屋長兵衛角印 ●岡野谷松兵衛	「上 秋子権茸1本の代金1貫672匁1分9厘、孤より諸経費を差引、金9兩1分2匁2厘の仕切。	(旧目録P102)	原 本	状	1		
2172 L68	F 1	2月 ・辰	「上卯年仕切	○本町4丁目:大橋太郎次郎◎、他2名(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶4本の代金1兩2分4匁6分、これより諸経費1分1匁1分を差引き、金1兩1分3匁5分の仕切。仕切に関する添状あり。	(旧目録P235)	原 本	状	2		
2173 L432	F 1	2月 ・辰	「上仕切	大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶32本の代金36兩2分6匁、これより諸経費を差引き、先の仕切合せて72兩3分3匁5分。金38兩2分14匁4分5厘の貸しの仕切。	(旧目録P235)	原 本	状	3		
2174 L436	F 1	3月2日 ・辰	仕切小判六十目割	○南新堀1丁目:住よしや松兵衛(庄七 江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上 茶1本の代金1兩11匁、これより諸経費5文目4分6厘を差引き、金1兩1匁5匁5分4厘、これに秋仕切利を加え、金1兩1分1匁5厘の仕切。差引預り1匁5厘。	(旧目録P237)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2175 L697	F 1	3月2日 ・辰	書状 (包紙入り)	○大伝馬町:長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿河上河内:岡の谷松兵衛	新茶摘取季となり次第、早船にて積送り願いたい。入津・水揚げの時は、出精して売捌く。新茶を上植段で捌くので、沢山振り向けてほしい。	(旧目録P261)	原本	状	1		
2176 L493	F 1	3月6日 ・辰	覚 (包紙あり)	○堀留町式丁目:板屋兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛・藤枝だ三度屋十兵衛	覚として金50両、内金15両を送付。追金は、追々送付する。今年は、多く積送り願いたい。	(旧目録P250)	原本	状	2		
2177 L45	F 1	3月 ・辰	書状 (包紙あり)	○下泉村勝利兵衛・周助 ●上河内:岡野谷松兵衛	新茶の請取。預り金2口、金50両と金30両の預り送り添状。江戸出府の折、大橋太郎次郎家へ立ち寄り、昨年無心の前金預り、掃村したので送付する。	(旧目録P286)	原本	状	1		
2178 L203	F 1	5月25日 ・辰	書状	○大もり作左衛門 ●上川内:岡野谷松兵衛	先日馳走になったおれと新茶を白井平重方に納入した事を述べる。茶値段は金3両1分である。	(旧目録P286)	原本	状	1	○	94
2179 L42	F 1	5月26日 ・辰	書状	○長井利兵衛・彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶荷物。なるべく荷数捌き、良い相場をたてるので、なるべく早く積送り願いたい。	(旧目録P261)	原本	状	1		
2180 L46	F 1	8月11日 ・辰	書状	○石上村:八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	抛ない理由で金1両を借用した。返済は、10月15日より20日迄とし、元利ともに返済する。	(旧目録P286)	原本	状	1		
2181 L434	F 1	8月 ・辰	「上仕切 (荷物売捌仕切目録)	○本町四丁目:大橋太郎次郎◎ ●岡野谷松兵衛	「上 茶45本の代金55両2分8厘7分5厘、これより諸経費、先の仕切貸し、3月16日貸し分を差引き、金37両1分13厘6分5厘の貸しの仕切。	(旧目録P235)	原本	綴り	1		
2182 L435	F 1	9月 ・辰	茶仕切小判六十匁割	○大伝馬町式丁目:富田利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	「上 茶11本の代金13両3分7厘4厘、これより諸経費、内金を差引き、金2両12厘4厘の貸しの仕切。	(旧目録P238)	原本	綴り	1		
2183 L204	F 1	10月6日 ・辰	書状	○岡野谷松兵衛 ●大橋太郎次郎	今年は稀な目切で損耗著しく、迷惑を蒙っている。切植段については、出精の程お願いしたい。追信として、茶簾4枚を注文。	(旧目録P253)	原本	状	1	○	94
2184 L568	F 1	10月25日 ・辰	覚 (包紙あり)	○藤枝下伝馬町:鎌屋又助◎ ●岡野谷松兵衛	江戸本町四丁目の大橋太郎次郎よりの書状1通を届けた旨の覚書。	(旧目録P286)	原本	状	1	○	94
2185 L477	F 1	2月26日 ・巳	覚 (包紙あり)	○瀬澤村:源作◎ ●上河内:岡野谷松兵衛	丸茶12本の質1貫800文、これより諸経費を差引き、金1分1朱ト270文の支払。	(旧目録P286)	原本	状	1		
2186 L206	F 1	2月 ・巳	「上仕切	○大橋多郎治郎 ●岡の谷松兵衛	お茶の代金、62両2分1厘4分、これより諸経費を差引き、金22両2分8厘9分5厘の仕切。	(旧目録P235)	原本	横帳	1		
2187 L874	F 1	7月13日 ・巳	徳田屋吉右衛門乗送状	○駿河国焼津渡岡野谷与左衛門 ●長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)	櫃茶5筒、お茶1本、積送ったので、入津確かめ、受取を願いたい。	(旧目録P286)	原本	状	1		
2188 L609	F 1	7月29日 ・巳	書状 (包紙あり)	○島田宿:栗原古作 ●笹間下組:岡野谷松兵衛	身成村の平蔵から同村亀蔵へ茶荷物を送り、滞り金1件について、やりとりがあった。亀蔵との1件の掛り金は当方で差出すことになった。今後、取滞りのないにする。	(旧目録P286)	原本	状	1		
2189 L412	F 1	9月2日 ・巳	「上茶仕切小判六拾匁割(包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・吉兵衛・久兵衛 ●駿州上河内:岡野谷松兵衛	仕切状3点。①茶3櫃の代金1貫59匁4分6厘の仕切。②茶の代金6両ト3匁1分5厘の貸しなどある。書状に、夏中積送りの入津荷物仕切目録送付、あまり利益が出ていないことへの心配、在庫荷物の送付依頼。	(旧目録P240)	原本	状	4		
2190 L207	F 1	9月 ・巳	「上仕切小判六十匁割	○住吉屋利三郎◎ ●岡整谷松兵衛	「上 茶17本の代金17両1分2厘7厘、これより諸費用1両1分12厘3分8厘を差引いて仕切。	丁数3枚 (旧目録P237)	原本	横帳	1		
2191 L47	F 1	9月 ・巳	茶仕切小判六十匁割	○茗荷屋善五郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	お茶7本の代金13両2分2厘1分、これより諸経費1両2分8厘4分1厘を差引き、金13両1分8厘6分9厘の仕切。	(旧目録P246)	原本	状	1		
2192 L437	F 1	8月 ・午	「上仕切(目録)	○本町4丁目北側東角:大橋太郎治郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	「上 茶17本の代金17両2分9厘1分、これより諸費用を差引き、15両3分2厘1分の仕切。他に、茶8本の代金より諸経費を差引き、金28両1分1厘5厘の貸しの仕切。	(旧目録P235)	原本	横帳	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦()・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2193 L208	F 1		9月 ・午	積附覚	○戸中増右衛門・外 ●岡野谷松兵衛。石神多吉・外	9月24日出帆の船に、「上茶1本を積み、江戸茶問屋大橋氏に送付した」と報告。	(旧目録P229)	原本	綴り	1		
2194 L209	F 1		9月 ・午	茶仕切小判六十匁割	○大伝馬町式目:富田利兵衛◎ ●岡野谷松兵衛	「上茶15本の代金より諸経費を差引き、金21兩1分11匁7厘の仕切。	虫損甚大 (旧目録P2194)	原本	横帳	1		
2195 L212	F 1		秋 ・午	茶仕切小判六十匁割 午の新茶	○北新堀:長崎屋善右衛門◎ ●岡野谷松兵衛	午の新茶「上茶2口の金808兩3分14匁2分9厘の仕切。	虫損甚大 (旧目録P242)	原本	横帳	1		
2196 L211	F 1		11月 ・午	入津覚	○長崎屋瀬兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上茶3本吉蔵船、「上茶6本半九郎船が入津したとの船問屋からの覚。この外、同様の仕切書43枚。	(旧目録P230)	原本	綴り	1		
2197 L49	F 1		12月 ・午	「上仕切	○幸崎屋五郎右衛門◎ ●岡野谷松兵衛	「上茶3本の代金2兩1分12匁2分、これより諸経費等11兩1分を差引き、金2兩1分1匁1分の仕切。	虫損あり (旧目録P236)	原本	状	1		
2198 L438	F 1		12月 ・午	茶仕切之事	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上茶2本の代金3兩1分5匁5分2厘、これより諸経費・内金等を差引き、金6兩4匁3分5厘の仕切。	(旧目録P244)	原本	状	1		
2199 L439	F 1		12月 ・午	茶仕切之度	○長崎屋中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上の茶代金4兩2分2匁1匁9分8厘の仕切。	(旧目録P244)	原本	状	1		
2200 L50	F 1		4月22日 ・未	(茶積送状)	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・忠兵衛・忠蔵 ●岡野谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。茶荷物について、油断なく掛け引き、情を以って売りつけられるよう働きかけるので、荷物の積入れ手配を仰せ付け願いたい。	虫損あり (旧目録P265)	原本	状	1		
2201 L51	F 1		6月18日 ・未	覚	○ぬくり村:八左衛門 ●上	お茶15本の代金9兩1分。お茶を買い取ってほしい。値段については、掛値ならばとも苦しい。万一、値段が折り合わなかったら、お茶を返して下さるか、金子9兩を貸していただけるか、願いたい。	(旧目録P221)	原本	状	1		
2202 L213	F 1		8月 ・未	「上去年惣仕切	○大橋太郎次郎◎ ●岡野谷松兵衛	「上茶の代金6兩2分7匁7分5厘、これより諸経費を差引き、金12兩9匁5分5厘の仕切。	(旧目録P235)	原本	横帳	1		
2203 L442	F 1		12月吉日 ・未	「上茶仕切小判六十匁割	○長井利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上の茶代金から諸経費を差引き、金18兩2分14匁4分の仕切。	(旧目録P240)	原本	状	1		
2204 L443	F 1		1月5日 ・申	書状 (封紙あり)	○江戸:横原藤助・宗助(江戸茶問屋20軒仲間) ●歌州:岡野谷松兵衛	新年の賀状。得意先への心遣い。	(旧目録P273)	原本	状	1		
2205 L52	F 1		1月13日 ・申	覚	○藤枝下伝馬町:健屋又助 ●岡野谷松兵衛	書状1通(賃200文)を江戸本町四丁目の大橋太郎次郎の依頼により、届けた際の請取。	(旧目録P280)	原本	状	1		
2206 L444	F 1		3月 ・申	茶仕切小判六拾匁割	○富田利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上茶2本の代金2分8匁7分7厘、これより諸経費・内金等を差引き、金3兩2分12匁7分7厘の仕切。	(旧目録P238)	原本	状	1		
2207 L99	F 1		5月17日 ・申	口上 (廻文)	○茶問屋行事角印 ●藤枝、上河内其外財財茶御荷主衆中	茶問屋行司より岡野谷松兵衛外茶荷主に対する廻文。稽当による相場が案ぜられるが、上値はあるまじく、随分心して買い入れるようにとの順達。	(旧目録P280)	原本	状	1	○	94
2208 L215	F 1		5月 ・申	入津覚(入船附覚)	○小津治郎左衛門、住吉屋利三郎、富田利兵衛、若荷屋善五郎、長崎屋瀬兵衛、長井利兵衛、中条(瀬兵衛) ●岡野谷松兵衛	岡野谷松兵衛申年茶出荷分入津し、儘に受取ったとの茶荷物請取状。「上茶の本数・銘柄・茶数量を記した43通を綴じ込む。	(旧目録P230)	原本	状	43		
2209 L216	F 1		10月9日 ・申	積入出帆通知	○松村惣五郎 ●岡野谷松兵衛、下田惣吉	江戸茶問屋の長井利兵衛、中条瀬兵衛、富田利兵衛宛、積荷出帆したとの報告。	(旧目録P280)	原本	状	1		
2210 L210	F 1		10月18日 ・申	積附覚	○駿河国焼津湊:松村惣五郎◎ ●岡野谷松兵衛下田惣吉	「上茶4本を手船平次郎乘りに積入れ、江戸茶問屋に向けて出帆したと報告。	(旧目録P229)	原本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2211 L54	F 1	10月26日 ・申	覚 (茶願雑用金)	○地名村:庄兵衛 ●村々御名主・組頭御中	金53兩1分ト永57文2分、江戸出結(茶一件カ)で諸入用かかるので、晦日から11月3日までの間に、飛脚を立てるので、早々順達願いたい。川通利19ヶ村、大井川東側の村々。	(旧目録P225)	原本	状	1		
2212 L481	F 1	1月14日 ・酉	書状 (茶公事入用跡割金)	○栗野山村:三郎左衛門、太郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	茶一件裁許後の訴訟経費をめぐる争いは、訴訟に参加した全ての村が軒割で負担。栗野山村も、公事入用割が1軒で48文の出金。未納の村もあり、どのようにしたらよいか、考えを伺いたい。	(旧目録P225)	原本	状	1	○	94
2213 L611	F 1	1月19日 ・酉	書状	○石上村:岡村六郎左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	今まで、伊久美村の平四郎方に諸事借用してきたが、去節季に至り、年貢も借しえず、難態して入る。今回、貴方をお願いしたい。委細、俵に口上申上げる。手前仕立のお茶を差上げる。	(旧目録P287)	原本	状	1		
2214 L217	F 1	2月6日 ・酉	御吟味次第 (茶賞目切)	○記載なし ●記載なし	茶の賞目切に付いて、府中組が言うに、生元より8貫400匁入で受取り、撰茶して8貫目とし、問屋方の役料として1貫目引きとしている。これに対し、遠州森町天の宮村の又兵衛、後見安兵衛申し立てるに、これでは承服しかねると断える。	(旧目録P221)	原本	横帳	1	○	94
2215 L218	F 1	2月 ・酉	「上仕切	○大橋太郎治郎◎ ●岡野谷松兵衛	「上茶14本の代金13兩2分ト4匁8分5厘、これより諸経費を差引き、金12兩2分ト1匁7分5厘の仕切。海上輸送者は、柳津善蔵、代金12匁5分。	(旧目録P235)	原本	横帳	1		
2216 L612	F 1	3月19日 ・酉	書状	○山本嘉兵衛・惣兵衛・七兵衛・清兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	仕切目録と金銀を送付したので、着いたならば入帳願いたい。茶荷物の積立もよろしく。	(旧目録P278)	原本	状	1		
2217 L293	F 1	5月1日 ・酉	覚 (茶代金渡し)	○記載なし ●記載なし	茶7本の代金内金として、金2兩2分を渡し、残金5兩を7月に渡す。茶の内訳を記号で記す。残金の分々5兩2朱ト128文渡しとある。	(旧目録P287)	原本	状	1		
2218 L875	F 1	5月 ・酉	御茶入日記	○(駿州川根):岡野谷倉吉 ●長崎屋瀬兵衛	茶1櫃、正味同袋2貫700目とあり。	(旧目録P287)	原本	状	1		
2219 L57	F 1	6月22日未刻 ・酉	書状 (茶出入用出金割合)	○記載なし ●記載なし	酉5月より同12月までの茶出入用金割合として、下組分金1兩2分2朱ト573文先納分を除き、残金1兩1分ト220文、これを91軒で割り、1軒と92人宛。上河内22人、大森7人、西向5人、大平9人、三双17人、高日向11人、日向3人、栗野山13人。これを先日取集め、残分は名23日までに持参願う。	(旧目録P163)	原本	状	1		
2220 L937	F 1	9月12日 ・酉	書状	○中条瀬兵衛・重兵衛・文兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物積送の御礼、仕切送付の案内と御囲荷物送付を依頼。	(旧目録P271)	原本	状	1		
2221 L221	F 1	10月 ・酉	「上茶仕切五十八匁割	○藤原藤助(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上茶19本の代金20兩ト11匁3分4厘、これより諸経費を差引き、金8兩2分ト5匁4分の仕切勘定。	(旧目録P245)	原本	横帳	1	○	94
2222 L222	F 1	12月	仕切	○多吉 ●岡の谷松兵衛	茶186本(御内出)駄賃27貫900文、茶8本(小川出)賃3貫500文、茶221本賃32貫80文、内6兩請取。諸経費を差引き、353文残り。外に324文江戸登荷代取替え。	(旧目録P287)	原本	状	1		
2223 L223	F 1	12月 ・酉	仕切小判五拾八匁割	○住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	「上茶3本の代金2兩ト10匁5厘、これより諸経費を差引き、金2分ト14匁2分9厘の預り仕切。	(旧目録P237)	原本	状	1	○	94
2224 L613	F 1	12月 ・酉	「上茶仕切状之事 小判五拾八匁割	○堀留壺:長崎屋瀬兵衛◎ ●岡の谷松兵衛	茶1本の代金1分ト5匁5分1厘、これより諸経費等を差引き、金1分ト2匁5分9厘の上羽預り仕切。	(旧目録P294)	原本	状	1	○	94
2225 L692	F 1	2月11日 ・戌	書状	○水川村:筒主惣代:中村藤五郎 ●又平孫右衛門、平口五郎右衛門、岡野谷松兵衛、西野平四郎など21名	江戸にて訴訟裁判中の茶一件白州の模様を報告。前欠。	(旧目録P222)	原本	状	1		
2226 L367	F 1	3月22日 ・戌	茶仕切小判六拾問目割	○山本嘉兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶2口の代金2兩2分ト5匁2分8厘、これより諸経費を差引き、金1兩2分ト5分9厘の仕切。	(旧目録P247)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 存区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2227 L16	F 1	3月 ・戌	茶仕切小判五拾八匁割	○富田利兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶8口の代金7両3分13匁2分5厘、これより諸経費を差引き、金7両1分2匁1分9厘の仕切。	(旧目録P238)	原 本	横 帳	1		
2228 L446	F 1	4月3日 ・戌	積附	○漆屋清吉◎ ●岡ノ谷松兵衛、下田惣吉	「上茶1本の積立出帆の積附状。外に47枚の積附状。	(旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2229 L877	F 1	4月19日 ・戌	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・嘉兵衛・庄藏 ●岡野谷松兵衛	新茶荷物、無事入津。金子30両を送付する。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2230 L224	F 1	4月 ・戌	書状	○駿河国焼津湊・武右衛門◎ ●岡野屋松兵衛、石神多吉	荷物を積立て、確かに出帆した。	(旧目録P229)	原 本	状	1	○	94
2231 L191	F 1	6月 ・戌	積附	○村松惣五郎、巻田久左衛門、小津次郎右衛門、鷺野庄右衛門、渡中増右衛門、長井利兵衛 ●岡野谷松兵衛、下田惣吉、石神多吉	焼津湊から茶荷物積込、出帆の報告。それぞれ積荷内容、仕向先を記す。村松8通、巻田19通、小津入津1通、鷺野17通、渡中5通、長井6通あり。	虫損・紙疲劣 (旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2232 L614	F 1	8月2日 ・戌	書状	○長崎屋瀬兵衛 ●岡の谷松兵衛	お持ちの茶荷物があれば、7貫目前後は此方に振り向けてほしい。仕切も格別にするので、多分に積送り願いたい。今回、10両を送付する。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2233 L878	F 1	5月12日 ・亥	目録覚	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	内金として、金10両、送付する。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2234 L228	F 1	5月27日 ・亥	覚	○平口五郎右衛門◎ ●「上	茶荷物内金として、金20両、儲に預かる。	(旧目録P287)	原 本	状	1		
2235 L440	F 1	5月 ・亥	「上仕切	○本町四丁目北側東角：大橋多郎次郎◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	酉年分、戌年分の茶2本の代金2両1分4匁7分5厘、これより諸費を差引き、金1両2匁8匁1分5厘の仕切り。	(旧目録P235)	原 本	状	1		
2236 L230	F 1	5~7月 ・亥	積附覚	○遠州川崎湊：門奈七郎左衛門◎、泉屋八郎差衛門◎、柴村喜十郎◎ ●岡野谷松兵衛、信州屋利三郎他	「上茶3本の積立積送り状。外に12枚の積送り状あり。信州屋は藤枝の茶問屋。	(旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2237 L227	F 1	5~8月 ・亥	積附	○焼津湊：鷺野茂衛門◎、渡中増右衛門◎、斎藤清右衛門◎、瀧田屋甚五郎◎ ●藤枝木町：石神太吉、下田宇吉、長井利兵衛他、岡野谷松兵衛	「上茶11本、櫃1個積立、出帆したと報告。外に16枚あり。	(旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2238 L879	F 1	8月22日 ・亥	覚	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	金30両を送付する。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2239 L696	F 1	9月12日 ・亥	覚	○伊勢屋伝兵衛(茶問屋) ●岡野谷松兵衛	金1両年賦・割済。これを送付する。	(旧目録P248)	原 本	状	1		
2240 L880	F 1	9月12日 ・亥	覚	○伊勢屋伝兵衛(伊勢町茶問屋) ●岡野谷松兵衛	金12両1分11匁9厘、秋仕切送金する。	(旧目録P248)	原 本	状	1		
2241 L441	F 1	9月 ・亥	「上茶仕切小判五拾八匁割	○慶原藤助◎ ●岡野谷松兵衛	「上茶9本の代金12両2匁5匁8分、これより諸経費を差引き、金11匁4厘の預りの仕切。	(旧目録P245)	原 本	状	1		
2242 L229	F 1	10月9日 ・亥	三右衛門茶積附	○斎藤清左衛門◎ ●岡野谷松兵衛、下田惣吉	「上茶1本、茶問屋板屋兵衛外を経て、焼津湊斎藤清左衛門により積附。外に、同様の積附36枚あり。	(旧目録P229)	原 本	綴 り	1		
2243 L778	F 1	10月26日 ・亥	覚	○いせや伝兵衛◎ ●岡ノ谷松兵衛	金14両1分3匁2分4厘、茶仕切金として送付する。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2244 L447	F 1	10月 ・亥	茶仕切小判六拾目之割	○富田利兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上茶の代金42両1分4匁9分4厘、これより諸経費を差引き、11両2匁5匁3分①厘の仕切。この銀預り。	(旧目録P238)	原 本	綴 り	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 厚区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2245 L779	F 1	12月 ・亥	書状 (仕切小判五拾八匁割)	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上茶代金6両ト5匁5分、これより諸経費を差引き、金5両2分ト3匁4分8厘の仕切。2口分、5両2分ト11武9厘、うち預り11匁9厘。金5両2分を送付する。	(旧目録P237)	原 本	状	1		
2246 L831	F 1	1月	賀状 (包紙あり)	○長崎屋善右衛門 ●岡野谷松兵衛	商売円滑化のため、年始の挨拶。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2247 L64	F 1	1月2日	賀状	○伊勢屋傳兵衛 ●岡の谷松兵衛	お茶取引の円滑化のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2248 L65	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○(江戸):西村新次郎 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2249 L231	F 1	1月2日	賀状	○恵市や宗次郎他1名 ●岡野谷松兵衛御支配衆	年新的挨拶と茶荷物積送り引取の願状。	虫損あり (旧目録P257)	原 本	状	1		
2250 L615	F 1	1月2日	賀状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・市兵衛・ 半兵衛・清吉 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	変色 (旧目録P278)	原 本	状	1		
2251 L616	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	虫損甚大 (旧目録P250)	原 本	状	1		
2252 L617	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○西村加兵衛外2 ●岡の谷松兵衛	年始の挨拶と取引促進の願い。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2253 L797	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛・常吉 ●岡ノ谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2254 L798	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・惣兵衛・ 清兵衛・重助 ●岡野や松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2255 L799	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○いせや傳兵衛 ●岡の谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2256 L800	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○大伝馬町:西村新次郎・傳兵衛 ●駿州上河内:岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2257 L801	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○山本嘉兵衛・金兵衛・武助 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶と荷送御礼、積送の願い。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2258 L802	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○恵市屋宗次郎 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2259 L803	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・庄兵衛・ 弥七 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P259)	原 本	状	1		
2260 L804	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・次兵衛 ●駿州上河内:岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2261 L805	F 1	1月2日	賀状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・惣兵衛・ 七兵衛・市兵衛 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2262 L806	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○幸崎屋五郎右衛門 ●駿州川根上河内:松兵衛	板行摺の賀状。年増繁昌のお礼。	(旧目録P257)	原 本	状	2		
2263 L807	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P278)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 等 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
2264 L809	F 1	1月2日	賀状	○幸崎屋五郎右衛門 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2265 L810	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○恵市屋宗次郎・三保藏◎ ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2266 L811	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・治兵衛・ 庄兵衛 ●岡野屋泰兵衛・藤枝上伝馬町三度屋(包紙)	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P259)	原 本	状	1		
2267 L813	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛・常吉 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2268 L834	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○住吉屋松兵衛◎ ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2269 L849	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○南新堀町奄丁目:住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2270 L850	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○幸崎屋五郎右衛門 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。別紙に、人手がないので行届かず、以後、板摺とする。	(旧目録P257)	原 本	状	2		
2271 L881	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○江戸大伝馬:伊勢屋傳兵衛 ●岡の谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2272 L882	F 1	1月2日	賀状 (包紙あり)	○西村新次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州上河内:岡野屋松兵衛	年始の挨拶。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2273 L812	F 1	1月3日	賀状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・庄兵衛他 1 ●駿州国内上川内:岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P259)	原 本	状	1		
2274 L620	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛他1 ●岡ノ谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2275 L618	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・忠藏・ 庄八 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2276 L619	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○江戸伝馬町:中村三郎右衛門(江戸茶問屋20 軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P272)	原 本	状	1		
2277 L814	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○あうかや善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・金藏・ 安兵衛 ●岡野谷松兵衛、駿州藤枝上伝馬町:三度屋重 兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2278 L815	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・新兵衛・ 文蔵 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2279 L816	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・次兵衛 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2280 L817	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛・ 芳兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2281 L818	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P250)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2282 L819	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2283 L820	F 1	1月4日	賀状 (封袋あり)	○大伝馬老丁目:茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●駿州川根:岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2284 L821	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州上河内:岡の谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2285 L822	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P261)	原 本	状	1		
2286 L823	F 1	1月4日	賀状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2287 L824	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2288 L825	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○大伝馬老丁目:中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P272)	原 本	状	1		
2289 L826	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・直蔵 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2290 L827	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2291 L828	F 1	1月4日	賀状 (包紙あり)	○いせ屋六右衛門 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2292 L829	F 1	1月5日	賀状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2293 L830	F 1	1月5日	賀状 (包紙あり)	○長崎屋善右衛門・正兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2294 L832	F 1	1月5日	賀状 (包紙あり)	○長崎屋善兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2295 L853	F 1	1月5日	賀状 (包紙あり)	○江戸伊勢町:中条源兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・徳兵衛・久次郎 ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。	(旧目録P269)	原 本	状	1		
2296 L452	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○長崎屋源兵衛・忠兵衛・嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	新年の挨拶、茶荷物の積送りを依頼。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2297 L453	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●芹次重兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2298 L454	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州焼津湊:鷺野武右衛門	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2299 L455	F 1	1月6日	賀状 (包紙あり)	○本町四丁目:大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	年始の挨拶。	(旧目録P253)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱 番 号 コ ピ ー 保 管
2300 L621	F 1	1月6日	賀状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善兵衛・善助 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2301 L622	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2302 L833	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・金七・忠七 ●岡野屋松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P260)	原 本	状	1		
2303 L835	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○堀留者丁目:長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善助・長兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2304 L836	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎 ●野崎彦左衛門	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P253)	原 本	状	1		
2305 L837	F 1	1月6日	賀状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善兵衛・善助 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2306 L838	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛・藤枝:三度屋重兵衛(包紙)	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2307 L839	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○西村新次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2308 L840	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P265)	原 本	状	1		
2309 L841	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)・忠助・清兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2310 L842	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2311 L843	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)・忠助・清兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2312 L844	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2313 L845	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2314 L846	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●伊久美:坂本藤四郎	新年の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2315 L847	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛 ●上川内:岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2316 L848	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○伊勢町:中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善兵衛・徳兵衛 ●岡野谷松兵衛	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P269)	原 本	状	1		
2317 L851	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●遠州家山:葛屋瀬平	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P284)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2318 L852	F 1	1月6日	賀状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●藤枝下傳馬町: 鏝屋又助	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2319 L883	F 1	1月6日	賀状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●遠州見附宿: 鏝屋治五兵衛	新年の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2320 L884	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州伊久見(ママ): 西野平四郎	新年の挨拶。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2321 L623	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○小田原屋兆兵衛 ●岡野谷松兵衛御店兼中	取引円滑のため、年始の挨拶。	(旧目録P103)	原 本	状	1		
2322 L885	F 1	1月6日	書状 (包紙あり)	○身成村: 平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	茶一件につき、明日出合う事になっているが、病人の加減悪く同伴できない。	(旧目録P222)	原 本	状	1		
2323 L886	F 1	1月14日	書状	○大傳馬老丁目: 茗荷屋善五郎@ (江戸茶問屋20軒仲間)・又兵衛・市助 ●岡野谷松兵衛	新茶無事入津、水揚げ確かに受取ったので、帳面と引合せ願いたい。跡荷物も多分に積送っていただき、油断なく出精するので御支配願いたい。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2324 L698	F 1	1月15日	覚	○住吉屋利兵衛 ●岡野谷松兵衛	「上茶1本、万助船。無事着き、水揚げして受取る。」	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2325 L625	F 1	1月17日	書状	○茗荷屋善兵衛@・徳兵衛・平兵衛 ●岡野屋松兵衛	荷物売捌きの分、仕切を送付したので、御覧頂きたい。随分一生懸命に売捌いたので、多少利益があると思う。荷物を沢山積送り願いたい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2326 L780	F 1	1月17日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛他2名 ●岡野谷松兵衛、駿州藤枝: 三度屋(包紙)	冬仕切金につき、旧年中には着かないので迷惑していると聞く。この仕切金は、12月16日に金10両1分2朱と銭314文を送っている。届いてよい筈だが、まだ着かないならば、藤枝の三度屋方を調べてほしい。それでも分らなければ、当方に問合せを願いたい。他に、岡野谷からの書状などがある。	(旧目録P269)	原 本	状	2	○	94
2327 L626	F 1	1月19日	書状	○岡の谷松兵衛 ●西野平蔵	先達では、水川村へ御参会下さり、御苦勞様でした。無事、御帰宅されたか、何う。	(旧目録P222)	原 本	状	1		
2328 L628	F 1	1月24日	書状	○小川: 石神惣七 ●上河内村: 岡野谷松兵衛	駿府御用につき、親父が下泉に出張中なので、貴家様で出府願いたい。過日茶一件につき、20日、当村出頭、23日笹間上下、河内村3村が出頭、その惣代が掃り次第、委細をお知らせする。	(旧目録P222)	原 本	状	1	○	94
2329 L629	F 1	1月28日	書状	○板屋與兵衛・左兵衛 ●岡野谷松兵衛	先に積送りいただいた荷物の連絡延引につき、お詫びする。後々の荷物について、積送り願いたい。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2330 L236	F 1	2月6日	書状 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・中条瀬兵衛・他2名 ●岡野谷松兵衛・藤枝三度屋重兵衛(包紙)	新茶も見事に芽吹いたことと推察する。是非、大走りを多く積送り願いたい。売捌き、仕切も目立つようにするので、多分に積立願いたい。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2331 L699	F 1	2月9日	書状 (包紙あり)	○めうかや(茗荷屋)善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛・駿州藤枝: 三度屋十兵衛	今年の新茶は見事と察する。当地では、古茶を全て売尽くしたので、新茶を早めに積入れて送付願いたい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2332 L587	F 1	2月11日	書状	○二又: 西の民蔵 ●上河内村岡野谷松兵衛	江戸表より書状が来たので、順達願う。あと替りの者を願いたい、私も旧冬より病氣快気せず、川根筋から替りのものを2月中に下して頂くよう、骨折願いたい。	(旧目録P287)	原 本	状	1		
2333 L232	F 1	2月19日	書状 (包紙あり)	○大傳馬老町目: めうかや善五郎@ (江戸茶問屋20軒仲間)・金蔵・安兵衛 ●岡野谷松兵衛	市助以来の交誼を謝し、その跡役を順等に金蔵に申し付けるので、今後とも御懇情願いたい。荷物も多分に送付願いたい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2334 L237	F 1	2月19日	書状	○長井利兵他2名 ●岡野谷松兵衛	新茶出来次第、積送り願いたい。代金15両を送付する。新茶は格別であるので、おもしろい値段で売捌けると思う。	(旧目録P262)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2335 L234	F 1	2月24日	書状 (包紙あり)	○伊勢屋傳兵衛 ●岡の谷松兵衛、駿府藤枝木町:健屋亦助	新茶の時季到来、例年の如く大送り出来次第送付願いたい。大走りは、面白いほど取引があるので、一刻も早くに送付願いたい。金子は、例年の通り3月6日に送付する。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2336 L70	F 1	2月25日	書状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛・芳兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶摘取次第、積送りの御支配仰せ付け願いたい。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2337 L71	F 1	2月26日	書状	○瀧沢村:源作 ●岡野谷松兵衛	仲間人には、箱茶1個48文を40文、丸茶1本24文を20文で勤めるので、沢山の中次御用を願いたい。	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2338 L235	F 1	2月26日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・忠兵衛・義兵衛 ●岡野谷松兵衛	当月4日出の貴札全て拝見、新茶出来次第の積送に感謝。前金として、金50両を予定しているが、手廻り兼ねるので、30両で間に合わせてほしい。後から追金を送付するので、よろしく願いたい。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2339 L489	F 1	2月26日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛・芳兵衛 ●駿州上河内:岡の谷松兵衛	当地、古茶の売行きはあまり進まないが、当店は売り捌けている。新茶の入津となれば、一段といい値となるだろうから、荷物を当店に送付願いたい。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2340 L700	F 1	2月26日	書状	○大傳馬老目:中村三郎右衛門 ●藤枝上伝馬町:三度屋十兵衛、上河内:岡野谷松兵衛	今年の新茶は、順気よく生立も見事で荷造りも出来ると推察する。是非とも貴船から上中下と荷物を送付願いたい。当店でできるだけの仕切をする。	(旧目録P272)	原 本	状	1		
2341 L781	F 1	2月29日	書状	○住吉や利兵衛他2名 ●岡野谷松兵衛	追々積送りいただいている茶荷物につき、従前通り仕切書を送付するので、受取ってほしい。もし、算用に相違あれば、早速お知らせ願いたい。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2342 L887	F 1	2月29日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵 ●岡の谷松兵衛	この度、首尾よく退役、息子に申付けたので、従前通り御願願いたい。内金20両を送付する。お茶も不景気で、問屋蔵に残っているので、3両から4両位のお茶を送付願いたい。後の金子も追々送付するので、よろしく。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2343 L478	F 1	2月	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛、かぎや又助(運送)	「上からの茶荷物午年仕切2通。諸経費を差引き、2両2朱ト11匁4分と22両1朱ト3匁7分の仕切。	(旧目録P253)	原 本	状	2		
2344 L888	F 1	2月	茶仕切之事 小判六十匁割	○富太利兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	「上の茶荷物1本の代金より、諸経費を差引き、金1兩ト11匁2分の仕切。	虫損あり (旧目録P238)	原 本	状	1		
2345 L238	F 1	閏2月19日 ・壬	書状 (包紙あり)	○若荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	長思いの安兵衛に替り、跡役を多助に申しつけるので、これまで同様よろしく。古茶も、新茶も当店に送付願いたい。仕切値段も入急出精するので、よろしく。	(旧目録P275)	原 本	状	2		
2346 L630	F 1	閏2月19日	書状	○富田利兵衛・彦兵衛・赤七 ●岡野谷松兵衛	積送の茶荷物の仕切を認めたので、引合一覧願いたい。時節柄不景気、相応の利分をよろしく願いたい。	(旧目録P260)	原 本	状	1		
2347 L72	F 1	3月2日	書状	○小川:石神甚左衛門 ●上河内村:岡のや松兵衛	茶一件入用の割合について、身成村の除外は、如何か、久瀬衛門も江戸で死去、この度の入用を除いてあるのは何故か。貴村は指出であるか。貴村の畑高の分米高はどれだけか。伊久美村ばかりが余計に掛かって入るが、何故か、伺いたい。	(旧目録P226)	原 本	状	1	○	94
2348 L456	F 1	3月2日	書状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶について、早船へ賑やかに積送り支配仰付け願いたい。値段につき、油断なく駆引きし、古茶も売り逃さないようにするので、沢山引立願いたい。代金は、その都度支払うので、御安心を。	(旧目録P2348)	原 本	状	1		
2349 L490	F 1	3月2日	書状	○中村三郎右衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛他2名	仕切について、下田様にも伝えていただきたい。当地も甚だ下値なので、見合わせている。その仕切も、入津までは全部認め上げるつもり。	(旧目録P272)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 年区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2350 L701	F 1	3月2日	書状 (包紙あり)	○江戸日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州川根上河内村:岡野谷松兵衛	当年新茶は順調の様子で、摘取も繁用と推察。新茶を忙しげに積送りいただき、茶捌きも出精するので、よろしく。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2351 L702	F 1	3月2日	書状 (包紙あり)	○西村新二郎 ●岡野谷松兵衛	当年新茶出来次第、大急ぎで積入れ、送ってほしい。売捌き方、仕切も出精するので、よろしく。	(旧目録P273)	原 本	状	1		
2352 L703	F 1	3月2日	書状	○中村三郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●身成村:藤田作兵衛	今年も順気よく、新茶の生立も見事と推察。是非、急ぎ1番船にて上・中・下荷物を沢山積送り願いたい。仕切も出精する。	(旧目録P272)	原 本	状	1		
2353 L631	F 1	3月3日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	当年は、横浜店にて諸茶大入用であるので、新茶出来次第、残らず下店に振り向けてほしい。格別の出精をする。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2354 L889	F 1	3月4日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡の谷松兵衛	今般、新茶前金として25両を送付するので、入帳願いたい。当年は、珍しく売れ、高値で取引されているので、手廻しよく積送願いたい。本製の青製茶を沢山積送下さい。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2355 L491	F 1	3月5日	覚	○(船主カ) 埴庄兵衛 ●「上サマ」(岡野谷)	江戸茶問屋行き茶2本箱入1ツ、確かに受取る。	(旧目録P288)	原 本	状	1	○	94
2356 L74	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶も芽吹き、大走りから沢山発送願いたい。出精して売捌くので、できるだけ上物を振り向けてほしい。新茶内金として20両を送付するので、入帳願いたい。なるべく多くを積送り願いたい。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2357 L239	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛他2名 ●岡野谷松兵衛	新茶の季節を控え、より多くの入荷を期待する。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2358 L240	F 1	3月6日	書状	○長崎瀬兵衛他2名 ●岡乃谷松兵衛	新茶(宇治製物)積入支配について、残らず下店へ仰せ付け願いたい。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2359 L494	F 1	3月6日	書状	○大傳馬:茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・大助・伝七 ●駿州藤枝上伝馬町:三度屋十兵衛、川根上川内村:岡野屋松兵衛	新茶の時季到来、当地地では、古茶売捌き、新茶荷物大走りを景気良く売捌くので、こちらに荷物を廻してほしい。入津次第、金子を送る。	(旧目録P275)	原 本	状	1	○	94
2360 L495	F 1	3月6日	書状	○中条瀬兵衛・久治郎・吉兵衛 ●記載なし	宇治製の物は、古茶も良く売捌け、新茶はそれ相応であるので、なるだけ沢山送付願いたい。仕切表も目立つように出精するので、積荷を願う。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2361 L496	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・久次郎・吉兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶の出来次第、大走りから積込み願いたい。既物も残らず当店へ振り向けてほしい。また、青製の物も、大急ぎで沢山送付願いたい。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2362 L497	F 1	3月6日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・兵助・平七 ●岡の谷松兵衛	新茶の出来具合はどうか。出来次第、大走りから多分に積送り願いたい。とりわけ、青製の分がよいので、いくらでも送ってほしい。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2363 L704	F 1	3月6日	書状	○江戸日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州川根上河内村:岡野谷松兵衛、駿州藤枝伝馬町・(次)屋又助	新茶の時季で御繁用のことと推察。新茶出来次第、追々積送り願いたい。入津次第、油断なく売捌き、仕切もなるべく上仕切とするよう、心掛ける。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2364 L705	F 1	3月6日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・栄蔵 ●岡の谷松兵衛、駿州藤枝:健屋亦助	新茶積送りいただければ、間違いなく当方で出精し、勤めて送金する。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2365 L782	F 1	3月6日	書状 (包紙あり)	○長崎屋善右衛門・庄兵衛 ●岡野谷松兵衛	昨年中、荷物を任せていただき、感謝する。本年も相変わらず、お願いしたい。荷物は、相場を見計らって出精して仕切る。茶内金として金45両を送る。江戸の相場も、便を見てお知らせする。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2366 L706	F 1	3月7日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	新茶の時季になり、荷物積出の節、多忙なれど沢山お願いしたい。古茶は、これまで良く売れ、残りはない。新茶の取引は面白く、今後も最良立てを願う。	(旧目録P250)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2367 L498	F 1	3月8日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●岡野屋松兵衛	荷物送付のお礼。新茶芽立を心配。新茶の大走りを送付願いたい。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2368 L890	F 1	3月8日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・芳兵衛 ●岡野谷松兵衛	(前欠)新茶前金15両を送付する。新茶は良く売れるので、当年は本製・青製共積入れ願いたい。金子も、追々送付する。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2369 L75	F 1	3月9日	書状 (包紙あり)	○日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●川根上河内;岡野屋松兵衛	荷物が無事入津した。今後も荷物の手配を願いたい。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2370 L632	F 1	3月9日	書状	○茶問屋行事有印(茶問屋上組行事) ●原村・伊久美村・瀬沢村・上河内村:茶御主 来中	先月6日、申上げた通り、残金が片付かなくて迷惑している。新茶が入津しても捌き方が難しい。新茶送付の際、勘考願いたい。	虫損あり (旧目録P279)	原 本	状	1		
2371 L891	F 1	3月9日	書状	○大傳馬式丁目:長井五郎次郎印 ●岡野屋松兵衛	茶荷物を売捌いたので、金子を送付する。この度、仙助を差し向ける。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2372 L499	F 1	3月10日	書状 (袋入)	○西の民藏 ●岡野谷松兵衛	村によってお茶の仕入れ値が違っては、損失となる、と江戸表かの申し出がある。青製は、まだ良いが、それでも昨年よりは下落。このことお含みの上、仕入を願う。中風薬服を添える。	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2373 L76	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の季節到来。古茶も仲間一統問題なし。新茶の走りは一入見事に売捌ける見通し。新茶をより多く送付願ひ、入津次第に送金する。	(旧目録P280)	原 本	状	1		
2374 L241	F 1	3月12日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・又兵衛・市助 ●岡野谷松兵衛	新茶の季節。当地で売捌きたいので、送ってほしい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2375 L500	F 1	3月12日	書状	○二又村:西の平蔵 ●上河内:岡野谷松兵衛	江戸表の御用向筋、早く詳しく聞きたい。大間で足を止め、帰宅次第聞いておく。9日に帰る、10日在宅、11日出立とのことであるので。	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2376 L501	F 1	3月12日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・伝七・忠蔵 ●岡野谷松兵衛	新茶の季節。古茶は売捌いたので、新茶は景気良く売捌けると思う。金76両を前金として送付する。大走りより追々多分に送付願いたい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2377 L502	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○長崎瀬兵衛(中条)(江戸茶問屋20軒仲間)・源助・平七 ●駿州藤枝:三度屋重兵衛、岡の谷松兵衛	新茶の時季となり、荷物出来次第、大走りより多分に送付願いたい。入津の時、良く売捌き、仕切も目立つように心掛ける。金子30両を送付する。	(旧目録P266)	原 本	状	1		
2378 L707	F 1	3月12日	書状	○めうかや(茗荷屋)善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・金蔵 ●岡野谷松兵衛	新茶の時季、打ち金20両を送付する。古茶は、例年よりは残り、相場も下落したが、新茶は別であり、出精するので積方よろしく。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2379 L709	F 1	3月12日	書状 (包紙あり)	○めうかや(茗荷屋)善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・金蔵 ●岡野谷松兵衛、駿州藤枝上伝馬町:三度屋重兵衛	新茶の時季、今般内金として金20両を送る。荷物は追々積出してほしい。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2380 L572	F 1	3月13日	書状 (包紙あり)	○下いつミ(下泉):勝山利兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	使いの者に荷物を送付したので、受取ってほしい。又、後の使いの者が参り次第、早々さしあげるので、御承知ください。	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2381 L708	F 1	3月13日	書状 (包紙あり)	○大伝馬町:富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・次兵衛・庄兵衛 ●駿州藤枝宿上伝馬町:三度屋重兵衛、岡の谷松兵衛	退役に付き、跡役は治兵衛が順当に勤めているので、引立てを願う。新茶は出来次第早船で送ってほしい。金子は、荷物積付の案内があり次第、送付する。	(旧目録P260)	原 本	状	1	○	94
2382 L503	F 1	3月14日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	3~4年前の古茶まで、残らず売捌いたが、その後は売れず、御迷惑を掛けた。お詫びの印に、一生懸命売捌くので、大走りから送っていただきたく、品切ゆえ、急ぎ願いたい。	(旧目録P256)	原 本	状	1		
2383 L504	F 1	3月14日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)・弥兵衛・伝兵衛 ●岡野谷松兵衛	水川の中村藤吾郎から説明された一件、片付次第開店するので、これまで通り、荷物を送付願いたい。	(旧目録P256)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 等区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2384 L892	F 1	3月14日	書状	○伊勢屋傳兵衛他2名 ●岡ノ谷松兵衛	(前欠)新茶大走りを入津してくれば、上値段で売捌くので、例年よりも積入願いたい。	破損大 (旧目録P249)	原 本	状	1		
2385 L77	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛他2名 ●岡野屋松兵衛、藤枝宿:三度屋重兵衛	新茶前金15両送付する。	(旧目録P260)	原 本	状	1		
2386 L242	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○住吉屋利兵衛・弥兵衛 ●岡野屋松兵衛	新茶を売捌きたいので、沢山送付願いたい。弥兵衛は、早春より眼病を煩い、仕切が遅くなっていて、すまない。その内に取り調べるので、御容赦のほどを。	破損大 (旧目録P258)	原 本	状	2		
2387 L633	F 1	3月16日	書状	○中条順兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・源兵衛(源助)・弥兵衛 ●岡の谷松兵衛	新兵衛が退役し、跡方は源助が勤めるので、よろしく。新茶の値段も上々なので、大走りから積入れてほしい。仕切については、出精する。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2388 L893	F 1	3月16日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●岡野谷松兵衛	新茶の走りは良く売れるので、多分に積入れ手ほしい。油断なく出精するので、よろしく。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2389 L505	F 1	3月18日	書状	○長利(江戸茶問屋20軒仲間)・他1名 ●岡野谷松兵衛	去年の私共への送り荷は、大損失と西の茂兵衛から聞いた。極上物であった。今年は下値を出さず、平口扱いの物ほ小分けして安売りはしない。	(旧目録P262)	原 本	状	1		
2390 L506	F 1	3月18日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の大走りを出るだけ早く送付願いたい。適当な値段でうるので、出来るだけ多量に願いたい。	(旧目録P282)	原 本	状	1		
2391 L243	F 1	3月19日	書状	○いせや傳兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶を送付願いたい。入津の折も400軒も売捌いたので、お心置きなく積入れてほしい。新茶の前金として、金30両を送付する。	(旧目録P249)	原 本	状	1		
2392 L457	F 1	3月19日	覚	○小西金右衛門@ ●記載なし	お茶の入金として、5匁7分、確かに受取る。	(旧目録P294)	原 本	状	1		
2393 L710	F 1	3月19日	書状 (包紙あり)	○小川善四郎・半兵衛・重兵衛 ●駿州藤枝在上川内:岡野谷松兵衛	当年も多少に限らず、新茶を送付願いたい。当店は、小売第一とし、仕切も格別期待に添えるよう出精する。	(旧目録P280)	原 本	状	1		
2394 L711	F 1	3月19日	書状 (包紙あり)	○日本橋:山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州川根上河内村:岡野屋松兵衛	新茶出来次第、積送願いたい。入津次第、出精して売捌き、仕切も上値段とする。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2395 L858	F 1	3月19日	書状	○茶問屋老番組行事 ●駿州川根御荷主衆中、「上	当地の茶相場の成り行きが良くない。特に横浜は商売が出来ない。新茶相場に見込みがつかない。先に、4割余の引下げを伝えたが、それでも落ち着かず、どこまで下落するか、わからない。そちらで高値で仕入れても、仕切が見合う値段で引き受けられない。	(旧目録P279)	原 本	状	1	○	94
2396 L894	F 1	3月19日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎@ (江戸茶問屋20軒仲間)・平蔵・久八 ●駿州上川内村:岡の谷松兵衛	例年の通り、新茶を大走りより多分に積送り願いたい。金子も早速差上るので、生元を静めてほしい。先日、茶出入り入用につき、富田店と3軒で用立てをした。委細、平蔵を手引き願いたい。今年の大走りは、川先濠へ出してほしい。焼津・清水は心配。金子は、いつでも差し上げる。	(旧目録P254)	原 本	状	1	○	94
2397 L78	F 1	3月20日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	先日、勝山利兵衛より委細を聞かされ、承知した。当16日、金50両を持たせるので、改めの上、新茶の大走りより良い品を沢山送付願いたい。古茶の惣仕切を近日取調べ、案内する。	(旧目録P254)	原 本	状	1		
2398 L507	F 1	3月20日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・庄兵衛・弥七 ●駿州藤枝上伝馬町:三度屋重兵衛、駿州笹間上川内:岡野屋松兵衛	当地では、古茶も至って良く売捌いている。新茶も入津すれば面白いほどに捌けると思うので、出来次第、積送り願いたい。なお、内金については、積付の案内があり次第、送付する。	(旧目録P260)	原 本	状	1		
2399 L508	F 1	3月21日	書状	○茶問屋行事 ●藤枝・伊久ミ・上川内・其外在々:茶荷主中	毎年申上げて気の毒だが、古茶残物沢山あり、相場は不景気。新茶は急がない。それより格好の値段で買入れてほしい。文末に、順達すべき吉田兵衛以下16人の名前を記す。	(旧目録P279)	原 本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2400 L712	F 1	3月21日	書状	○西村新治郎・市助 ●岡野谷松兵衛支配中	お茶荷仕切の地引故、多少売り金を送るべきだが、当地仲間一同、前金・内金は6月晦日までは決して送らないと決めたので、差し控える。新茶積立は、当店に願いたい。相場も、新茶が出れば勢いつくともみられる。	(旧目録P273)	原本	状	1		
2401 L79	F 1	3月22日	書状	○榎原藤助・惣助 ●岡の谷松兵衛	新茶をよろしく頼む。他所と違い、当地相場は昨秋より下値となり、心配。	(旧目録P274)	原本	状	1		
2402 L233	F 1	3月22日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●岡野屋松兵衛	(前欠)古茶が品薄となったので、新茶を大走りより売捌く。金20両を送付するので、大走りの荷物が出来次第、早船で多く積入れてほしい。	(旧目録P275)	原本	状	1		
2403 L509	F 1	3月22日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶の時事となり、走りの茶は高値でも売捌けると思うので、よろしく頼む。	(旧目録P260)	原本	状	1		
2404 L510	F 1	3月22日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・小兵衛・定兵衛 ●駿府上伝馬町:三度屋十兵衛、駿州笹間上川内:岡野谷松兵衛	新茶の時事となり、荷物出来次第、早船に積入れ、当方に任せてほしい。当地では、古茶までも売捌き、新茶も一荷相応の値段で捌けると思う。大走りより引続き、積入れてほしい。	(旧目録P260)	原本	状	1	○	94
2405 L511	F 1	3月22日	書状	○小津六兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	当年は、茶相場佳しく、新茶の走りを出してほしい。	(旧目録P256)	原本	状	1		
2406 L589	F 1	3月22日	書状	○長井利兵衛 ●岡野谷松兵衛	先般お願いの茶荷物、無事入津した。これ等の荷物は、これからもよろしく。入津の荷物は、油断なく売捌く。	感懐あり (旧目録P262)	原本	状	1		
2407 L713	F 1	3月22日	書状 (包紙あり)	○板や與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛 ●駿州藤枝:三度や十兵衛、岡野谷松兵衛	新茶荷物出来次第、初物から沢山積送り願いたい。入津の節は、出精して売捌く。中以下は、売残ることもあるが、はつものは捌けも良いので、よろしく。	(旧目録P250)	原本	状	1		
2408 L895	F 1	3月22日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・他3名 ●岡野谷松兵衛	お茶の売買も出来、安心願いたい。新茶は、出来次第早船で積送り願いたい。又、古茶も売れる見通しなので、一入良い値段となる見込みであるので、沢山の荷物支配を仰付願いたい。お金は、入津次第送付する。	(旧目録P260)	原本	状	1		
2409 L244	F 1	3月24日	覚	○駿州藤枝:かきや傳五郎(○) ●岡野谷松兵衛	江戸茶問屋からの茶代金受取りの覚	(旧目録P288)	原本	状	1	○	94
2410 L727	F 1	3月24日	書状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵・彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	積送りの荷物、無事入津。別紙により印付の上、差上げるので、引合願いたい。なお、後々の荷物沢山積送り願いたい。	(旧目録P262)	原本	状	1	○	94
2411 L154	F 1	3月25日	江戸煙状 (包紙上書)	○茶問屋行事角印 ●伊久米茶荷主衆中、西野平蔵他5名	包紙に「二又 西野平次郎」の署名。茶仲間の中野宗助が節句前に家出、行方が分からない。関り合いがある方もいるので、お知らせする。各々方へ送ってほしい。	(旧目録P280)	原本	状	1		
2412 L458	F 1	3月26日	乍恐以書附奉願上候	○水川村名主藤五郎、他川根地域の茶商人、4ヶ村8名 ●記載なし	私共村々は、去る10月より召出され、再応吟味を願っていた。村々仲買その他よりも、当地問屋へ新茶を積送ったが、その年の6月に内金を渡され、仕切勘定は延引になり、迷惑している。次の年も同様で値段も引下げられ、私共村々は困っている。掛りの榎原主計頭様へ召出され、訴訟から除いてほしいと申立てたが、叶わずに帰村を命じられた。	(旧目録P222)	原本	状	1	○	94
2413 L512	F 1	3月26日	書状	○小津次郎三左衛門(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	先便にて案内した通り、益々面白年柄となり、以前のお詫び方々、特別の出精で売捌くので、荷物出来次第急ぎ積出し願いたい。	(旧目録P256)	原本	状	1		
2414 L513	F 1	3月26日	書状 (包紙あり)	○長崎屋(中条)瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・才兵衛・善兵衛 ●藤枝宿:三度屋重兵衛、岡野谷松兵衛	新茶の時事となり、今まで通り多分に積送り願いたい。入津すれば、慎重に売捌き、仕切表も格別にして差上げる。新茶の大走りから私方に任せてほしい。	(旧目録P266)	原本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2415 L514	F 1	3月26日	書状 (包紙あり)	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・小兵衛・定兵衛 ●殿府上伝馬町:三度屋重平、笹間上川内:岡の谷松兵衛	新茶の時事となり、少々ばかりだが、金15両を送付する。荷物出来次第、早船で沢山積送り願いたい。	(旧目録P260)	原本	状	1	○	94
2416 L515	F 1	3月26日	書状	○大伝馬三丁目:茶問屋西村新次郎・傳三郎 ●駿州藤枝財上河内:岡野谷松兵衛御店兼中	新茶荷物出来たならば、大走りから積入れてほしい。当地相場も、古茶類相応に売捌いたので、きっと高値になると思う。	(旧目録P273)	原本	状	1	○	94
2417 L896	F 1	3月26日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・徳兵衛・久二郎 ●岡野谷松兵衛	先にお願ひした通り、相変わらずに大走りを多分に積送り願いたい。格別に働くので、荷物を私の店に振向けしてほしい。仕切も出精する。当年は、青製の茶を専門に扱う。値段も引立つように仕切る。	(旧目録P270)	原本	状	1		
2418 L516	F 1	3月28日	書状	○石上村:八左衛門 ●上河内村:岡の谷松兵衛	新茶仕入金を無心、金1分を取替え下さり、確かに受取る。又、例年の通り1両程無心したが、取替えていただけなかった。新茶も出来次第差上げるので、例年通り、金3分を取替え願いたい。昨年は、違作による高値につき、この金子無ければ、茶もできないので、よろしく。	(旧目録P288)	原本	状	1	○	94
2419 L517	F 1	3月28日	書状 (包紙あり)	○大伝馬一丁目:中村三郎差衛門(江戸茶問屋20軒仲間)・次助・佐吉 ●上川内村:岡野谷松兵衛	新茶の荷物出来たら、大走りより1番船で上・中・下共に積送ってほしい。当分、仕切も油断なく勤める。	(旧目録P272)	原本	状	1		
2420 L226	F 1	3月	覚	○住吉屋三郎、他7名 ●岡野屋松兵衛	住吉屋三郎「上茶4本、斎藤三右衛門船他3名に積送りさせている。以下、7名分の仕切本数、積送り内容を記す。	丁数45枚 (旧目録P230)	原本	綴り	1		
2421 L518	F 1	3月	書状	○藤原藤助・宗助・多七 ●岡野谷松兵衛	近頃は、小売筋も良くみえるが、新茶は別格であり、早々積送りを願う。	(旧目録P274)	原本	状	1		
2422 L634	F 1	3月	書状	○西村新次郎・平平衛・嘉兵衛 ●岡野谷松兵衛	当年の新茶の出来は良く、大走り時より追々積荷を願いたい。当地の相場については、古茶は相応に売捌くので、相場売付けを申上げ、なにとぞよろしく。	(旧目録P273)	原本	状	1		
2423 L921	F 1	閏3月4日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	新茶積出の依頼。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2424 L519	F 1	4月1日	書状	○西野平四郎・茂兵衛 ●岡野谷松兵衛	江戸長利様より、当年も茶荷物を送っていただきたいとのこと。新茶の様子はどうか、滝ノ谷・中里村の大走りを拝見した處、去年とは一テニノ口位。	(旧目録P273)	原本	状	1	○	94
2425 L80	F 1	4月2日	書状 (包紙あり)	○川根下泉村:勝山周助◎ ●岡野谷松兵衛	お茶前に金子入用多く、困っているので、金子20両を無心したい。先日、江戸より3月中に金子差し送ると手紙が届いた。金子も使いきったので、よろしく願いたい。他に、別家十兵衛方老母の死去を報せる書状。	(旧目録P284)	原本	状	2	○	94
2426 L635	F 1	4月2日	書状	○中村三郎右衛門◎(江戸茶問屋20軒仲間)・次助・茂助 ●岡野谷松兵衛	此の度、茶荷物が無事入庫した。その仕切については、出精するので、これからも積入れを願いたい。	虫損あり (旧目録P272)	原本	状	1		
2427 L783	F 1	4月2日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・惣兵衛・七兵衛・市兵衛 ●岡野や松兵衛	仕切目録・金子共に送ったので、入帳願いたい。今後共、荷物の積送を願う。	(旧目録P278)	原本	状	1		
2428 L245	F 1	4月4日	書状	○大伝馬一丁目:茗荷屋善五郎◎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・金藏 ●岡野屋松兵衛	9月の仕切が届いていない。途中紛失か間違いか心配であるので、飛脚に問い合わせたところ、別紙の目録書が届いたので、御覧願いたい。新茶の大走りを多分に積入れてほしい。	(旧目録P275)	原本	状	1	○	94
2429 L636	F 1	4月4日	書状	○上河内村:松兵衛、下泉村:四郎左衛門、堀の内村:孫四郎 ●石風呂村:作之右衛門、地名村:庄兵衛	茶一件について、嶋田宿宛屋に参会の廻文あり、私共4ヶ村ハ吟味済で除かれているので、参会を断る。飛脚をもって賞銭の請求があっても、これを断る。	(旧目録P223)	原本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()-干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2430 L897	F 1	4月4日	書状	○板屋與兵衛(得尾度茶問屋20軒仲間)・八兵衛 ●岡の谷松兵衛	この度の茶荷物も無事到着。別書差上げるので、帳面を引合わせてほしい。直、荷物を多分に積送り願いたい。入津の際は、油断なく出精するので、御支配願いたい。	(旧目録P250)	原 本	状	1		
2431 L81	F 1	4月6日	書状	○榎原藤助(江戸茶問屋20軒仲間)・惣助 ●岡の谷松兵衛	新茶も見事に出来、近く積出かと思う。出来次第、送ってほしい。仕切は、一入出精するので、よろしく。	(旧目録P274)	原 本	状	1		
2432 L246	F 1	4月7日	書状	○中村三郎右衛門・次助 ●岡の谷松兵衛	お茶の売りつけがなく、諸国では、荷物が沢山蔵請だが、仕切違いはない。何年も元値段により、早々に書類を送ってほしい。新茶荷付いては、別入置の旨、積送り願いたい。	虫損あり (旧目録P272)	原 本	状	1		
2433 L521	F 1	4月7日	廻状	○茶問屋行事 ●藤枝・伊久美・上河内他在在茶御荷主衆中	新茶内金は、大火のために万事遅延、なるべく盆前に送るので、御承知願いたい。春仕切も、鉄好きが遅れ御容赦願いたい。稀なこと、一同困惑している。	(旧目録P279)	原 本	状	1		
2434 L637	F 1	4月7日	書状	○小川:坂本藤四郎 ●岡野谷松兵衛	昨5日、帰宅。榎原・板谷両家への仕切は、富田まで送付。金子は渡さないで、承知されたい。長井利兵衛の件も、板谷と同様にしたのでお知らせする。	(旧目録P288)	原 本	状	1	○	94
2435 L714	F 1	4月8日	書状 (包紙入り)	○板谷與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州上河内:岡野谷松兵衛	新茶荷物のことは、委細申しているの、御承引願いたい。今年も、出来次第初者から積送り願いたい。入津すれば、駆け引きをして上値で売捌き、仕切状も積主案内次第に送る。	(旧目録P251)	原 本	状	1		
2436 L522	F 1	4月9日	覚	○原村:七右衛門 ●川内:松兵衛	18番1俵、受取られたい。使い:伊兵衛	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2437 L590	F 1	4月9日	書状	○住吉屋利三郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物、別紙の通り無事入津。次の荷物も多分に積入れ願いたい。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2438 L247	F 1	4月11日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・徳兵衛・平兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶積入れへのお礼。確かに受取ったので、帳面と引合わせてほしい。今後とも積送り願、受取分は出精して売捌く。	(旧目録P275)	原 本	状	1		
2439 L82	F 1	4月12日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・平兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	先便でも申上げたように、新茶の荷物もできたでしょうか、積入れを願いたい。入津の節は、出精するので、大走りから積入れてほしい。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2440 L248	F 1	4月12日	書状 (包紙あり)	○中条頼兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・弥兵衛・五兵衛 ●岡野谷松兵衛、藤枝瀬戸口:下田惣吉	新茶の大走り積送りへのお礼。無事入津したので、引合願いたい。尚、荷物出来次第、多分に送ってほしい。出精して売捌く。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2441 L431	F 1	4月12日	書状 (包紙あり)	○丸一 板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝:三度屋十兵衛、上岡野谷松兵衛	新茶荷物を当方へ送っていただきたい。当月1日に出帆、間もなく入津。この節、川崎・浜松でも積出出来るので、都合が出来次第、お出し願いたい。尚、当春も難船し、川根筋でも損失があるが、当方は心配ない。	(旧目録P251)	原 本	状	1	○	94
2442 L528	F 1	4月12日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・金七・忠七 ●岡野屋松兵衛	新茶の季節となり、荷物出来次第、積送り願いたい。当地の古茶も売られ、新茶は面白く売捌けるので、積送りをよろしく。	(旧目録P260)	原 本	状	1	○	94
2443 L523	F 1	4月14日	書状	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・古兵衛・定兵衛 ●岡の屋松兵衛	金子10両を送る。次の荷物は、出来次第、早船で積入れ願いたい。入津次第、金子を送る。	(旧目録P288)	原 本	状	1		
2444 L83	F 1	4月16日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・他2名 ●岡の谷松兵衛	荷物の仕切送付下ので、引合わせ願いたい。新茶も、追々送ってほしい。当年は一段と出精して売捌くので、多分に送ってほしい。	(旧目録P266)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()-干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2445 L249	F 1	4月16日	書状 (包紙入り)	○小津次郎左衛門◎(江戸茶問屋20軒仲間)・赤兵衛・久兵衛 ●岡野谷松兵衛、藤枝宿:健屋又助	新茶荷物の積送りのお礼。後の荷物も、出来次第積入れ願いたい。入津の案内を申し上げたく、手紙を差上げたもの。	(旧目録P256)	原本	状	1		
2446 L524	F 1	4月17日	書状	○小川:石神恵七郎 ●上河内村:岡野谷松兵衛	当年のお茶は、霜痛でできばえが不出来であることをお伝えする。	(旧目録P268)	原本	状	1		
2447 L84	F 1	4月19日	書状	○小津次郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)他3名 ●岡野谷松兵衛	待っていた新茶の大走りが入津した。いつもより一段と見事で有難く、相応の値段で売付けるので、安心願いたい。今後、出来次第、沢山振り向けてほしい。	(旧目録P256)	原本	状	1		
2448 L85	F 1	4月19日	書状	○住吉屋利三郎・儀兵衛 ●岡野谷松兵衛	この度の茶荷物も無事到着。後の荷物も追々積入れてほしい。	(旧目録P258)	原本	状	1		
2449 L86	F 1	4月19日	書状	○大傳馬老町目:茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)他1名 ●岡の谷松兵衛	この度の茶荷物も無事入津した。受取ったので、帳面を引合せ願いたい。今後も追々積送りよろしく。	(旧目録P275)	原本	状	1		
2450 L718	F 1	4月19日	書状 (包紙入り)	○伊勢町:中条瀬兵衛◎(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●駿州藤枝:三度屋十兵衛、岡野屋松兵衛	17日午の刻、小田原町2丁目より出火、巾5丁、長さ30丁ほど焼失。18日明け方に鎮火、当店と隣は無事。両3日のうちに、商売を始めるので、新茶大走りを沢山積入れてほしい。他に、長崎屋瀬兵衛他2名の同様の書状あり。	(旧目録P268)	原本	状	2	○	94
2451 L898	F 1	4月19日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・嘉兵衛・庄兵衛 ●岡野谷松兵衛	当月11日の書状拝見。金子入用により、30両を送付する。茶荷物も出来るだけ売捌くので、仕入れもよろしく。	(旧目録P254)	原本	状	1		
2452 L87	F 1	4月21日	書状	○喜太夫、久右衛門、作之右衛門、庄兵衛、六右衛門 ●笹間渡村、身成村、笹間下組、同上組、伊久美、鶴岡村、家山村、抜里村各々名主	今般、茶一件につき、江戸表両陣屋より17日、御用状到来。駿遠両国一同村々出会い相談をしたい。24日、嶋田兜屋市郎兵衛方へ印形持参の上、集ってほしい。この廻状、村々受印して早々順達を。	(旧目録P223)	原本	状	1	○	94
2453 L728	F 1	4月21日	書状	○板谷与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶積送りの荷物、無事入津した。この後の荷物送りを依頼。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2454 L638	F 1	4月22日	書状	○茗荷屋善五郎◎(江戸茶問屋20軒仲間)・伊八 ●岡野谷松兵衛	古茶売付け分の仕切、出精と引合わせ。何卒少しの利益があるように願いたい。新茶について、湊入りの荷物留置きがあり、少しも荷が入らない。荷物が入れば、仕切合勤めるので、送ってほしい。	被損あり (旧目録P276)	原本	状	1	○	94
2455 L899	F 1	4月22日	書状	○住吉屋利三郎◎(江戸茶問屋20軒仲間)・忠助 ●岡野谷松兵衛	茶荷物を確かにお受取る。内金に付き、金20両を送付したので、受取ってほしい。この後も、多分に積送り願いたい。	(旧目録P258)	原本	状	1		
2456 L88	F 1	4月24日	書状	○石神甚右衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	金子10両をお借りしたい。当年の新茶は、存外の高値、そちらはどうか。	(旧目録P289)	原本	状	1	○	94
2457 L89	F 1	4月24日	書状	○高柳:井本玄通 ●岡谷松兵衛	先日契約の煉茶の代金は、別紙にしたためたので、御覧願いたい。代金は、再便にて送るので、よろしく。追伸、市川氏は、病人で蛤蟻という茶を用いたので、取寄せ願いたい。この値段も再便で報せてほしい。40包蛤蟻一対。	(旧目録P284)	原本	状	1		
2458 L715	F 1	4月24日	書状	○石上清左衛門 ●上河内村;岡の谷松兵衛	青茶2本を当方で扱い、その値段を金3両2分くらいにしている。御地で、これくらいの値段で取引してくれるなら、お茶を送りたいと思う。見茶2つを送るので、披見の上、値段を報せてほしい。	(旧目録P289)	原本	状	1	○	94
2459 L716	F 1	4月24日	書状	○石上八左衛門 ●上河内村:岡野谷松兵衛	お茶2口1本、今日送るので、受取り願いたい。金子2分無心、何卒お取替え願いたい。茶荷物出来次第送るので、右の件よろしく。	(旧目録P2459)	原本	状	1	○	94
2460 L90	F 1	4月25日	書状	○恵市や宗治郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●上河内:岡野屋松兵衛、駿州藤枝:健屋又兵衛	荷物入手の報告。昨冬から不景気で、品物売惜しみか、思いの外、延引となっている。出精するので、出荷願いたい。	(旧目録P257)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2461 L525	F 1	4月26日	書状 (包紙入り)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	新茶の荷物入津したが、扱いを粗末にしないで大切に扱ってほしい。当春1分半、荷物充通して人気を引上げて、この次は損失となる。何卒、積の格好良く、仕入れ時も工夫してほしい。まずは、新茶を送ってほしい。	(旧目録P263)	原本	状	1	○	94
2462 L900	F 1	4月26日	書状	○ぬくり・善之助、使い源蔵 ●松兵衛(後欠)	上茶3本、中茶2本半、受取り願いたい。昨日、無心の通り、金3両を借してほしい。荷物は、今日中に送る。	(旧目録P289)	原本	状	1		
2463 L92	F 1	4月26日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵・彦平 ●岡の谷松兵衛	新茶を送ってほしい。金子は、もう少し待ってほしい。当地の成行きは、米穀も高値で、諸色取引なく、万事不景気で困っている。古茶も売れ残り、新茶も大捌きはないと思う。3、4両の金子で生元の取引を願う。	(旧目録P263)	原本	状	1	○	94
2464 L459	F 1	4月	茶仕切之事 小判六拾匁割	○富田利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	「上茶1本の代金1両6分1厘、これより諸経費を差引き、金3分10匁7分6厘の仕切。	(旧目録P238)	原本	状	1		
2465 L717	F 1	4月	書状	○長しま屋善右衛門 ●岡野屋松兵衛	新茶の取引を専一に考えているので、茶荷物を多分に積送り願いたい。勿論、仕切を出積する。	(旧目録P269)	原本	状	1		
2466 L901	F 1	4月	御茶入日記	○岡野谷倉松 ●長崎屋瀬兵衛	お茶麒麟山1櫃、正味13貫500目。右の通り。	(旧目録P289)	原本	状	1		
2467 L483	F 1	閏4月4日	書状	○みょうがや善五郎(伊八) ●岡野谷松兵衛	新茶荷物、海上無事入津、別紙の通り確かに受取ったので、帳面と引合願いたい。尚、後の荷物も追々積送り願いたい。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2468 L639	F 1	閏4月9日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・庄吉・重兵衛 ●岡野谷松兵衛	先日、積送りの茶荷物について、別紙の通り仕切目録を認めたので、帳面を一覧願いたい。尚又、新茶が入津していないので、多分に積送り願いたい。	(旧目録P255)	原本	状	1	○	94
2469 L873	F 1	閏4月9日	書状 (包紙あり)	○本町四丁目・長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・宇兵衛 ●駿州堀田・岡の谷松兵衛	利兵衛老衰のため、宇兵衛が変わって万端御世話するので、これまでと変わらず、荷物を多分に積送り願いたい。	(旧目録P261)	原本	状	1		
2470 L93	F 1	5月2日	書状	○平口七郎左衛門 ●岡の谷松兵衛	度々のことで申しかねるが、金子2両拝借願いたい。その理由を尋ねられても、何もかも足らぬだけである。	(旧目録P131)	原本	状	1		
2471 L94	F 1	5月2日	去年分茶金請取状・覚状 (包紙2あり)	○(受取状)大森秋右衛門、(覚状)上河内・松兵衛 ●(受取状)松兵衛、(覚状)大もり・助右衛門	茶金を受取った。利息を金3分預かるところ、金1分2朱を受取り、残り1分2朱は「かやや」から受取り願いたい。宇治製のお茶4本の代金11両1分1朱、内金1両1朱は直渡しとし、請金10両は10月払いの積りであると申合せた覚状(辰4月20日の日付)。	(旧目録P289)	原本	状	2	○	94
2472 L250	F 1	5月2日	書状	○抜里村・龜吉 ●岡野谷松兵衛	吉五郎の使いで、金3両の無心を叶えていただき、幸いです。急ぎ、茶を買って差上げます。先々月15日、颯が家山の吉右衛門に駆落ち、手間取ってやっど先月時分までに茶の揃取が終わったところ。彦太夫茶1本半を差上げたので、受取り願いたい。去る暮れの無心は、茶代で差引願いたい。	(旧目録P289)	原本	状	1	○	94
2473 L526	F 1	5月2日	書状	○板谷興兵衛他2名 ●岡野屋松兵衛	この度、茶荷物を送っていただき、無事入津。帳面と引合せを願ひ、次の荷物も送ってほしい。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2474 L640	F 1	5月2日	書状 (包紙あり)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	先日、積送りの茶荷物について無事入津。帳面と引合わせ願いたい。後の荷物をよろしく。入津の折は、油断なく売捌くので、御支配の程、よろしく願いたい。	(旧目録P263)	原本	状	1		
2475 L255	F 1	5月4日	(覚)	○長井利兵衛、若荷屋善五郎等他 ●岡野谷松兵衛	お茶の銘柄と数量を記し、無事入津したことを報せる。5月より11月までの記録(状24通)。	(旧目録P)231	原本	綴り	1		
2476 L641	F 1	5月6日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡野屋松兵衛	茶荷物が入津したので、引合わせ願いたい。尚、内金20両を送付下ので、御手いいただきたい。荷物も、多分に積送りいただくよう御支配ください。	(旧目録P270)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 西暦()・干支	年月日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2477 L902	F 1		5月6日	書状 (包紙あり)	○茶問屋行事(角印) ●身成村:平口五郎右衛門、平口伊七、岡野松兵衛、西野平四郎、同平蔵、坂本藤四郎	当地の茶相場に付いて、御承知のことと思うが、高値後故、多分の損にならないよう出精して勤めたいが、菟角人々が引立てないので、利足の積上げが出来難い。	(旧目録P280)	原本	状	1	○	94
2478 L96	F 1		5月8日	書状 (覚書あり)	○中条瀬兵衛(長崎屋、江戸茶問屋20軒仲間) 他2名 ●岡野谷松兵衛	過日積入れのお礼。金子は9日便で送付する。極生もの4貫以上は、残らず当店へ振向けてほしい。宇治製も走りの内はよいので、積入れ願いたい。この度の金子は、外便で送るが、注文もあるので、御覧いただきたい。	(旧目録P270)	原本	状	1		
2479 L308	F 1		5月8日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・平七・源助 ●岡の谷松兵衛	新茶出来次第、多分に積入れ願いたい。入津の節は相働き、仕切差上げるので、何卒大走りを積入れてほしい。内金は、別紙で送る。	(旧目録P269)	原本	状	1		
2480 L527	F 1		5月8日	書状 (袋入り)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州上河内:岡の谷松兵衛	早便にて注文をお願いする。新茶荷物、急入用。格別の値段で仕切り可能であるので、川柳類は当店に全て振向けてほしい。	(旧目録P251)	原本	状	1	○	94
2481 L903	F 1		5月8日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	先の茶荷物の仕切書を送る。昨年は、茶相場が大下落で残念。但し、新茶は、別格であり、後荷をよろしく。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2482 L904	F 1		5月9日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	積荷到着の報せ。	(旧目録P270)	原本	状	1		
2483 L905	F 1		5月9日	書状	○板や與兵衛 ●岡野や松兵衛	茶荷物入津、後荷の支配依頼。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2484 L97	F 1		5月12日	書状	○小津治郎左衛門(江戸茶問屋20軒仲間)・庄兵衛・傳兵衛 ●岡野谷松兵衛	新茶走り物、無事入津。別紙参着の折、引合を願う。後の荷物、出来次第6貫目前後のものを沢山振向けてほしい。金子は、後便で送る。	(旧目録P256)	原本	状	1		
2485 L251	F 1		5月12日	書状	○若荷屋善五郎・安兵衛 ●岡野松兵衛	この度の積荷物、無事入津、水揚受取る。帳面に引合わせを願う。今後も積送り願いたい。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2486 L252	F 1		5月12日	入津覚	○大橋太郎治郎、中条瀬兵衛他 ●「上	お茶の銘柄を記載し、無事荷物が入津下ことを報せる。	26枚綴り (旧目録P230)	原本	綴り	1		
2487 L642	F 1		5月12日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・孝兵衛 ●岡野谷松兵衛・松助、駿州藤枝、鍋屋又助	茶荷物の積入れのお礼。別紙便で50両を送付するので、受取り願いたい。荷物も多分に積入れてほしい。	(旧目録P255)	原本	状	1	○	94
2488 L729	F 1		5月12日	書状	○長井利兵衛・代字兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	先に積入れの茶荷物、無事着船。仕切書着き次第、受取り引合わせ願いたい。後荷もよろしく。	(旧目録P263)	原本	状	1		
2489 L98	F 1		5月14日	書状	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡野谷松兵衛	積送り野茶荷物、無事入津。別紙を送ったので、参着次第に帳面に引合わせ願いたい。後々の荷物、相変わらず多分に御支配を仰付けください。	(旧目録P255)	原本	状	1		
2490 L253	F 1		5月14日	書状	○住吉屋利三郎 ●岡野谷松兵衛	新茶の発送を願ったが、出荷案内がない。金10両を前金地して送るので、荷物を沢山手配してほしい。当店名代の松兵衛に不埒あり、暇を取らせた。	(旧目録P258)	原本	状	1	○	94
2491 L529	F 1		5月14日	書状	○若荷屋善五郎 ●岡野松兵衛	この度の積荷物、無事入津、水揚受取る。帳面に引合わせを願う。今後も積送り願いたい。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2492 L906	F 1		5月14日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・安兵衛・久兵衛 ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事水揚し、油断なく掛引きをして売捌く。後荷物も追々積送り願いたい。内々に仰せの件、承知。金20両を送る。	(旧目録P266)	原本	状	1	○	94
2493 L600	F 1		5月15日	積付覚	○焼津湊:村松惣五郎(●) ●岡谷松兵衛、石神多吉	「上のお茶4本、江戸茶問屋行きの手船惣右衛門乗りに積み入れたこと覚。	(旧目録P227)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2494 L643	F 1	5月15日	書状	○平口五郎右衛門 ●岡野谷松兵衛	長崎屋瀬兵衛よりの金子50両、私方にて預かった旨を報せる。	(旧目録P289)	原 本	状	1	○	94
2495 L907	F 1	5月15日	書状	○西野平蔵 ●岡野谷松兵衛	江戸で茶入用とのことで、早速聞合せて用意したが、飛脚より貰った仕切書がない。多分急用の時、1貫文が凡そ200文で預かっているの、直接現金で送る。当年も早船などで悪く、不景気で困っている。値も下がっている。	(旧目録P289)	原 本	状	1		
2496 L530	F 1	5月16日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・幸兵衛・庄兵衛・傳兵衛 ●岡野谷松兵衛	いつも茶荷物を当方に廻していただき、有難い。荷物の内金として、別紙の通り送ったので、受取り願いたい。後荷物もよろしく。	(旧目録P278)	原 本	状	1		
2497 L730	F 1	5月16日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・金蔵 ●岡の谷松兵衛	積送りいただいた新茶荷物、無事入津。別紙の通り受取り、後荷のみ入れを願う。	(旧目録P276)	原 本	状	1		
2498 L959	F 1	5月16日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・才兵衛・半平衛 ●岡野谷松兵衛	(前欠)。茶荷物お送りいただき、ありがたい。別紙の通り無事入津、水揚げ、安心を。後荷物も多分に積入れ願う。仕切も一努力する。	(旧目録P267)	原 本	状	1		
2499 L644	F 1	5月18日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・又兵衛・市助 ●岡野谷松兵衛	この度の積荷物、無事入津、水揚受取る。帳面に引合わせを願う。今後多分に積送り願いたい。	(旧目録P276)	原 本	状	1		
2500 L731	F 1	5月18日	書状	○長井利兵衛・代字兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵 ●岡の谷松兵衛	茶荷物積方、千万忝い。後々の荷物も多分に積送り願いたい。今年、は、諸国不作の由。今般、積方沢山願いたい。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2501 L95	F 1	5月19日	書状	○大橋太郎次郎他2名 ●岡野谷松兵衛	積荷到着の報告。	(旧目録P255)	原 本	状	1		
2502 L908	F 1	5月19日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	(前欠)。茶荷物入津の報告と後荷の依頼。	(旧目録P276)	原 本	状	1		
2503 L592	F 1	5月22日	書状	○浅野永八郎 ●岡野谷松助	例年のように、6月中に津島坂田七大夫が御尊家に止宿の予定。一報いただきたい。返事を待っている。近頃、お茶が下値。1朱を送るので、送ってほしい。都合悪ければ、来月でもよい。	(旧目録P281)	原 本	状	1		
2504 L101	F 1	5月29日	書状	○善五郎(茗荷屋カ)・伊八 ●岡野谷松兵衛	この度、積送りいただいた茶荷物が、事故もなく入津、水揚げ、確かに受取る。別紙送付するので、帳面に引合せて御覧いただきたい。後荷物も多分に積送り願いたい。当方も、油断なく出精する。	(旧目録P281)	原 本	状	1		
2505 L102	F 1	5月29日	書状 (包紙入り)	○茶問屋行事 ●駿州藤枝:健屋又四郎、西野平四郎、茶荷主衆中	当年は、すべからず気候あしく、はかばかしく売捌きが出来ない。相場も大不景気で、一同迷惑している。相場が引上がらなければ、商売が成り立たない。このことを通知しておく。	(旧目録P280)	原 本	状	1		
2506 L645	F 1	5月29日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・彦兵衛・芳兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物入津、別紙の通り印付参着次第、帳面と引合せ願いたい。後荷も相変わらず沢山積送りしてほしい。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2507 L256	F 1	6月2日	書状・覚	○大伝馬:小沢次郎左衛門(弥兵衛・庄兵衛・文兵衛) ●岡野谷松兵衛	例年のように、多分に金子を送付したが、どういことか。多量のお茶を振向けて貰えると思っていたのに、残念。例年の通り、積送り願いたい。覚として、金10両を送付するので、受取ってほしい。	(旧目録P256)	原 本	状	1		
2508 L103	F 1	6月2日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・武助 ●岡野谷松兵衛	お茶の成行き、新茶も面白くなく、困っている。出精し仕切目録をおくるので、荷物を当方に廻してほしい。入津次第、内金を差上げる。	(旧目録P278)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 年区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2509 L531	F 1	6月2日	書状 (包紙入り)	○南新堀一丁目:住よしや利三郎・儀兵衛 ●駿州川根:岡野谷松兵衛	当年も変わらず、新茶積送りありがたい。この度、金20両を送付したので、受取り願いたい。後荷物も多分に積送りしてほしい。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2510 L532	F 1	6月2日	書状	○板屋奥兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他1名 ●岡ノ谷松兵衛	古茶の仕切催促の通知を受けたが、今春、伊勢・上方筋へ登り、不在して連絡しなかった。15両送るので、茶の積出しを願う。	(旧目録P281)	原 本	状	1		
2511 L646	F 1	6月2日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・平兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	新茶積送りのお礼。内金10両送付するので、入手願いたい。存外に高値で売れるので、多くの荷物を送ってほしい。霜あたりで出来方延びてもよろしく。荷物入れば、金子すぐを送る。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2512 L732	F 1	6月2日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・武助・幸兵衛 ●岡野屋松兵衛・松五郎	先の書状行違ひにより、5月26日に差送るのでよろしく。又、新茶が入津されないが、着き次第、油断なく支配する。近年まれなる気配よく、当店もひとときは出精するので、後承引願いたい。	虫撰甚大 (旧目録P279)	原 本	状	1		
2513 L909	F 1	6月2日	書状	○富田利兵衛 ●岡野谷松兵衛	古茶荷物の仕切を送るが、出精しても景気悪く、引合も心配。少しでも利益でよう、取計うので、荷物を沢山送ってほしい。	(旧目録P260)	原 本	状	1		
2514 L104	F 1	6月4日	書状	○西の平蔵 ●岡野谷松兵衛	茶問屋のこと。江戸深川連州や与右衛門の手紙には、富田・イタヤ・山本・長井の4件は、今年限りと言うが、決して心配はない。	(旧目録P223)	原 本	状	1		
2515 L910	F 1	6月4日	書状	○長井利兵衛他1名 ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物が入津下ので、荷受書に押印して送る。後荷物の積送りを願う。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2516 L106	F 1	6月6日	書状 (包紙入り)	○大橋多郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の屋松兵衛・松五郎	茶荷物の積送りのお礼。後荷物も多分に任せていただきたい。	(旧目録P255)	原 本	状	1		
2517 L258	F 1	6月7日	書状	○長井利兵衛代卯兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	見事な新茶の積送り、ありがたい。内金10両を送付。後荷物の積送りを願う。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2518 L784	F 1	6月9日	書状	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・七兵衛・和兵衛・市兵衛 ●岡野谷松兵衛	今般、仕切書を送付。引合わせを願う。後荷物の積送りをよろしく。	(旧目録P279)	原 本	状	1		
2519 L911	F 1	6月9日	書状	○中条瀬兵衛他2名 ●岡ノ谷松兵衛	荷物請取書の送付。後荷物の依頼。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2520 L955	F 1	6月9日	小宮廻文写	○茶問屋行司印 ●藤枝・上河内:茶御荷主衆中	積送り後、荷物の目乱れについて、200~300の目切が500~600の目切では、大迷惑。問屋中から掛けあいあり、この件に付き、お考えを得たい。	(旧目録P294)	原 本	状	1	○	94
2521 L912	F 1	6月10日	書状	○大橋太郎次郎他2名 ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物入津に付き、受取書を送付。平口五郎右衛門の荷物に付き、内金50両を送付する。	(旧目録P255)	原 本	状	1		
2522 L107	F 1	6月11日	覚	○柚や四郎右衛門 ●河内:岡野谷松兵衛	からし俵の受取り。1石2斗3升、10貫809文渡し。	(旧目録P163)	原 本	状	1		
2523 L913	F 1	6月11日	書状	○西の伝差衛門 ●岡ノ谷松兵衛	今日、小川伝兵衛が来て、お茶8本を注文。うち1本は当方にあり、小川の都合で代金8両程の売値でお取り願う。駄賃1朱程で買入れ、詳細は後日申上げる。	(旧目録P289)	原 本	状	1		
2524 L257	F 1	6月12日	書状	○長井五郎治郎代多兵衛 ●岡野谷松兵衛	江戸の茶相場は、去年より低い。当方の販売は、精一杯頑張るが、御地の買入値が高くては、どうにもならない。もう少し、安価で仕入れてほしい。金子10両を送付する。	虫撰・字欠あり (旧目録P263)	原 本	状	1		
2425 L533	F 1	6月13日	書状 (包紙あり)	○記載なし ●記載なし	包紙の1つに、差出人西野平蔵、宛名上河内岡野谷松兵衛。他の1つに、差出人麦田仁右衛門、宛名伊久美村助右衛門。江戸不景気につき、材木山林に話が移る。	(旧目録P289)	原 本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2526 L915	F 1	6月13日	送状	○二又:千太郎、ぬくり:小玉善之助 ●遠州上河内:岡野谷松兵衛	お茶2本を受取ってほしい。この見せ茶2本口は、値段は難しく、今まで取引しなかったのは、高値のため。追伸、先に約束の金3両を貸していただきたい。茶は、すぐに送る。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2527 L914	F 1	6月13日	(茶葉買取覚)	○記載なし ●記載なし	(生産者)文四郎・平右衛門・平五郎・弥右衛門・伝吉・茂吉・「正・石神からの茶買取覚。金5両渡す。	(旧目録P289)	原 本	横 帳	1		
2528 L105	F 1	6月15日	覚	○瀧五郎 ●松兵衛	6月15日、茶14本。使い親方喜右衛門、熊八。確かに受取る。	(旧目録P289)	原 本	状	1		
2529 L108	F 1	6月16日	書状 (包紙あり)	○中条瀧兵衛・嘉兵衛・太兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物の積送りのお礼。この後も、多くの荷物を送付願いたい。当方、油断なく売捌く。6月22日付の書状は、同じ内容。差出人に、長崎瀧兵衛・才兵衛・重兵衛の名あり。	(旧目録P267)	原 本	状	2		
2530 L534	F 1	6月17日	書状	○ぬくり:小玉善之助、身成:使い、藤蔵 ●上河内村:岡ノ谷松兵衛	先のお茶、1口3本、差上げるので、よろしく。荷物の代金3両、無心願いたい。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2531 L17	F 1	6月18日	覚	○地名村:惣代庄兵衛 ●(笹間渡・身成・彌洲・伊久美・笹間)村々名主 組頭衆中	茶一件入割賦の内、受取り残金があるが、組合への出金が不足して差支えている。取集めに、当月3日、日向村五兵衛、浅田屋清右衛門が私方に逗留し、回ってくれている。なかなか集金できない。第一江戸表の差支え、大切な御用向も動まらない。20日までに、残らず出金願いたい。	(旧目録P226)	原 本	横 帳	1		
2532 L917	F 1	6月19日	書状	○長崎屋瀧兵衛 ●岡の谷松兵衛	荷物が無事入津。沢山入津の時は、油断なく売捌くので、後の荷物もよろしく。	(旧目録P257)	原 本	状	1		
2533 L109	F 1	6月22日	書状 (包紙入り)	○大橋多郎次郎@ (江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝宿下伝馬町:健屋亦助、同州瀬戸 口:下田惣吉、同州上川内:岡野谷松兵衛	6月18日付で、先に送られたという金子が届かない。途中にて紛失か、入手できなくて難儀しているとのこと。金子50両を送付する。江戸出は売行き良からず、地元では下値でお茶を買入れてほしい。覚書きあり。	(旧目録P255)	原 本	状	2	○	94
2534 L535	F 1	6月22日	書状	○長崎屋瀧兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・利兵衛・ 吉兵衛 ●岡の谷倉松	茶荷物積送りのお礼と入津の荷物差寄せた旨の連絡。後荷も多分に積送りよろしく。	(旧目録P267)	原 本	状	1		
2535 L734	F 1	6月22日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・孫兵衛 ●岡の谷松兵衛	新茶大走りより、追々荷物積送りへのお礼。無事入津につき、別紙印付して送るので、着き次第に引合わせを願いたい。後荷も油断なく出精するので、よろしく。	(旧目録P251)	原 本	状	1		
2536 L918	F 1	6月22日	書状	○中条瀧兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物入津したので、受取った。後荷物も、よろしく。	(旧目録P270)	原 本	状	1		
2537 L647	F 1	6月23日	書状	○ぬくり:小玉善之助 ●岡野谷松兵衛	先の茶荷物3口いただき、2買目の不足分あり。これを他から足し茶として補った。この件について、その望み次第送るので、御承知願う。金子3両を渡し、これは無借金として御預り願いたい。	(旧目録P290)	原 本	状	1	○	94
2538 L648	F 1	6月24日	書状	○岡野谷松兵衛他11名(茶荷主) ●松村惣兵衛他4名(船主衆カ)	(前欠)、掛合があつたが、承知しているか。承知無ければ、早く掛合うべし。当組よりも掛合に及ぶ(茶問屋行司より藤枝・伊久美衆へ)。荷主より船方への連名では、船方の者が不正をして、茶をき取っているのではないか、との内容からなる。	(旧目録P290)	原 本	状	1	○	94
2539 L649	F 1	6月24日	書状 (包紙あり)	○下泉村:勝山周助 ●岡野谷松兵衛	先日引合の茶荷物、津出し延引。右荷物、当月24日に津出。附書は、身成の平口五郎右衛門と金谷吉川五郎右衛門に依頼。	(旧目録P290)	原 本	状	1	○	94
2540 L111	F 1	6月26日	口上	○ぬくり:八左衛門 ●「上	お茶を持参して差上げるべきだが、手回り兼ねるので、荷物で送る。追々お会いに行かせるので、よろしく。今回、差上げる茶は、三本で代金2両1分と5本で3両2分。買入取決めを願う。	(旧目録P290)	原 本	状	1	○	94

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原 厚区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2541 L254	F 1	6月26日	入津訃覚	○長崎瀬兵衛・利兵衛・彦兵衛 ●岡の谷倉松	茶銘柄麒麟山、無事入津したので、御安心を。後荷物、多分に積入れてほしい。	(旧目録P231)	原 本	状	1		
2542 L448	F 1	6月26日	廻文	○坂本精兵衛、西の民蔵 ●杉山六郎兵衛、西野平四郎、同平蔵、福井久左衛門、西野増右衛門、坂本藤四郎、石神甚左衛門、岡野谷松兵衛、平口五郎右衛門、森本兵右衛門	この度、万助・忠四郎の入津の荷物に、荷痛分があり、これを問屋が預かった。浜方惣代・問屋等が立合い、改めたが、問屋方で裏操作したのか、色々問題となる。走り荷物よりこれまでの入津の分、問屋は無事受取るにも拘らず、問屋方は横面を改める。このこと厳しく掛合う。	(旧目録P290)	原 本	状	1	○	94
2543 L919	F 1	6月26日	書状	○伊豆屋利三郎・弥兵衛・儀助 ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事水揚げしたので、安心されたい。金10両を内金として送付。後荷物も、なるだけ売捌くので、荷物の御支配をよろしく。	(旧目録P258)	原 本	状	1		
2544 L920	F 1	6月26日	書状	○長崎屋瀬兵衛(中条、江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	新茶が無事水揚げされた。後荷物も多分に送付されたい。	(旧目録P267)	原 本	状	1		
2545 L112	F 1	6月27日	おぼへ	○八左衛門 ●「上(岡野谷)	お茶荷物15本口、代金11両1朱。確認の上、買取願いたい。それが困難ならば、口わけにて直値を付ける。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2546 L259	F 1	6月28日	書状	○竹之鼻清左衛門 ●上河内村:岡野谷彦兵衛	茶代金、確かに受取る。今後、茶取引荷物あれば、差上げる。値段は、貴方の働き次第で、いずれ内金として3両借用したい。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2547 L260	F 1	6月29日	書状 (包紙入り)	○住吉弥利三郎(江戸茶問屋20軒仲間)・儀兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物、無事入津。後荷物を多分に送付願いたい。柳沢太右衛門船茶1本他、確かに受取る。	(旧目録P231)	原 本	状	2		
2548 L261	F 1	6月29日	口上・覚	○ぬ 八左衛門(ぬ:ぬりか) ●「上	今まで買い茶一切なかったが、今後は是非共お買入願いたい。お茶10本半の代金8両2分1朱は差直。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2549 L536	F 1	6月29日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・吉平・久平 ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付のお礼。無事入津したので、別紙の通り、印付差上げる。荷物大切に売捌くので、後荷物送付よろしく。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2550 L650	F 1	6月29日	書状 (包紙入り)	○伊久美:西野平四郎 ●上河内:岡野谷松兵衛	この度、やむを得ず無心。中山にある茶荷物を買入れて、25両計りの都合を、1ヶ月中の立替で願います。	(旧目録P290)	原 本	状	1		
2551 L735	F 1	6月29日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵・彦口 ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津。後荷物の送付を依頼。	(旧目録P263)	原 本	状	1		
2552 L651	F 1	6月晦日	書状	○泉村:四郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	先日、茶一件雑用の事について、九郎右衛門他が巡廻し、出金の催促をした。当村では、出金しなかったが、出金分5両1分の内、3両余を村入用で立替、残金2両の催促あり。他村の状況を見届けたい。	(旧目録P226)	原 本	状	1	○	94
2553 L115	F 1	7月2日	入津覚 (包紙あり)	○小澤次郎左衛門 ●岡野谷松兵衛	「上印3本、他2種、無事入津、受取る。	(旧目録P231)	原 本	状	1		
2554 L537	F 1	7月2日	書状 (包紙あり)	○坂屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・庄兵衛・春兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	この度、積送りの茶荷物、無事入津。横面に引合御覧いただきたい。後荷物も出精するので、早々に積送り願いたい。	(旧目録P251)	原 本	状	1		
2555 L652	F 1	7月2日	書状	○若荷屋善五良@ (江戸茶問屋20軒仲間)・伊八 ●岡ノ谷松兵衛	この度、積送りいただいた茶荷物、無事水揚げし、確かに受取る。この後も追々沢山積入れてほしい。	(旧目録P276)	原 本	状	1		
2556 L653	F 1	7月2日	書状	○棟原藤助(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	3人の船で茶荷物、入津。後荷物の依頼。	(旧目録P231)	原 本	状	2		
2557 L736	F 1	7月2日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・才兵衛・半兵衛 ●岡の谷松兵衛	積入れの茶荷物、無事入津。後荷物もよろしく。	(旧目録P267)	原 本	状	1		
2558 L922	F 1	7月2日	書状	○大橋太郎次郎 ●岡野谷松兵衛・松助	茶荷物、無事入津、安心を。中・下の品は多く残るので、外へ振向けてほしい。多用で仕切も届かないが、金値早々取調べる。	(旧目録P255)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2559 L449	F 1	7月4日	書状	○茶間屋老番組行事 ●橋本直吉、大吉屋吉兵衛、西野平四郎、同平 藤、同増右衛門、石神甚左衛門、坂本藤四郎、 福井久左衛門、西野茂兵衛、岡の谷松兵衛、平 口五郎右衛門	茶荷物任せのお礼。茶相場について、この春以来安心できないで不 安。御承知の通り、不景気で先月中旬以後は更に買人もいないで心 痛。渡世向きに難儀。秋仕切は出来ないかもしれない。	(旧目録P280)	原本	状	1	○	94
2560 L654	F 1	7月4日	書状	○善之助 ●「上	先日の茶荷物半本を送付。値段は、1本3分2朱割でお願いしたい。且 又、金2両は、使者の仙蔵に渡してお貸し願いたい。	(旧目録P281)	原本	状	1		
2561 L737	F 1	7月4日	書状	○大伝馬老丁目：茗荷屋善五郎(江戸茶間屋 20軒仲間)・伊八 ●岡野屋松兵衛	この度、積送りの茶荷物、無事入津。別紙の通り受取ったので、帳面と 引合わせ願いたい。後荷物のこともよろしく。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2562 L538	F 1	7月5日	書状	○二又：西の平兵衛・民蔵 ●上河内：岡野谷松兵衛	先日、書面でお願した買入茶につき、仕入方が減り、遠州辺の買入 にも手支え。民蔵が外で繰合わせて100本も積出したが、金子が入ら ない。	(旧目録P290)	原本	状	1	○	94
2563 L655	F 1	7月5日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)・利兵衛・ 吉兵衛 ●岡の谷倉松江戸茶間屋20軒仲間)	茶荷物を沢山送っていただき、海上無事到着。出精して売捌くので、 多分の積入れを願いたい。	(旧目録P267)	原本	状	1		
2564 L923	F 1	7月5日	書状	○斎藤清左衛門 ●岡野谷松兵衛	茶荷物、無事入津。後荷物も出来るだけ早く津出し願いたい。	虫喰甚大 (旧目録P281)	原本	状	1		
2565 L539	F 1	7月6日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)・久次郎・ 吉兵衛 ●岡の松兵衛	いつも変わりなく、茶荷物の積送りにお礼。無事入津したので、報告。 後荷物も多分によろしく。	(旧目録P270)	原本	状	1		
2566 L656	F 1	7月6日	書状	○長井利兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	先日積送りの茶荷物、無事入津。別紙印付、帳面に引合わせを願う。 後荷物も多分に積送り願いたい。	(旧目録P264)	原本	状	1		
2567 L924	F 1	7月6日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶荷物無事入津。後荷物の送付を願う。	(旧目録P267)	原本	状	1		
2568 L925	F 1	7月6日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶荷物送付のお礼。内金10両送付。茶の上・中をなるべく沢山、送付 願いたい。5貫から6貫くらいは、多分に入用。	被損あり (旧目録P267)	原本	状	1		
2569 L116	F 1	7月8日	書状 (包紙あり)	○板屋与兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	先日送付の茶荷物、海上安全にて到着。帳面と引合せを願う。後荷物 の積込みもよろしく。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2570 L117	F 1	7月9日	書状 (包紙あり)	○中条瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)・新兵衛・ 源助 ●岡のや松兵衛	茶荷物、無事入津、安心を。後荷物も沢山送付願いたい。	(旧目録P271)	原本	状	2		
2571 L541	F 1	7月9日	書状	○長崎瀬兵衛(江戸茶間屋20軒仲間)・与助・平 七 ●岡野谷松兵衛	茶荷物積送りのお礼。入津分は別紙の通り、確認を。後荷物も積送りよ ろしく。	(旧目録P267)	原本	状	1		
2572 L263	F 1	7月11日	覚	○西野庄蔵 ●上河内：岡野屋御氏	お茶3本は、木町長五郎から貰請分、今日1本請取。代金5両を送付し たので、確認を。	(旧目録P291)	原本	状	1		
2573 L118	F 1	7月12日	入津覚	○山本(角印、山本嘉兵衛、江戸茶間屋20軒仲 間) ●岡野谷松兵衛	「上印お茶、無事入津の報せ。	(旧目録P231)	原本	状	1		
2574 L119	F 1	7月16日	覚	○長井利兵衛(角印、江戸茶間屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	「上印お茶他、無事入津の報せ。	(旧目録P264)	原本	状	1		
2575 L264	F 1	7月16日	年賦金返済延引願	○岡野谷松兵衛 ●西野平蔵	惣右衛門方の年賦金延引は、とても難しい。当年、茶は下値で望みも 低い。私方の抱積が始まり、子どもまで煩い、お見舞いいただき、ありが たい。	(旧目録P134)	原本	状	1		
2576 L926	F 1	7月16日	書状	○板屋与兵衛(江戸茶間屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶荷物入津、押印の上、送る。後荷物もよろしく。	(旧目録P251)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・ 写区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2577 L540	F 1	7月19日	書状 (包紙あり)	○小津次郎左衛門・弥兵衛・庄兵衛・文兵衛 ●岡野谷松兵衛	○積送りの茶荷物、無事入津の報せと後荷物出来次第送付の依頼。	(旧目録P256)	原 本	状	1		
2578 L542	F 1	7月19日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・吉兵衛・久兵衛 ●岡の谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。別紙印付して送るので、帳面と引合を願う。後荷物もよろしく。	(旧目録P264)	原 本	状	1		
2579 L658	F 1	7月19日	覚 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	柳津(焼津カ)からの積荷と積込船の明細。	(旧目録P255)	原 本	状	1		
2580 L659	F 1	7月19日	覚 (包紙あり)	○本町四丁目:大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●上河内:藤田作兵衛	積荷物の品名と積込船の名。無事入津、確かに受取る。焼津伊八船。	(旧目録P255)	原 本	状	1		
2581 L927	F 1	7月19日	書状	○長井五郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津。残りの荷物も無事入津すると思っている。	(旧目録P264)	原 本	状	1		
2582 L928	F 1	7月19日	書状 (包紙あり)	○伊勢町道浄橋:中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文兵衛・善兵衛 ●岡野谷松兵衛、駿州藤枝:三度屋重兵衛	当店では、田舎が得意で、例え値段が下がっても、相場に拘らずに働く。今後10両の前金でお届けするので、入帳願いたい。	(旧目録P271)	原 本	状	1		
2583 L113	F 1	7月22日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・斉兵衛・善兵衛 ●岡の谷松兵衛	積入れの茶荷物、無事入津。後荷物も多分に積入れ願う。仕切もなるべく出精する。	(旧目録P267)	原 本	状	1		
2584 L543	F 1	7月22日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・久次郎・吉兵衛 ●岡野屋松兵衛	茶荷物、相変わらず当方に支配仰付けられ、感謝。別紙の通り、無事入津した。これからも相変わらずに送付願いたい。	(旧目録P271)	原 本	状	1		
2585 L660	F 1	7月22日	書状	○石上村:清左衛門長井利兵衛 ●上河内村:岡野谷松兵衛	中茶1本、送付したので受取り願いたい。金子3両、入用のため、お取替を願う。お茶は、なるべくよい値で買って頂きたい。その金子の残りでお取替の金子に替えてほしい。	(旧目録P291)	原 本	状	1	○	94
2586 L739	F 1	7月22日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵 ●岡野屋松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津。別紙の通り印付、帳面と引合願いたい。後荷物も出精して売捌くので、よろしく。	(旧目録P264)	原 本	状	1	○	94
2587 L738	F 1	7月22日	書状 (包紙あり)	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・才兵衛・半兵衛 ●岡の谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事水揚げ。後荷物の積入れ、多分に願いたい。	(旧目録P267)	原 本	状	1	○	94
2588 L929	F 1	7月22日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・久兵衛・長兵衛 ●岡野谷松兵衛	先の茶荷物、無事入津。後荷物は、当分の間、送付願いたい。	(旧目録P271)	原 本	状	1		
2589 L120	F 1	7月23日	書状 (包紙あり)	○二又:平蔵 ●上河内:岡野谷松兵衛	8年以前の約定通り、茶荷物送りをするとの手書付にあるように、内済いただきたい。それが叶わなければ、返書いただきたい。	(旧目録P291)	原 本	状	1		
2590 L547	F 1	7月24日	書状	○茶問屋役事 ●藤枝・上川内:茶荷主衆中	江戸は不景気で、諸方から茶荷物が一度に入津。相場が崩れて迷惑している。出精して売捌いて入るが、はかばかしくない。時節柄、損失が出ては気の毒ですが、悪からず。	(旧目録P280)	原 本	状	1	○	94
2591 L544	F 1	7月25日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	先に申込みの茶荷物、無事入津。帳面と付合わせを願う。後荷物の送付を依頼。	(旧目録P264)	原 本	状	1		
2592 L545	F 1	7月25日	書状 (包紙あり)	○江戸天神元祖町:岡崎屋寅藤内清五郎 ●岡野谷松兵衛	中村重兵衛、先月28日、江戸表に出府。その時の様子を色々受け給わる。江戸表のことを差置いて、ことを進めることは出来ない。返事を乞う。	(旧目録P281)	原 本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区別	形態	数量	撮影	箱番号 コピー 保管
2593 L740	F 1	7月26日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・久兵衛・善兵衛 ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物が無事入津したことの報せ。後荷物も多分に積入れてほしい。	(旧目録P271)	原本	状	1		
2594 L930	F 1	7月26日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野谷松兵衛	茶荷物が無事入津したので、引合願いたい。後荷物も積入れを願う。	(旧目録P267)	原本	状	1		
2595 L931	F 1	7月26日	書状	○長しま屋善右衛門 ●岡の谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事水揚げ。引合わせを願う。	(旧目録P269)	原本	状	1		
2596 L546	F 1	7月27日	書状 (包紙入り)	○江戸大伝馬町;茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●駿州藤枝上伝馬町;三度屋重兵衛、川根川内村;岡野屋松兵衛	茶荷物が無事入津。売捌きも順調、後荷物も残らず、当店に振向けてほしい。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2597 L932	F 1	7月27日	書状	○板屋与兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	新茶大走り積送りのお礼。茶荷物無事入津、後荷物の積送りを依頼。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2598 L122	F 1	7月29日	書状	○伊豆屋利兵衛◎ ●岡野谷松兵衛	茶荷物が無事入津。後荷物も、当方に任せてほしい。	(旧目録P258)	原本	状	1		
2599 L121	F 1	7月29日	書状 (包紙あり)	○山本嘉兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・定七・甚助 ●岡野屋松兵衛	毎度茶荷物積送りへのお礼と無事入津したことの報せ。	(旧目録P279)	原本	状	1		
2600 L123	F 1	7月29日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡の谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼と代金送付の報せ。後荷物もなるべき多く送付願いたい。	(旧目録P271)	原本	状	1		
2601 L548	F 1	7月29日	書状	○板谷與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の屋松兵衛	茶荷物が無事入津。印付書を送付するので、確認を願う。後荷物も早船で廻してほしい。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2602 L661	F 1	7月30日	書状 (包紙あり)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物が無事入津、油断なく売捌く。6月中より雨がちで、この節、相応の値段で捌く。困り荷物は、上中下共なるべく多く送付願いたい。	(旧目録P251)	原本	状	1		
2603 L662	F 1	閏7月8日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物が無事入津。後荷物も、手廻しよく積込みを願う。	(旧目録P252)	原本	状	1		
2604 L124	F 1	8月1日	書状	○世話人庄兵衛(地名村名主) ●老丁河内、笹間上・下、伊久美、身成、笹間渡	5月中、茶一件の雑用金割合を抽出したが、出金がない。江戸の結合中も困っているので、出金を願う。面談してお話したい。	(旧目録P226)	原本	状	1	○	94
2605 L551	F 1	8月1日	覚 (包紙あり)	○川口為輔 ●上	お茶代金1分2米ト335文、内2分取り、差引残り461文受取り。	(旧目録P291)	原本	状	1		
2606 L126	F 1	8月2日	書状	○長崎(や)瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善助・平七 ●岡の谷松兵衛	茶荷物無事入津の報せ。	虫損甚大 (旧目録P268)	原本	状	1		
2607 L265	F 1	8月2日	(書状)	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡野谷利兵衛	茶荷物が無事入津、帳面引合せを願う。出精して売捌くので、これからは沢山積送りしてほしい。	(旧目録P264)	原本	状	1		
2608 L549	F 1	8月2日	書状	○中条瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・源兵衛・弥兵衛 ●岡野谷松兵衛	茶荷物が海上無事入津。後荷物も沢山送付願いたい	虫損あり (旧目録P271)	原本	状	1		
2609 L550	F 1	8月2日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡谷(ママ)松兵衛	お茶が近年例のないほどの上気配で、値段も上直。大いに入用につき、早状で注文する。所持の品、残らず当店に振向けしてほしい。仕切金は、荷案内あり次第、送る。	(旧目録P252)	原本	状	1		
2610 L663	F 1	8月2日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・忠兵衛・嘉兵衛 ●岡野屋松兵衛	茶荷物、海上無事水揚げ。後荷物も多分に送付願う。	(旧目録P268)	原本	状	1		

通し番号 整理番号	分類	年号 年月日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考 (旧目録ページ)	原・写 区 別	形 態	数 量	撮 影	箱番号 コピー 保管
2611 L266	F 1	8月4日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・徳兵衛・平兵衛 ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津。別紙印付の通り水揚げ。帳面に引合わせ願う。後荷物も送付願う。	(旧目録P281)	原本	状	1		
2612 L552	F 1	8月4日	書状	○丸一 ●「上(岡野谷)	江戸の中条家から当店に茶荷物と少々のお金が来た。入用ならば、いつでも遣わし下されば、買い取る。長大夫の茶代金は貴方様で出金なので、当方から代金を差上げる。お金が必要ならば、参上する。	(旧目録P291)	原本	状	1		
2613 L664	F 1	8月4日	書状 (包紙あり)	○富田屋利兵衛(江戸者ドン卯誼20件仲間) ●岡野谷松兵衛	沢山な茶荷物積送りへのお礼。後荷物もよろしく。仕切書1通あり。	(旧目録P260)	原本	状	1		
2614 L553	F 1	8月5日	書状	○欠 ●岡野屋松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。入津書は、別紙認めたので、帳面と引合わせを願う。後荷物も、多分に送付願いたい。	(旧目録P281)	原本	状	1		
2615 L933	F 1	8月5日	書状	○(大伝馬町二丁目):板や與兵衛 ●岡谷(ママ)松兵衛	茶荷物の積送りへのお礼と無事到着の報せ。後荷物も追々送付願いたい。	(旧目録P252)	原本	状	1		
2616 L125	F 1	8月6日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	悪い荷物を沢山積送り願いたい。無事入津の節は、油断なく引合わせ、亮捌くので、御承引願いたい。	(旧目録P252)	原本	状	1		
2617 L554	F 1	8月6日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・才兵衛・善兵衛 ●岡の谷秀兵衛	茶荷物積入れへのお礼と無事水揚げの報せ。仕切は出精するので、後荷物の積送りを願う。	(旧目録P268)	原本	状	1		
2618 L665	F 1	8月6日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡ノ谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。構りの便で仕切を送るので、帳面との照合を願う。沢山の後荷物を送付願いたい。	(旧目録P264)	原本	状	1		
2619 L666	F 1	8月6日	書状 (包紙あり)	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡野屋松兵衛	茶荷物が無事入津、水揚げし確かに受領。帳面と引合わせを願う。後荷物も追々送付願いたい。仕切書1通あり。	(旧目録P276)	原本	状	1		
2620 L934	F 1	8月6日	書状	○茗荷屋善五郎(江戸茶問屋20軒仲間)・市助・金蔵 ●岡野谷松兵衛	茶荷物が無事入津したことの報せと後荷物積送りの依頼。	(旧目録P277)	原本	状	1		
2621 L667	F 1	8月8日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・文蔵・彦兵衛 ●岡の(ママ)松兵衛	茶荷物送付へのお礼。悪い荷物も多分に積送り願いたい。出精して亮捌くので、手持分も残らず送付願いたい。金子も、御指示あれば、早速送る。	(旧目録P264)	原本	状	1		
2622 L668	F 1	8月9日	書状 (包紙あり)	○大橋太郎次郎(江戸茶問屋20軒仲間)・庄吉・重兵衛 ●岡野谷松兵衛、藤枝:健屋又助、瀬戸口:下田惣吉	金子を送付するので、改めを願う。仕切出来次第送る。金20両を送る。	(旧目録P255)	原本	状	1		
2623 L624	F 1	8月11日	書状 (包紙入り)	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡の谷松兵衛	悪い置き茶荷物の手配を願う。	(旧目録P250)	原本	状	1		
2624 L267	F 1	8月13日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他2名 ●岡の谷松兵衛	茶荷物積送りへのお礼。無事入津、引合わせを願う。後荷物の積送りを依頼。	(旧目録P268)	原本	状	1		
2625 L683	F 1	8月18日	書状	○長井利兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)他1名 ●岡のや松兵衛	茶荷物、無事入津。後荷物送付を願う。	(旧目録P265)	原本	状	1		
2626 L741	F 1	8月18日	書状	○長崎屋瀬兵衛(江戸茶問屋20軒仲間)・善助・平吉 ●岡の谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津の報せ。後荷物の積送り依頼。	(旧目録P268)	原本	状	1		
2627 L127	F 1	8月19日	書状	○茗荷屋善兵衛・安兵衛・多助 ●岡野谷松兵衛	積送りの茶荷物、無事入津、水揚げ。帳面との引合を願う。後荷物もよろしく。	虫撰あり (旧目録P277)	原本	状	1		
2628 L128	F 1	8月19日	書状	○板屋與兵衛(江戸茶問屋20軒仲間) ●岡の谷松兵衛	茶荷物、無事入津。帳面と引合願う。	(旧目録P252)	原本	状	1		